

日本循環器学会 会 告

Contents

- 1** 2015年度実施 代議員(社員)選挙のお知らせ
- 2** 第79回日本循環器学会学術集会
 - 開催概要
 - プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題・特別企画要項
 - プレセミナー・ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー
 - プレレジストレーションのお知らせ
 - 学術集会問い合わせ先のご案内
 - チーム医療セッション (旧: コメディカルセッション) 開催要項
- 87** 第80回日本循環器学会学術集会
- 88** 編集委員長からのメッセージ
- 98** 循環器専門医制度
 - 第79回日本循環器学会学術集会の研修単位について
 - 学術集会・地方会での専門医研修単位登録について
 - 2015年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について
 - 専門医認定更新の手続きについて
 - 循環器専門医認定更新のご案内
 - 専門医認定更新研修の必修化について
 - 「循環器専門医カード」再発行のご案内
 - 循環器専門医カード再発行申請書
 - その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ
- 111** 地方会・関連学会・研究会情報
 - 専門医研修単位認定学会情報
 - 海外学会情報
 - その他の学会開催情報
 - 研究助成
- 116** ACLS 講習会情報
- 123** 映像教材販売のご案内
- 131** 和文論文投稿誌「心臓」のご案内
- 132** 事務局からのお知らせ
 - 登録事項変更届
 - 学会誌 Circulation Journal の送本について
 - 「準会員」制度のご案内
 - 会員区分変更届

2015 No.2

2015年度実施 代議員(社員)選挙のお知らせ

一般社団法人日本循環器学会
会員各位

平素は学会活動にご尽力を賜り誠にありがとうございます。

さて、現在就任中の社員が2016年3月31日付けで任期満了となることに伴い、2016年度から就任する社員を選出するため、下記スケジュールにおいて代議員(社員)選挙を行います。本選挙の選挙権および被選挙権の資格を得るためには、下記の条件を満たす必要がございますのでご注意ください。

選挙資格者 (投票)	・正会員であること(国籍が海外で海外在住の場合を除く) ・2015年3月31日現在において2014年度会費を納入済みであること (※本会の名誉会員および特別会員は、上記に関わらず選挙権を有する)
被選挙資格者 (立候補)	・正会員であること(国籍が海外で海外在住の場合を除く) ・2015年3月31日現在において2014年度会費を納入済みであること ・立候補すること(立候補については後日ホームページにて案内) ・就任時(2016年4月1日現在)に65歳未満であること

※3月31日現在で、学会の口座に着金していることが必要です。

着金までに1週間程度かかる場合がございますので、早目のお手続きをお願い致します。

〈代議員(社員)選挙の概要〉

【立候補・投票の電子版と書面の併用】

立候補および投票について、今回からオンライン上で行うこととなります。ただし、希望者については従来の書面による対応も可能となります(2015年4月25日発刊の会告に書面希望の申請方法をご案内予定)。詳細等は随時ホームページに掲載させていただきます。

【定数等】

全国で「281名」の予定で、支部ごとの振分け数は「2015年3月31日現在の支部ごとの選挙資格者数」に基づき、2015年度第1回理事会(6月開催)で決定されます。

【選挙における専門分野】

立候補いただく際に、専門分野をご記入いただきます。各支部における代議員のうち、原則として10%以上を外科系分野、5%以上を外科・内科以外の分野を専門とする正会員といたします。また、各支部における女性会員の比率に応じて、各支部から女性の代議員を選出します。

【評議員の廃止】

一般社団法人移行に伴い、2012年度から「評議員」は「社員」に置き換えられました。これに伴い、法定上の「社員」を選出するための選挙を「代議員選挙」と呼称します。

また「推薦評議員制」も廃止されたため、すべての代議員は選挙により選ばれることとなります。

【選挙実施スケジュール】

2015年5月初旬～5月31日	立候補(ホームページ画面からオンライン申請)／書面での投票希望申請
6月上旬～7月1日	縦覧期間
7月10日	被選挙資格者 確定／書面投票希望申請 締切
8月中	選挙資格者に投票用パスワード(希望者は投票用紙)を送付
8月中～10月末	投票(ホームページ画面からオンライン投票・希望者は書面での投票)
11月初旬	当選者確定
2016年4月1日	新代議員(社員)就任

今後、選挙に関する詳細はホームページを通してご案内いたしますので、随時ご確認いただきますようお願い致します。

〈選挙に関するお問合せ先〉 一般社団法人日本循環器学会 事務局 総務担当
〒100-0011 東京都千代田区幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F
TEL：03-5501-0861／FAX：03-5501-9855／E-mail：soumu@j-circ.or.jp

第79回日本循環器学会学術集会 (JCS2015)

開催概要

会 期：2015年 4月24日(金)～26日(日)

会 長：小川 久雄(熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学，国立循環器病研究センター)

会 場：【中之島会場】

大阪国際会議場，リーガロイヤルホテル大阪，堂島リバーフォーラム，ABC ホール

【グランフロント大阪会場】

ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター，イベントラボ，カンファレンスルーム

メインテーマ：日本発—最新の循環器病学

Late-Breaking Cardiovascular Medicine from Japan

1. 一般演題(口述，ポスター，Featured Research Session)

2. 美甘レクチャー(日本心臓財団美甘基金)

〈英語〉

Testing the Inflammation Hypothesis of Atherothrombosis

(学会第2日目 4月25日(土) 11:55～12:40 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

Paul M. Ridker(Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)

座長：永井 良三(自治医科大学)

3. 真下記念講演

Challenge to Novel Cardiovascular Peptides

〈日本語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10～11:55 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

寒川 賢治(国立循環器病研究センター)

座長：橋本 信夫(国立循環器病研究センター)

4. 会長講演

My Clinical Research in Cardiovascular Medicine

〈日本語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 15:30～16:10 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

小川 久雄(熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学，国立循環器病研究センター)

座長：泰江 弘文(熊本加齢医学研究所・熊本機能病院循環器内科)

5. 特別講演

〈英語〉

1) New Concepts in Endothelial Function

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30～9:15 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

John F. Keaney, Jr.(University of Massachusetts Medical School, USA)

座長：斎藤 能彦(奈良県立医科大学第一内科)

2) Targeting Atherosclerosis beyond High-Intensity Statin Therapy

(学会第1日目 4月24日(金) 9:15～10:00 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

Stephen J. Nicholls(South Australian Health and Medical Research Institute, Australia)

座長：尾崎 行男(藤田保健衛生大学循環器内科)

3) New Insights into the Mechanisms of Myocardial Ischemic Injury, Healing, and Remodeling

(学会第1日目 4月24日(金) 11:10～11:55 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

Peter Libby(Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, USA)

座長：平田 健一(神戸大学循環器内科学)

- 4) Targeting Endothelial Metabolism: Principles and Strategies
(学会第1日目 4月24日(金) 11:55~12:40 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)
Peter Carmeliet (Vesalius Research Center, University of Leuven, Belgium)
座長: 室原 豊明(名古屋大学循環器内科)
- 5) Novel Oral Anticoagulants in the Management of the Patient with Acute Coronary Syndrome
(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~14:45 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)
C. Michael Gibson (Beth Israel Deaconess Medical Center, Harvard Medical School, USA)
座長: 増山 理(兵庫医科大学内科学循環器内科)
- 6) The Natriuretic Peptides and Cardiometabolic Health: From Base Pairs to Bedside
(学会第1日目 4月24日(金) 14:45~15:30 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)
Thomas J. Wang (Vanderbilt University Medical Center, USA)
座長: 瀧原 圭子(大阪大学保健センター)
- 7) Arrhythmogenic Right Ventricular Dysplasia: What Have We Learned?
(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~11:55 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)
Hugh Calkins (Johns Hopkins Hospital, USA)
座長: 萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科学)
- 8) The State and Future of Research Using Clinical Registries
(学会第2日目 4月25日(土) 11:55~12:40 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)
John S. Rumsfeld (University of Colorado School of Medicine / U.S. Department of Veterans Affairs / National Cardiovascular Data Registries, USA)
座長: 下川 宏明(東北大学循環器内科学)
- 9) NLRP3 Inflammasome in Atherosclerosis
(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~11:25 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)
John Y-J. Shyy (University of California, San Diego, USA)
座長: 吉栖 正生(広島大学心臓血管生理医学)
- 10) Molecular Links between Metabolic and Cardiovascular Diseases
(学会第3日目 4月26日(日) 11:25~12:10 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)
Kenneth Walsh (Boston University School of Medicine, USA)
座長: 大屋 祐輔(琉球大学循環器・腎臓・神経内科学)

6. プレナリーセッション

- (1) New Multi-modality Cardiovascular Imaging and the Dedicated Management of Diseases 〈英語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)
座長: 木原 康樹(広島大学循環器内科学)
Michael V. McConnell (Stanford University School of Medicine, USA)
演 者:
State-of-the-Art: New Multi-modality Cardiovascular Imaging
Michael V. McConnell (Stanford University School of Medicine, USA)
1. Automated Quantification of Myocardial Area at Risk Using Coronary CT Angiography and Voronoi Algorithm Based Myocardial Segmentation on CT
倉田 聖(愛媛大学放射線医学)
2. Direct Comparison of Stress Computed Tomography Myocardial Perfusion and Single-Photon Emission Computed Tomography for the Assessment of Myocardial Ischemia
植木 康志(信州大学循環器内科学)

3. Impact of Heterogeneous Enhancement Detected by Multidetector Computed Tomography on Microvascular Obstruction and Left Ventricular Remodeling after Acute Myocardial Infarction

渡部 浩明(筑波大学循環器内科)

4. 4D Flow MRI for Pulmonary Hypertension: An Imaging Tool to Monitor Mean Pulmonary Arterial Pressure

大田 英揮(東北大学量子診断学)

- (2) 世界の潮流を見据えた日本型臨床研究のあり方を探る 〈日本語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 11:10~12:40 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 檜垣 實男(愛媛大学循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

北風 政史(国立循環器病研究センター臨床研究部)

演 者:

1. The Chronic Heart Failure Analysis and Registry in the Tohoku District-2 (CHART-2) Study: A Model Case of Japanese Observational Study

坂田 泰彦(東北大学循環器内科学)

2. Difficulties in Conducting an Investigator-initiated Clinical Trial under a CTN in Japan

朝倉 正紀(国立循環器病研究センター臨床研究部)

3. Transparency and Data Reliability of the Large-scale Clinical Trial: The Experience of the COPE Trial as a Collaborative Research

梅本 誠治(山口大学医学部附属病院臨床研究センター)

4. Lessons from Large-Scale Clinical Trials Led by Australia

有馬 久富(滋賀医科大学アジア疫学研究センター/The George Institute for Global Health, University of Sydney, Australia)

5. Registry of CHD Patients with Diabetes: Pragmatic Platform for Sensible Clinical Research in Japan

植田真一郎(琉球大学臨床薬理学)

6. The Direction of the Ideal Future Clinical Studies in Our Country

笠原 正登(京都大学医学部附属病院臨床研究総合センター EBM 推進部)

- (3) 大動脈ステントグラフト治療と直達手術: 遠隔成績を中心に 〈日本語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 木村 剛(京都大学循環器内科学)

萩野 均(東京医科大学外科学第二講座(心臓血管外科))

演 者:

1. The Efficacy of TEVAR Including Hybrid Procedures for Thoracic Aortic Pathologies with over Twenty Years Long-term Results

倉谷 徹(大阪大学低侵襲循環器医療学)

2. Is Arch Debranching and Thoracic Endovascular Aneurysm Repair a Safe Procedure in High-risk Patients with Arch Aneurysm?

檜山 耕平(市立函館病院心臓血管外科)

3. Long-term Results of Simple TEVAR Using Fenestrated Stent Graft for Aortic Arch Disease

栗本 義彦(手稲溪仁会病院心臓血管外科)

4. Long-term Results of Simple TEVAR and Open Surgery for Thoracic Aneurysms

明石 英俊(久留米大学外科学)

5. What is the Best Surgical Approach for Arch Aneurysm?

湊谷 謙司(国立循環器病研究センター心臓血管外科)

- (4) 心臓突然死への挑戦 〈日本語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第20会場 グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)

座長：堀江 稔(滋賀医科大学内科学(循環器・呼吸器))
林 秀晴(浜松医科大学第三内科)

演 者：

1. Histopathological Analysis of Sudden Cardiac Death, Role of the Autopsy for Future
松本 学(国立循環器病研究センター臨床検査部病理)
2. Specific Organized Substrates of Ventricular-Fibrillation: Comparison of 320-slice-CT Heart Images in Ventricular-Fibrillation with Sustained and Non-sustained-Ventricular-Tachycardia in Subjects without Obstructed-Coronary-Arteries
小澤 公哉(千葉大学循環器内科学)
3. Common Variant near HEY2 as a Protective Modifier of Ventricular Fibrillation in Brugada Syndrome
中野由紀子(広島大学循環器内科学)
4. Nocturia is a Clinical Sign of Sleep Disordered Breathing and its Treatment may Prevent Sudden Cardiac Death
小島 淳(熊本大学循環器内科学)
5. Predictor of Sudden Cardiac Death in High Risk Patients with Structural Heart Disease: Beyond Left Ventricular Ejection Fraction
鈴木 敦(東京女子医科大学循環器内科学)
6. Long-term Follow-up of Device Therapy for Ventricular Arrhythmias
林 秀樹(滋賀医科大学循環器内科)
7. Usefulness of the Wearable Cardioverter-defibrillator in Patients at High Risk for Sudden Cardiac Death: A Single Center Primary Experience
佐々木真吾(弘前大学不整脈先進治療学講座)

(5) Current Strategies of Diagnosis and Treatment in Aortic Valve Disease (英語)

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

座長：澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科学)

John Webb(St. Paul's Hospital/University of British Columbia, Canada)

演 者：

State-of-the-Art: Transcatheter Implantation of Aortic and Mitral Valves

John Webb(St. Paul's Hospital/University of British Columbia, Canada)

1. Clinical Outcomes of Transcatheter Aortic Valve Implantation for High-surgical Risk Patients with Aortic Stenosis
鳥飼 慶(大阪大学心臓血管外科学)
2. Strategic Considerations for Transcatheter Treatments with Balloon-expandable Aortic Bioprosthesis in High-risk Patients of Root Rupture
坂本 知浩(済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科)
3. Assessment of Post-Procedural Aortic Regurgitation after Transcatheter Aortic Valve Replacement and Percutaneous Paravalvular Leakage Closure
三原 裕嗣(Heart Institute, Cedars-Sinai Medical Center, USA)
4. Demonstrating Vulnerable Plaque in Ascending Aorta by Angioscopy: Implication for Preventing Cerebral Infarction during Transcatheter Aortic Valvular Implantation
小松 誠(尼崎中央病院心臓血管センター)
5. Therapeutic Strategies for Aortic Valve Stenosis after the Introduction of TAVR at the Regional Cardiovascular Institute
近沢 元太(心臓病センター榊原病院心臓血管外科)
6. Aortic Valve Reconstruction Using Autologous Pericardium: New Surgical Treatment
尾崎 重之(東邦大学医療センター大橋病院心臓血管外科)

(6) Frontiers of Novel Procedure and Device-based Strategies on the Management of Hypertension and Cardiovascular Disease: From Basic to Clinical Research 〈英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長: 荻尾 七臣(自治医科大学循環器内科学)

George Bakris(University of Chicago Medicine, USA)

演 者:

State-of-the-Art: Role of Devices in Resistant Hypertension: Are They Ready for Prime Time

George Bakris(University of Chicago Medicine, USA)

1. Efficacy of Renal Sympathetic Denervation in Chronic Kidney Disease

佐田 悠輔(Baker IDI Heart & Diabetes Institute, Australia)

2. Baroreflex Activation Therapy (BAT) as a Novel Therapeutic Strategy for Acute Decompensated Heart Failure with Reduced Ejection Fraction

坂本 隆史(九州大学循環器内科学)

3. Vagus Nerve Stimulation for the Treatment of Heart Failure

稲垣 正司(国立循環器病研究センター循環動態制御部)

4. Current Status and Expectation of Baroreflex Activation Therapy and Vagal Nerve Stimulation in Heart Failure

廣岡 良隆(九州大学先端循環制御学講座)

5. Perspectives of Renal Denervation in Japan

荻尾 七臣(自治医科大学循環器内科学)

(7) 全身血管病管理から見た末梢動脈疾患へのアプローチ 〈日本語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

座長: 横井 良明(岸和田徳洲会病院循環器科)

宮田 哲郎(山王メディカルセンター血管病センター)

演 者:

1. Risk Factors for Systemic Atherosclerosis and Fate of Claudication in Patients with Peripheral Arterial Disease

熊倉 久夫(北関東循環器病院血管病センター)

2. Long-Term Outcomes and Prognostic Factors of Symptomatic Peripheral Arterial Disease: Claudication versus Critical Limb Ischemia

古山 正(国立病院機構九州医療センター血管外科)

3. Systemic Blood Pressure Reduction and Improvement of Prognosis after Endovascular Treatment for the Peripheral Artery Disease

野里 寿史(国立病院機構災害医療センター循環器科)

4. Impact of Peripheral Artery Disease on Prognosis in Patients with Heart Failure

義久 精臣(福島県立医科大学循環器・血液内科学講座)

5. Systemic Management of Atherosclerosis is Necessary to Treat Peripheral Artery Disease

鈴木 洋(昭和大学藤が丘病院循環器内科)

6. Perspectives from JPASSION Study

河原田修身(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

(8) わが国の循環器領域における TR/臨床試験の最前線 〈日本語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 下川 宏明(東北大学循環器内科学)

山崎 力(東京大学臨床研究支援センター)

演 者:

1. Overview: Translational Research and Clinical Trials in Japan

渡邊 裕司(浜松医科大学臨床薬理学)

2. Translational Research in Hokkaido University
筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)
3. The Clinical Research, Innovation and Education Center (CRIETO), Tohoku University Hospital
下川 宏明(東北大学循環器内科学)
4. Translational Research at Tokyo University
河原崎秀一(東京大学臨床研究支援センター)
5. How to Translate Basic Research into Reality in Clinical Practice—Back and Forth Strategy between Basic Science and Clinical Medicine—
北風 政史(国立循環器病研究センター臨床研究部)
6. Translational Research of Autologous Stem Cell-sheet Transplantation Therapy for Treating Cardiomyopathy: A “Proof-of-concept” Clinical Trial
澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科学)

(9) Future Perspective in Atherosclerosis Research: Seeking for Novel Therapeutic Targets against Cardiovascular Diseases 〈英語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

座長: 平田 健一(神戸大学循環器内科学)

Göran K. Hansson (Karolinska Institute, Sweden)

演 者:

State-of-the-Art: Vascular Inflammation, Immunometabolism and Atherosclerosis — New Therapeutic Opportunities

Göran K. Hansson (Karolinska Institute, Sweden)

1. Coordinated Regulation of Inflammation and Lipid Homeostasis in Macrophage
大石由美子(東京医科歯科大学難治疾患研究所細胞分子医学分野)
2. PGRN can be a Promising Therapeutic Target for Atherosclerosis Partly through Suppressing the Inflammation
大瀨 透(大阪大学保健センター)
3. Intestinal Immunity and Gut Microbiota as Therapeutic Targets for Preventing Atherosclerotic Cardiovascular Diseases
山下 智也(神戸大学循環器内科学)
4. miR-33a/b as Novel Therapeutic Targets for the Treatment of Cardiovascular Diseases
尾野 亘(京都大学循環器内科学)

7. シンポジウム

(1) Inflammation and Atrial Fibrillation 〈英語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 青沼 和隆(筑波大学循環器内科)

Stanley Nattel (Montreal Heart Institute and Université de Montréal, Canada)

演 者:

Keynote Lecture: The Promising and Puzzling Role of Inflammation in Atrial Fibrillation

Stanley Nattel (Montreal Heart Institute and Université de Montréal, Canada)

1. Metabolic Syndrome and its Associated Disorders as Risk Factors for Atrial Fibrillation
渡部 裕(新潟大学循環器内科学)
2. Role of Oxidative Stress in Atrial Fibrillation—Clinical, Histological and Experimental Examination—
草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
3. LV Remodeling Caused by Persistent Atrial Fibrillation was Associated with High Cardiac Hyaluronan in Coronary Sinus Vein
岡田 綾子(信州大学循環器内科学)

4. Comprehensive Analysis Linking MicroRNA and Atrial Inflammation in Mouse and Human
笹野 哲郎(東京医科歯科大学生命機能情報解析学)
5. Pathogenic Role of Oxidative Stress and Uremic Toxin in Atrial Fibrillation Associated with Chronic Kidney Disease
高橋 尚彦(大分大学循環器内科・臨床検査診断学)
6. Role of PGDF/VEGF Interaction on Atrial Arrhythmogenic Pulmonary Vein Specific Endocardial Fibrosis in Hypertension
岩崎 雄樹(日本医科大学循環器内科学)

(2) Emergency Cardiovascular Care System and Construction 〈英語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 長尾 建(日本大学病院循環器科, 蘇生・救急心血管治療)

Karl B. Kern(University of Arizona, USA)

演 者:

Keynote Lecture: Emergency Cardiovascular Care System Construction: The Arizona Experience

Karl B. Kern(University of Arizona, USA)

1. Prehospital Care and Public Access Defibrillation
酒井 智彦(厚生労働省医政局地域医療計画課救急・周産期医療等対策室)
2. Pre-hospital 12-lead ECG for Emergency Cardiovascular Care
田原 良雄(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
3. Emergency Medical Service System for Cardiac Emergencies in Japan
坂本 哲也(帝京大学救急医学)
4. Cardiac Care Unit in Emergency and Critical Care Center - Role of Cardiologist on Medical Control and Multi-specialty Cardiovascular Critical Care-
今村 浩(信州大学救急集中治療医学)
5. Regional Operation of Doctor Car System Improves the Outcome of Acute Type A Aortic Dissection
笹栗 志朗(石心会川崎幸病院大動脈センター)

(3) Novel and Advanced Therapy against Acute Coronary Syndrome—From Bench to Bedside—

〈英語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 11:10~12:40 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

座長: 湊口 信也(岐阜大学循環器内科)

Michael D. Schneider(Imperial College London, UK)

演 者:

Keynote Lecture: Human Cardiomyocyte Protection from Oxidative Stress by Genetic and Pharmacological Inhibitors of MAP4K4

Michael D. Schneider(Imperial College London, UK)

1. Multilineage-Differentiating Stress Enduring (Muse) Cells as a Hopeful Cell Source for Regenerative Medicine against Acute Myocardial Infarction
湊口 信也(岐阜大学循環器内科)
2. Novel and Advanced Therapy against Acute Myocardial Infarction -From Bench to Bedside-
佐野 元昭(慶應義塾大学循環器内科)
3. Postconditioning with Lactate-Enriched Blood for Protection of Ischemic Myocardium against Lethal Reperfusion Injury
小山 卓史(さいたま市立病院循環器内科)
4. Low-energy Cardiac Shock Wave Therapy Suppresses Left Ventricular Remodeling after Acute Myocardial Infarction -From Bench to Bedside-
伊藤 健太(東北大学循環器内科)

(4) 循環器病研究における医療開発政策

〈日本語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 永井 良三(自治医科大学)

澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科学)

演 者:

1. New Medical R&D System and Japan Agency for Medical Research and Development (AMED)

板倉 康洋(内閣府日本医療研究開発機構担当室)

2. Translational Research in Cardiovascular Medicine – U.K. Perspective

鈴木 亨(University of Leicester, UK)

3. New System is Necessary to Develop Medical Devices from Japan

内田 毅彦(東京女子医科大学循環器内科学)

4. The Strength of the Large-scale Registry Studies in Japan Compared with International Datasets, and its Health Care Policy Implications

香坂 俊(慶應義塾大学呼吸循環器内科)

5. The Future Perspectives and Issues of Translational Research in Cell Sheet

宮川 繁(大阪大学心臓血管外科学)

(5) Heart Failure as a Systemic Disease

〈英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)

Stefan D. Anker(University Medical Center Göttingen, Germany)

演 者:

Keynote Lecture: Managing Iron Deficiency in Heart Failure: Update 2015

Stefan D. Anker(University Medical Center Göttingen, Germany)

1. Clinical and Prognostic Significance of Intra-Renal Hemodynamic Analysis in Congestive Heart Failure

瀬尾 由広(筑波大学循環器内科)

2. Fibroblast Growth Factor-23/Klotho System --- Missing Link between Renal Dysfunction, Bone Disease, Increased Mortality, and Heart Failure

石坂 信和(大阪医科大学循環器内科)

3. The Importance of Assessing Nutritional Status in Patients with Acute Heart Failure

永井 利幸(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

4. Brain-Derived Neurotrophic Factor (BDNF) Plays an Important Role on the Regulation of Skeletal Muscle Function and Exercise Capacity

絹川真太郎(北海道大学循環病態内科学)

5. Dysfunction of Neurosteroid-sigma Receptor Signaling in Heart Failure Contributes to the Coexistence of Mental Disorder and Worsening of Heart Failure

伊藤 浩司(九州大学循環器内科学)

(6) さらなる高血圧合併症の減少のために見直すべきリスク

〈日本語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長: 光山 勝慶(熊本大学生体機能薬理学)

平田 恭信(東京通信病院)

演 者:

1. Which is the Best Biomarker to Predict Residual Risk of Cardiovascular Events in Japanese Hypertensive Subjects?

田中 文隆(岩手医科大学循環器・腎・内分泌内科)

2. Serum Uric Acid and Blood Pressure and Cardiovascular Risk
関 晋吾(東京慈恵会医科大学循環器内科)
3. Combination of High-Sensitive Troponin and N-Terminal Pro-B-Type Natriuretic Peptide Improves Prediction of Future Admission for Heart Failure in Hypertensive Patients
石井 潤一(藤田保健衛生大学臨床検査科)
4. Risk Factors and Protective Agents for New-Onset Atrial Fibrillation in Hypertensive Patients
堀尾 武史(川崎医科大学総合内科学3)
5. Obstructive Sleep Apnea - A Residual Risk for Left Ventricular Remodeling among Well-controlled Hypertensive Patients
山口 濟(東京医科大学循環器内科)
6. Residual Albuminuria Induced by Salt-induced Activation of Mineralocorticoid Receptor in CKD Patients Receiving RAS Inhibitors
藤田 敏郎(東京大学先端科学技術研究センター)

- (7) Pathophysiological Analysis of the Hereditary Heart Disease Using iPS Cells (英語)
(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桂)
座長: 福田 恵一(慶應義塾大学循環器内科)
Huei-Sheng V. Chen (Sanford-Burnham Medical Research Institute, USA)
Keynote Lecture: Metabolic Maturation-based Models of Arrhythmogenic Right Ventricular Dysplasia/ Cardiomyopathy (ARVD/C) Using Patient-specific iPS Cells
Huei-Sheng V. Chen (Sanford-Burnham Medical Research Institute, USA)
Keynote Lecture: Cardiomyocytes from Human Pluripotent Stem Cells: The New Patient in Safety Pharmacology, Drug Discovery and Disease
Christine L. Mummery (Leiden University Medical Center, The Netherlands)
1. Disease Modeling of LQT7 Using Patient-specific iPS Cells
黒田 裕介(名古屋大学心血管分野)
 2. Disease Modeling of Brugada Syndrome
湯浅 慎介(慶應義塾大学循環器内科)
 3. Disease Modeling of HCM Using Patient-Specific Induced Pluripotent Stem Cells: Deciphering Pathological Interactions between Genetic Backgrounds and Environmental Factors
田中 敦史(佐賀大学循環器内科)

- (8) 循環器疾患に関連した地域連携の現況と展望 (日本語)
(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第20会場 グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)
座長: 百村 伸一(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科)
水野 杏一(公益財団法人三越厚生事業団)

演 者:

1. An Attempt of the Prevention from Hospital Readmission in Elderly Patients with Decompensated Heart Failure
中根 英策(公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院心臓センター)
2. Evaluation of Variance in Regional Collaboration Clinical Pathways for Angina Pectoris and Myocardial Infarction Treated with Percutaneous Coronary Intervention
矢島 和裕(岐阜県立多治見病院循環器科)
3. Clinical Partnership between Hospital, Clinic and Health Care Services Stabilize Medical and Care Welfare Supporting People with Heart Failure
渡辺 徳(JA 長野厚生連北信総合病院循環器内科)

4. Comprehensive Health Care for Coronary Artery Disease in Regional Community Using Cloud Computing: Network for Cardiovascular Systematic Treatment in Nishinomiya
川端 正明(大阪労災病院救急部)
5. Proposal of a Support System for Primary Care Physicians for Managing Elderly Patients with Chronic Heart Failure
哲翁-塚田 弥生(日本医科大学循環器内科学)

(9) Advance in Diagnosis of Cardiomyopathy Using Novel Methods: From Molecular to Clinical Aspects
〈英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長: 山岸 正和(金沢大学臓器機能制御学・循環器内科)

James Moon(The Heart Hospital and University College London, UK)

演 者:

Keynote Lecture: Myocardial Tissue Characterisation in Cardiomyopathy by CMR

James Moon(The Heart Hospital and University College London, UK)

1. Characteristic Myocardial Strain Identified in Hypertrophic Cardiomyopathy Subjects with Preserved Left Ventricular Ejection Fraction Using a Novel Multi-Layer Transthoracic-Echocardiography Technique
船橋 伸禎(千葉大学循環病態医科学)
2. Prognostic Significance of Quantification of Late Gadolinium Enhancement in Cardiac Magnetic Resonance of Hypertrophic Cardiomyopathy with Systolic Dysfunction
舟田 晃(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
3. Cardiac Markers and Coronary Microvascular Function in Non-Ischemic Heart Failure Patients Utilizing Late Gadolinium Enhancement in Cardiac Magnetic Resonance Imaging
山室 恵(熊本大学循環器内科学)
4. Clinical Implication of Myocardial Glucose Metabolism in Patients with Hypertrophic Cardiomyopathy Assessed by 18F-FDG-PET
青山 里恵(日本医科大学循環器内科学)
5. Whole Exome Sequencing Identifies a Causative Myosin Essential Light Chain Mutation (Arg94His) in Hypertrophic Cardiomyopathy
野村 章洋(金沢大学循環器内科)

(10) The Importance of the Right Ventricle in Adult Congenital Heart Disease—Physiological Properties, Diagnosis, and Management of Right Heart Failure in ACHD—
〈英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桂)

座長: 市田 露子(富山大学小児科)

Andrew N. Redington(Cincinnati Children's Hospital, USA)

演 者:

Keynote Lecture: The Importance of the Right Ventricle in Adult Congenital Heart Disease

Andrew N. Redington(Cincinnati Children's Hospital, USA)

1. Echocardiographic Evaluation of Right Ventricular Dysfunction in Adult Patients with Tetralogy of Fallot
藤原 淳子(東北大学病院診療技術部生理検査センター)
2. Impact of Pulmonary Valve Replacement for Dilated RV in Repaired TF Patients and Assessment of Risk Factors in RV Re-dilatation
上野 高義(大阪大学心臓血管外科)
3. Clinical Characteristics of Right Ventricular Restrictive Physiology in Adults with Congenital Heart Disease
大内 秀雄(国立循環器病研究センター小児循環器科)

4. Mechano-Energetic Characteristics of the Systemic Right Ventricle
先崎 秀明(埼玉医科大学総合医療センター小児循環器科)

- (11) 子育て世代の男性・女性循環器医のためのキャリア支援 〈日本語〉
(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第21会場 グランフロント大阪 北館 B2 階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム1)
座長: 宮崎 俊一(近畿大学循環器内科学)
上田真喜子(大阪市立大学病理病態学)

演 者:

1. The Change to the Mutual Understanding and the Mutual Support from the Support for Women Doctors -Trials in Saga-
吉田 和代(佐賀大学卒後臨床研修センター)
2. Importance of Coordinative Collaborations with Husbands for Continuing a Constant Work of Female Cardiologists during Taking Care of Their Children
竹中 洋幸(枚方公済病院心臓血管センター)
3. The Initiative to a Carrier Support for the Generation with Children; The Case in Department of Cardiology and Nephrology, Yokohama City University
森田有紀子(国立病院機構相模原病院循環器内科)
4. Management of Both Child Rearing and Practicing Cardiology Subspecialty in a Community Hospital
山本 均美(釧路孝仁会病院循環器内科)
5. My Child Care Experience as a Female Doctor in Rural Area and Proposal for the Better Work Environment
永井 英里(須崎くろしお病院内科)
6. What is Needed for Cardiologists Who Engage Themselves in Childcare?
大野 聖子(滋賀医科大学アジア疫学研究センター)
7. Caring for Twins
笹富 佳江(福岡大学腎臓・膠原病内科)

- (12) 心筋性状・機能診断に画像を活かす: 病理との対比 〈日本語〉
(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)
座長: 伊藤 浩(岡山大学循環器内科学)
浅田祐士郎(宮崎大学病理学講座構造機能病態学分野)

演 者:

1. Association between Histological Findings in Epicardial Adipose and Perivascular Adipose Tissue at LITA and MDCT Parameters in Coronary Artery Disease
時岡 浩二(岡山大学循環器内科学)
2. Role of Endomyocardial Biopsy for the Screening of Secondary Cardiomyopathy in the Assessment of Cardiac Arrhythmias
渡邊 望(宮崎市郡医師会病院検査科・心臓病センター画像解析室)
3. Clinical Significance of Tissue Fibrosis (Quantitatively) Evaluated by RV Endomyocardial Biopsy or CMR-LGE in Patient with HCM
和田 悠子(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
4. Complementary Clinical Use of Endomyocardial Biopsy and Cardiac Magnetic Resonance to Predict Left Ventricular Reverse Remodeling in Dilated Cardiomyopathy
石井 俊輔(北里大学循環器内科学)
5. Usefulness of Gadolinium-enhanced Cardiac Magnetic Resonance Image and Endomyocardial Biopsy for Myocardial Damage of Systemic Sclerosis and Systemic Lupus Erythematosus
河野 浩章(長崎大学循環器内科学)

(13) Recent Progress in Pulmonary Hypertension

〈英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 福本 義弘(久留米大学心臓・血管内科)

Nazzareno Galié (Bologna University Hospital, Italy)

演 者:

Keynote Lecture: Recent Progress in Pulmonary Hypertension

Nazzareno Galié (Bologna University Hospital, Italy)

1. Next-Generation Sequencing Technique Identified a New Disease-related Gene of Pulmonary Arterial Hypertension

木村 舞(慶應義塾大学循環器内科)

2. Hemodynamic Stress is Essential to the Development and Maintenance of Occlusive Vascular Lesions in Severe PAH

阿部弘太郎(九州大学先端循環制御学講座)

3. Thrombin as a Novel Therapeutic Target for Treating Pulmonary Hypertension

小川 愛子(国立病院機構岡山医療センター臨床研究部)

4. Potential of Increased Activity of Proteinase-activated Receptor 1 (PAR1) in Pulmonary Hypertension as A New Therapeutic Target

平野 勝也(香川大学自律機能生理学)

5. The Synergistic Effects of Incretin-related Drugs for the Treatment of Pulmonary Arterial Hypertension

細川 奨(東京医科歯科大学小児科)

6. Importance of Acute Hemodynamic Responses to Inhaled Nitric Oxide in Patients with Pulmonary Hypertension due to Left Heart Disease

青木 竜男(東北大学循環器内科)

7. Balloon Pulmonary Angioplasty is a Safe and Effective Treatment for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension: Results of a Multicenter Registry

松原 広己(国立病院機構岡山医療センター臨床研究部)

(14) 心不全治療の新展開

〈日本語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 伊藤 宏(秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)

磯部 光章(東京医科歯科大学循環制御内科学)

演 者:

1. Mammalian Sterile 20-like Kinase-1 Inhibits Autophagy, Thereby Compromising Protein Quality Control in the Heart

前嶋 康浩(東京医科歯科大学循環制御内科学)

2. Impact of Intravenous Salt Supplementation with Low-Dose Furosemide for Treatment of Acute Decompensated Heart Failure

廣谷 信一(兵庫医科大学内科学循環器内科)

3. Direct Cardiac Reprogramming for the Regenerative Therapy in Heart Failure

家田 真樹(慶應義塾大学循環器内科)

4. Adaptive Servo Ventilation Therapy for Stage D Heart Failure Patients

高間 典明(群馬大学臓器病態内科学)

5. Combined Surgical Strategy for End-stage Heart Failure Using Conventional Surgery, Implantable LVAD, and Regenerative Therapy

戸田 宏一(大阪大学心臓血管外科)

6. Mortality and Prognostic Factors in Real-World Japanese Heart Failure Patients with Cardiac Resynchronization Therapy

志賀 剛(東京女子医科大学循環器内科)

- (15) WHO グローバル戦略から見た循環器病の予防・管理 〈日本語〉
(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第23会場 グランフロント大阪 北館 B2階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)
座長: 磯 博康(大阪大学社会環境医学講座公衆衛生学)
野出 孝一(佐賀大学循環器内科)

演 者:

1. Strategies for Achieving WHO Target Levels of Salt Intake in Japan
上島 弘嗣(滋賀医科大学アジア疫学研究センター)
2. Time-dependent Impact of Obesity after Smoking Cessation on Cardiovascular Biomarkers
長谷川浩二(国立病院機構京都医療センター展開医療研究部)
3. Prognostic Impacts of Physical Activity in Patients with Chronic Heart Failure. A Multicenter Prospective Cohort Study
但木壯一郎(東北大学循環器内科)
4. A Role of Non-fasting Hyperglycemia for Risk Prediction of Coronary Disease and Ischemic Stroke
今野 弘規(大阪大学公衆衛生学)
5. Assignments for Infrastructure Development of Large Medical Database for Preventive Medicine and Disease Management
藤井 進(佐賀大学医療情報部)

- (16) New Oral Anti-diabetic Agents and Cardiovascular Protection 〈英語〉
(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タ
ワーウィング3階 光琳1)
座長: 室原 豊明(名古屋大学循環器内科)
Henry Krum(Monash University, Australia)

演 者:

- Keynote Lecture: New Anti Diabetic Agents and Heart Failure
Henry Krum(Monash University, Australia)
1. New Anti-Diabetic Drugs and Cardiovascular Disease
尾山 純一(佐賀大学先端心臓病学)
 2. A DPP-4 Inhibitor Suppresses Lipopolysaccharide-induced Inflammation in Monocytes by Inhibiting Phosphorylation of Caveolin-1 through CD26: Comparison with Incretins
平野 勉(昭和大学糖尿病・代謝・内分泌内科)
 3. DPP4 Inhibitors and Heart Failure: Foes or Friends? -Clues from Clinical and Preclinical Studies
坂東 泰子(名古屋大学循環器内科)
 4. The Pathophysiological Role of Sodium-Glucose Cotransporter (SGLT) during Ischemia-Reperfusion Injury: Expectations and Some Concerns about SGLT Inhibition in the Heart
名越 智古(東京慈恵会医科大学循環器内科)
 5. Linagliptin Improves the Prognosis of Ischemic Cardiomyopathy in a New Murine Model of Diet-Induced Myocardial Infarction
中岡 創(大阪大学循環器内科)

- (17) Cardiovascular Research Using Next Generation Sequencer 〈英語〉
(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タ
ワーウィング2階 桐)
座長: 小室 一成(東京大学循環器内科学)
Elizabeth M. McNally(Northwestern University, USA)

演 者：

Keynote Lecture: Cardiovascular Research Using Next Generation Sequencing
Elizabeth M. McNally (Northwestern University, USA)

Keynote Lecture: Genetic Architecture of Coronary Disease

Heribert Schunkert (Deutsches Herzzentrum München, Technische Universität München, Germany)

1. Molecular Discovery Research Using TransOmics in Cardiovascular Pathophysiology
肥後修一朗(大阪大学循環器内科学)

2. Quantitative Transcriptome Analysis Using Next Generation Sequencer Reveals Significant Alternations of Cardiac Gene Expression in Heart Failure
和田 厚幸(草津総合病院循環器内科)

(18) Pregnancy and Delivery in Cardiac Disease 〈英語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桂)

座長：丹羽公一郎(聖路加国際病院心血管センター循環器内科)

Carole A. Warnes (Mayo Clinic, USA)

演 者：

Keynote Lecture: Pregnancy and Delivery in Women with Congenital Heart Disease

Carole A. Warnes (Mayo Clinic, USA)

1. Multidisciplinary Approach to Pregnancy-related Acute Myocardial Infarction (AMI) - Analysis from Case Reports for 32 Years in Japan-

佐藤 洋(浜松医科大学第三内科)

2. Pregnancy in the Congenital Long-QT Syndrome: Efficacy and Safety of beta-blocker Therapy for Prevention of Lethal Ventricular Arrhythmias

石橋 耕平(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

3. Infertility Treatment in Adult Patients with Congenital Heart Disease

赤木 禎治(岡山大学病院成人先天性心疾患センター)

4. Preconceptional Counselling for Women with Heart Disease -The Importance of an Approach by a Multidisciplinary Team-

神谷千津子(国立循環器病研究センター周産期・婦人科)

(19) 不整脈研究の新展開 〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長：新 博次(日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科)

三田村秀雄(立川病院)

演 者：

1. A Post-GWAS Analysis, MAGENTA, Identified Novel Pathways for Atrial Fibrillation
江花 有亮(東京医科歯科大学学生体情報薬理)

2. Can Genetic Risk of Atrial Fibrillation Predict Fibrillatory Substrate and Clinical Outcome after Catheter Ablation?

高橋 良英(災害医療センター循環器科)

3. Immunohistochemical and Biochemical Evidence for Autonomic Nervous Remodeling in Atrial Fibrillation with Structural Heart Diseases

山下 武志(心臓血管研究所循環器内科)

4. Role of FDG-PET/CT in Patients with Atrial Fibrillation

宮内 瑞穂(四谷メディカルキューブ健診センター)

5. The Significance of Positron Emission Tomography to Detect the Underlying Inflammatory Cardiomyopathy with Arrhythmogenicity

橘 元見(岡山大学循環器内科学)

6. RyR Bound Calmodulin Plays a Key Role in Arrhythmogenesis in End-stage Heart Failure
山本 健(山口大学器官病態内科学)

- (20) 機能的狭心症の診断と治療：冠攣縮, microvascular disease を考える 〈日本語〉
(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)

座長：平山 篤志(日本大学循環器内科学)
赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

演 者：

1. How Should be Microvascular Disease Diagnosed? ; The Diagnostic Potency of Rest-stress Myocardial Perfusion Magnetic Resonance Imaging
割澤 高行(新東京病院心臓内科)
2. Impact of Sex Differences on Invasive Measures of Coronary Microvascular Dysfunction
古林 雄平(Stanford University Medical Center, USA)
3. Impact of Gender and Genetic Factors for Myocardial Lactate Production during Acetylcholine-provoked Coronary Spasm
海北 幸一(熊本大学循環器内科学)
4. Comparison of Basal Coronary Artery Tone and Coronary Vasospastic Response to Acetylcholine between in the Morning and in the Afternoon
倉林 学(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科)
5. Prognostic Impact of Rho-kinase Activity in Circulating Leukocytes of Patients with Vasospastic Angina
高橋 潤(東北大学循環器内科学)

- (21) 冠動脈疾患における至適抗血栓療法を考える 〈日本語〉
(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長：堀内 久徳(東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野)
木村 一雄(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)

演 者：

1. Antithrombotic Therapies and Clinical Outcomes of Patients with Atrial Fibrillation and History of Coronary Intervention: From the Fushimi AF Registry
阿部 充(国立病院機構京都医療センター循環器内科)
2. Anticoagulant and Antiplatelet Therapy in Patients with Atrial Fibrillation Undergoing Percutaneous Coronary Intervention Using Drug-eluting Stents: A Multi-center Cohort Study
山口 淳一(東京女子医科大学循環器内科)
3. Impact of CYP2C19 Polymorphisms on Platelet Reactivity and Clinical Outcomes in Japanese Patients with Acute Coronary Syndromes
塚原 健吾(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科)
4. Real-world Application of Pre-procedural Dual Antiplatelet Therapy in Percutaneous Coronary Intervention; A Report from Contemporary Multicenter Registry
池上 幸憲(国立病院機構東京医療センター循環器科)
5. Relationship between In-stent Thrombosis and Platelet Reactivity of Clopidogrel Evaluated by Angioscopic Follow-up Study
高山 忠輝(日本大学循環器内科)
6. How Lower On-Treatment Platelet Reactivity Contributes to the Reduction of Ischemic Event Following PCI: Insight from OCT Sub-study in PRASFIT-Selective
新家 俊郎(神戸大学循環器内科学)

- (22) 動脈硬化の予防戦略：バイオマーカー，機能検査および画像の情報をどう活かすか 〈日本語〉
 (学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)
 座長：代田 浩之(順天堂大学循環器内科学)
 倉林 正彦(群馬大学臓器病態内科学)

演 者：

1. Significance of Coronary CT Angiography for Strategies to Prevent Atherosclerosis
 藤本進一郎(順天堂大学循環器内科学)
2. Atorvastatin Therapy Decreases Macrophages Accumulation in Coronary Atherosclerotic Plaques: An Optical Coherence Tomography Study
 久保 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)
3. Impact of High-Density Lipoprotein Functionality on Coronary Plaque Progression and Regression in Diabetic Patients Using Integrated Backscatter Intravascular Ultrasound
 岩田 敦(福岡大学心臓血管内科学)
4. Quantitative and Qualitative Evaluations of the Residual Risk of Atherosclerotic Cardiovascular Diseases that Focus on the Accumulation of Chylomicron Remnants
 増田 大作(大阪大学循環器内科学)
5. Searching for Biomarkers Useful for Acute Coronary Syndrome Prediction by the Screening of Auto-antibodies
 西 英一郎(京都大学循環器内科学)
6. Atherosclerosis in Japan and the US and Related Biomarkers: ERA JUMP and SESSA
 三浦 克之(滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門)

- (23) 循環器医療の費用対効果 〈日本語〉
 (学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)
 座長：楠岡 英雄(国立病院機構大阪医療センター)
 田倉 智之(大阪大学医療経済産業政策学)

演 者：

1. Theory and Case of Cost-Effectiveness Analysis in Cardiovascular Disease Based on Socioeconomic Meaning
 田倉 智之(大阪大学医療経済産業政策学)
2. The Impact on the Hospitalization Cost by Carperitide Infusion for Long Periods
 東 健作(国立病院機構鹿児島医療センター第二循環器科)
3. Cost-effectiveness Analysis of Percutaneous Coronary Intervention in Patients Complicated with Atrial Fibrillation
 高野 仁司(日本医科大学循環器内科学)
4. Cost-effective Analysis of Transarterial Aortic Valve Implantation and Conventional Aortic Valve Replacement: A Comparative Study Using DPC Data
 森田 茂樹(佐賀大学胸部外科)

- (24) Interventions for Structural Heart Disease 〈英語〉
 (学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長：安斉 俊久(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
 Horst Sievert(CardioVascular Center Frankfurt, Germany)

演 者：

- Keynote Lecture: Structural Heart Disease Intervention (TAVR, MitraClip, LAA Closure, Heart Failure Interventions & More)
 Horst Sievert(CardioVascular Center Frankfurt, Germany)
1. Percutaneous Edge-to-edge Mitral Valve Repair: Are We Ready to Broad the Indication?
 Carmelo Grasso(Ferrarotto Hospital, University of Catania, Italy)

2. Contribution of Three-Dimensional Transesophageal Echocardiography to Minimally Invasive Mitral Valve Surgery: Prediction of Mitral Valve Repair Complexity and Procedural Success
森 三佳(金沢大学循環器内科)
3. Optimal Patient Screening for the Transcatheter Aortic Valve Implantation: Who Should and Who Should Not be Selected
天木 誠(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
4. Impact of Small Annulus on Hemodynamic Outcome Following Transcatheter Aortic Valve Replacement Compared with Surgical Aortic Valve Replacement
上岡 智彦(社会保険小倉記念病院循環器科)

プレナリーセッション・シンポジウム・一般演題・特別企画要項

プレナリーセッション、シンポジウム、一般演題の開催要領は原則として下記の通りです(ただし一部の日本語発表セッションを除く)。

1) プレナリーセッション：

- 招請外国人による講演(state-of-the-art)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 発表者は各専門領域における各自のデータに加え、現況と将来の方向について講演(オーバービュー)する。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳をつけます)。
- 総合討論は行わない。

2) シンポジウム：

- 招請外国人による講演(keynote lecture)を行う。その後、招請外国人及び指定または公募通過者の計5名程度による発表。ただし一部の日本語発表セッションを除く。
- 各自の最先端の研究について発表し、自由な討論を行う。
- 発表は一部日本語発表セッションを除き英語とする(同時通訳はつけません)。

3) 一般演題：

- 発表者は原則として、応募時に選択した日本語または英語で行う(同時通訳なし)。
- 一般演題の発表形式は、以下のように分けられます。
 - ① Featured Research Sessions in English(英語発表希望者抄録のうち比較的高得点の演題から構成)
 - ② 一般演題口述発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)
 - ③ ポスター発表(発表希望言語により日本語または英語セッションに分けられる)

4) 特別企画：

- 真下記念講演、トピックス、コントロールシー、ミートザエキスパート(*), ラウンドテーブルディスカッション、モーニングレクチャー、教育セッションは日本語で行われます。
*一部セッションは英語で行われます。
- 美甘レクチャー、特別講演は英語で行われ、同時通訳付きとなります。

8. 会長特別企画

- (1) 日本における心臓移植の歴史と今後の課題 〈日本語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)
座長: 川島 康生(国立循環器病研究センター名誉総長)
北村惣一郎(国立循環器病研究センター名誉総長/堺市立病院機構)

演 者:

1. Current Status and Future Aspect of Cardiac Donation in Japan, Especially in Children
福嶋 教偉(大阪大学未来医療開発部)
2. Heart Transplantation in Japan: Viewpoint of Candidates and Recipients
中谷 武嗣(国立循環器病研究センター移植部)
3. Long-term Management of Patients Receiving Overseas Heart Transplants and Education of Japanese Citizens Regarding Heart Transplantation
布田 伸一(東京女子医科大学重症心不全制御学分野)
4. The Role of Cardiologists in the Management of Patients Receiving Heart Transplantation
絹川弘一郎(東京大学重症心不全治療開発講座)
5. Selection of Heart Transplant Recipient in Japan
磯部 光章(東京医科歯科大学循環制御内科学)
6. 特別発言: What is the Key for Next Step to Promote Heart Transplantation in Japan?
松田 暉(神戸国際医療交流財団)
7. 特別発言: History and Problems of Heart Transplantation in Japan -Role of the Council of Organ Transplantation Related Academic Societies(COTRAS)-
小柳 仁(東京女子医科大学名誉教授)

- (2) 日本循環器学会創立80周年記念企画 日本発一循環器治療の歴史 〈日本語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)
座長: 友池 仁暢(榊原記念病院)
山口 徹(虎の門病院)

演 者:

1. Coronary Spastic Angina -Past, Present and Future
泰江 弘文(熊本加齢医学研究所・熊本機能病院循環器内科)
2. Development of Inoue-Balloon and Current Status of PTMC
井上 寛治(PTMC 研究所)
3. The Gastroepiploic Artery Graft for Coronary Artery Bypass Grafting
須磨 久善(須磨ハートクリニック)
4. The Development of TRI in JAPAN
齋藤 滋(湘南鎌倉総合病院心臓センター循環器科)
5. Advances in Medical Treatment of Hypertrophic Obstructive Cardiomyopathy
濱田 希臣(市立宇和島病院循環器内科)
6. Extensive Reconstruction of the Left Anterior Descending Coronary Artery with an Internal Thoracic Artery Graft
高梨秀一郎(榊原記念病院心臓血管外科)
7. Balloon Pulmonary Angioplasty as a Treatment for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
松原 広己(国立病院機構岡山医療センター循環器科)

- (3) 不整脈治療に対するアブレーションの進歩 〈英語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)
座長: 山部 浩茂(熊本大学循環器内科学不整脈先端医療寄附講座)
中川 博(Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma, Health Sciences Center, USA)

演 者：

1. Optical Mapping of AF: Implications of Rotors Mapping and Ablation
山崎 正俊(名古屋大学環境医学研究所心・血管分野)
2. Can We Identify AF Rotors Using a Basket Catheter?
濱 義之(君津中央病院循環器科)
3. Tachycardia Circuit in Verapamil-Sensitive Atrial Tachycardia
山部 浩茂(熊本大学循環器内科学不整脈先端医療寄附講座)
4. Complex Atrial Tachycardia after Catheter and Surgical Ablation of Atrial Fibrillation: Implications of New Mapping and Ablation Systems
中川 博(Heart Rhythm Institute, University of Oklahoma Health Sciences Center, USA)
5. VT Ablation by Substrate Modification
Paolo Della Bella(San Raffaele Hospital, Italy)

(4) 糖尿病合併の冠動脈疾患に対する治療戦略 〈日本語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)

座長：石原 正治(兵庫医科大学内科学冠疾患科)
小林順二郎(国立循環器病研究センター心臓血管外科)

演 者：

1. Strategies for Myocardial Revascularization in Patients with Diabetes and Multivessel Coronary Artery Disease
川筋 道雄(熊本大学心臓血管外科学)
2. CABG as the Most Effective Revascularization in Prevention of Myocardial Infarction and Cardiac Death for Complex Diabetic Coronary Artery Disease
浅井 徹(滋賀医科大学心臓血管外科)
3. Clinical Outcome of All Arterial Off Pump Coronary Artery Bypass Grafting in Patients with Diabetes Mellitus
藤田 知之(国立循環器病研究センター心臓血管外科)
4. Morphologic Findings of Coronary Atherosclerotic Plaques in Diabetic Patients
宮内 克己(順天堂大学循環器内科学)
5. Coronary Revascularization in Diabetic Patients, Perspectives from Large Scale Randomized Trials
中川 義久(天理よろづ相談所病院循環器内科)
6. PCI on Complex Lesion of Patients with Diabetes Mellitus
中村 淳(新東京病院心臓内科)

(5) 大規模レジストリーの将来展望 〈日本語〉
(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)
座長：小川 久雄(熊本大学循環器内科学/国立循環器病研究センター)

澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科学)

演 者：

1. Perspective of the Japanese Registry Of All cardiac and vascular Diseases (JROAD); Application of the Diagnosis Procedure Combination(DPC) Data
安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. Making of the JCS Standard Export Data Form for the Cardiology Examination and Therapeutic Report Incorporation with IHE-Japan
竹花 一哉(関西医科大学内科学第二講座)
3. Japan TAVI Registry
鳥飼 慶(大阪大学心臓血管外科学)

4. Perspectives from the Chronic Heart Failure Analysis and Registry in the Tohoku District 2 (CHART-2) Study
坂田 泰彦(東北大学循環器内科学)
5. JACSS(Japanese Acute Coronary Syndrome Study)
小島 淳(熊本大学循環器内科学)
6. CREDO-Kyoto Registry
木村 剛(京都大学循環器内科学)

(6) エピゲノムと循環器疾患 〈英語〉
(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第8会場 大阪国際会議場 12階 グラント
ック)

座長: 藤田 敏郎(東京大学先端科学技術研究センター)
南野 直人(国立循環器病研究センター 研究所分子薬理部)

演 者:

1. Interface of Epigenome and Metabolism
深水 昭吉(筑波大学生命領域学際研究センター)
2. Epigenetic Regulation in Cardiac Differentiation and Disease
油谷 浩幸(東京大学先端科学技術研究センターゲノムサイエンス分野)
3. Epigenetic Regulation in Heart Regulation
竹内 純(東京大学分子細胞生物学研究所心循環器再生研究分野)
4. Genetic and Epigenetic Regulation in Angiogenic Cell Dynamics
西山 功一(熊本大学循環器予防医学先端医療寄附講座)
5. Dysregulation of the Epigenome in Diabetic Nephropathy
丸茂 丈史(東京大学先端科学技術研究センター)

(7) 発生と循環器疾患 〈英語〉
(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タ
ワーウィング2階 桂)

座長: 福田 恵一(慶應義塾大学循環器内科)
望月 直樹(国立循環器病研究センター 研究所細胞生物学部)

演 者:

1. Proteoglycan is Essential for Developing Closed Circulatory System
牧野 伸司(慶應義塾大学循環器内科)
2. Slow Growth in Fetal Life as the Risk of Non-Congenital Heart Diseases in Adult
有馬勇一郎(熊本大学循環器内科学)
3. The Role of Angiopoietin-1 in Coronary Venogenesis in the Developing Heart
中岡 良和(大阪大学循環器内科学)
4. De Novo Formation of a Distinct Coronary Vascular Population in Neonatal Heart
Bin Zhou(Institute for Nutritional Sciences, Shanghai Institutes for Biological
Sciences, Chinese Academy of Sciences, China)

(8) 循環器疾患におけるデータマネージングの重要性 〈日本語〉
(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タ
ワーウィング2階 桂)

座長: 大江 和彦(東京大学社会医学専攻分野)
穴戸 稔聡(国立循環器病研究センター 研究推進支援部)

演 者:

1. The Goals of Center for Cerebral and Cardiovascular Disease Information
宮本 恵宏(国立循環器病研究センター 循環器病統合情報センター)
2. Increasing Importance of Data Management in Clinical Studies
森本 剛(兵庫医科大学内科学総合診療科)

3. Importance of Data Management in Cardiology Clinical Studies: From a Physician's Viewpoint

松井 邦彦(熊本大学地域医療システム学寄附講座)

4. Actual Data Managing in JROAD

住田 陽子(国立循環器病研究センターレジストリー情報室)

5. Goal for Data-management of JROAD

西村 邦宏(国立循環器病研究センター循環器統合情報センター)

6. How to 'Manage' Your Data in Clinical Trials

興梠 貴英(自治医科大学企画部・医療情報部／循環器内科)

(9) 本邦における新規抗血栓薬の新展開 〈英語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

座長: 草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

掃本 誠治(熊本大学循環器内科学)

演 者:

1. Managing Atrial Fibrillation Patients Presenting with Acute Coronary Syndrome or Undergoing Stenting: Anticoagulation, Antiplatelets or Combination?

Gregory Y. H. Lip (University of Birmingham Centre for Cardiovascular Sciences, City Hospital, UK)

2. Clinical Use of Three Novel Oral Anticoagulants in a Japanese University Hospital: Focusing on the Patient Backgrounds and Drug Efficacy

林 明聡(日本医科大学循環器内科学)

3. Pharmacological Characteristics of Novel Oral Anticoagulants

北島 勲(富山大学臨床分子病態検査学講座)

4. New Era of Antiplatelet Treatment at the Time of PCI

中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

5. Antiplatelet Therapy; Basic Aspects

堀内 久徳(東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野)

6. Effectiveness and Safety of Rivaroxaban in Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation - First Report from the EXPAND Study-

福田 浩二(東北大学循環器内科学)

7. A Novel Assessment of Accurate Clotting Status in the New Era of Anti-thrombotic Therapies in Coronary Artery Disease

有馬勇一郎(熊本大学循環器内科学)

(10) 血管機能および循環障害から見た冠動脈疾患の治療戦略 〈英語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

海北 幸一(熊本大学循環器内科学)

演 者:

1. Treatment Strategies for the Coronary Artery Disease Based on Vascular Function

John F. Keaney, Jr. (University of Massachusetts Medical School, USA)

2. Involvement of Rho-kinase Pathway in the Pathogenesis of Coronary Hyperconstricting Responses after Drug-Eluting Stents Implantation

西宮 健介(東北大学循環器内科学)

3. Physiological Evaluation of Epicardial and Microvascular Coronary Vasomotor Function and Potential Treatment Strategy in Patients with Coronary Vasospastic Angina

辻田 賢一(熊本大学循環器内科学)

4. Prediction and Prevention of Acute Coronary Syndrome: Insights from Optical Coherence Tomography

久保 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

5. Noninvasive Evaluation of Coronary Blood Flow and Myocardial Microcirculation Using Magnetic Resonance Imaging

野口 暉夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

6. Ischemia Detection and Treatment Planning Using Pressure Wire Derived Resting Index: Instantaneous Wave Free Ratio(iFR)

松尾 仁司(岐阜ハートセンター循環器内科)

(11) 日本人の血栓性素因

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長: 宮田 敏行(国立循環器病研究センター研究所分子病態部)

村田 満(慶應義塾大学臨床検査医学)

演 者:

1. Congenital Deficiency of Protein C/S, Especially Protein S K196E Mutation

宮田 敏行(国立循環器病研究センター研究所分子病態部)

2. A New Mechanism of Inherited Thrombophilia, Antithrombin Resistance

小嶋 哲人(名古屋大学病態解析学講座)

3. Management of Venous Thromboembolism with Inherited Thrombophilia

中村 真潮(三重大学循環器・腎臓内科学)

4. Effect of Single Nucleotide Polymorphisms and Ethnic Difference on the Antiplatelet Effects of ADP Receptor Antagonists

堀内 久徳(東北大学加齢医学研究所基礎加齢研究分野)

5. Risk of Thrombosis in Japanese Patients as Compared to Other Regions of the World

後藤 信哉(東海大学循環器内科)

(12) 循環器疾患における先制医療: 新しい画像診断とバイオマーカーの応用

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 朔 啓二郎(福岡大学心臓・血管内科学)

斎藤 能彦(奈良県立医科大学第一内科)

演 者:

1. Relation between Myocardial Fibrosis Evaluated by Cardiac Magnetic Resonance and Cardiac Troponin T Release in Patients with Nonischemic Heart Failure

山室 恵(熊本大学循環器内科学)

2. Role of Invasive Coronary Imaging in Cardiovascular Preemptive Medicine

上村 史朗(奈良県立医科大学第一内科)

3. Usefulness of Cardiac PET Imaging for Comprehension of Early Stage of Coronary Atherosclerosis: Measurement of Myocardial Blood Flow and Biomarkers

木曾 啓祐(国立循環器病研究センター放射線部)

4. HDL-targeting Molecular Imaging for Atherosclerosis

上原 吉就(福岡大学心臓・血管内科学)

9. ジョイントシンポジウム

〈英語〉

(1) KSC-JCS Joint Symposium

Current Topics and Future Collaboration of Cardiovascular Surgery between Korea and Japan

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)

座長: 澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科学)

Byung-Chul Chang(Yonsei University College of Medicine, Korea)

演 者:

1. Adequate Intensity of Warfarin Therapy for Korean Patients with Mechanical Heart Valves

Byung-Chul Chang(Yonsei University College of Medicine, Korea)

2. Surgical Outcomes of Orthotopic Heart Transplantation: ASAN Medical Center Experience of 500 cases
Jae Won Lee (Asan Medical Center, Korea)
3. Current Outcomes of Saphenous Vein Conduit Used for Coronary Artery Revascularization
Ki-Bong Kim (Seoul National University Hospital, Korea)
4. Changing Issue of Surgical Indication for Valvular Heart Disease after Emergence of the 2014 AHA/ACC Guideline
高梨秀一郎(榊原記念病院心臓血管外科)
5. Current Status of Coronary Artery Bypass Grafting in Japan
夜久 均(京都府立医科大学心臓血管外科)
6. Surgical Strategy for End-stage Heart Failure Patients
澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科学)

(2) CSC-JSC Joint Symposium

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)

座長: 小室 一成(東京大学循環器内科学)

Junbo Ge (Department of Cardiology, Zhongshan Hospital, Fudan University
Shanghai Institute of Cardiovascular Diseases, China)

演 者:

1. MicroRNA-378 and Cardiac Remodeling
Yunzeng Zou (Shanghai Institute of Cardiovascular Diseases, Zhongshan Hospital, Fudan University, China)
2. Mechanistic Basis for Diabetic Cardiomyopathy
塩島 一朗(関西医科大学内科学第二講座)
3. Biomarkers in Clinical Practice of Heart Failure
Jian Zhang (Heart Failure Center, Fuwai Hospital, Chinese Academy of Medical Sciences, China)
4. Beta-blocker Therapy for Heart Failure with Preserved Ejection Fraction
山本 一博(鳥取大学医学部病態情報内科学)
5. Current Status of the Treatments of the Patients with Heart Failure in China
Jingmin Zhou (Department of Cardiology, Zhongshan Hospital, Fudan University, China)

(3) ACC-JCS Joint Symposium

Current Topics of Non-vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants

(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 山下 武志(心臓血管研究所循環器内科)

Kim Williams (Rush University Medical Center, USA)

演 者:

1. Benefit and Risk of NOACs in USA
Shunichi Homma (Columbia University Medical Center, USA)
2. Efficacy and Safety of NOACs in Atrial Fibrillation Patients with Renal Insufficiency
高橋 尚彦(大分大学循環器内科・臨床検査診断学)
3. The Clinical Dilemma of "Triple Therapy": Managing Antithrombotic Therapy in Patients with Both Atrial Fibrillation and Ischemic Heart Disease
Andrea M. Russo (Cooper Medical School of Rowan University, USA)
4. Reversal Agents for Anticoagulation
Kim Williams (Rush University Medical Center, USA)
5. Racial Difference Potentiates the Benefit of NOAC in Asian
是恒 之宏(国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター)

6. Intracranial Hemorrhage under NOACs

矢坂 正弘(国立病院機構九州医療センター脳血管・神経内科)

7. Practical Choice of Non-Vitamin K Antagonists (NOACs), Considering Interindividual Variation

草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

(4) ESC-JCS Joint Symposium

Coronary Vasomotion Abnormalities

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長: 下川 宏明(東北大学循環器内科学)

Fausto Pinto(Lisbon University Medical School, Portugal)

演 者:

1. Coronary Microvascular Dysfunction

Paolo G. Camici(Vita-Salute University and San Raffaele Hospital, Italy)

2. Importance of Coronary Artery Spasm in Western Populations

Peter Ong(Robert-Bosch-Krankenhaus, Germany)

3. Coronary Vasomotion Abnormalities Induced by Drug-Eluting Stents

高橋 潤(東北大学循環器内科学)

4. Importance of Coronary Microvascular Vasomotion Abnormalities in Japanese Population

海北 幸一(熊本大学循環器内科学)

(5) AHA-JCS Joint Symposium

Diabetes and Heart Failure~The Joint Risk~

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)

Mary Cushman(University of Vermont, USA)

演 者:

1. Epidemiology of Diabetes and Heart Failure in the USA

Mary Cushman(University of Vermont, USA)

2. Diabetes and Heart Failure in the United States

Gregg C. Fonarow(Ahmanson-UCLA Cardiomyopathy Center, USA)

3. Molecular Mechanisms of Obesity- and Diabetes-associated Cardiomyopathy

佐野 元昭(慶應義塾大学循環器内科)

4. DPP4 Inhibition in Heart Failure -Friend or Foe?

坂東 泰子(名古屋大学循環器内科)

10. Meet the ESC

〈英語〉

(1) Meet the ESC 1

Diagnosis and Treatment of Heart Failure with Preserved Ejection Fraction in Europe and Japan

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長: Fausto Pinto(Lisbon Cardiovascular Institute, Department of Cardiology, Lisbon, Portugal)

小室 一成(東京大学循環器内科学)

演 者:

1. Evaluation and Diagnosis in Europe

Genève Derumeaux(Hopital Henri Mondor, Explorations Fonctionnelles Cardio Vasculaires, Créteil, France)

2. Evaluation and Diagnosis in Japan

尾辻 豊(産業医科大学第二内科)

3. Medical Treatment in Europe

Michel Komajda(CHU Pitie Salpetriere, Cardiology Department, Paris, France)

4. Medical Treatment in Japan

山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)

(2) Meet the ESC 2

Recent Advances in the Management of Pulmonary Hypertension Based ESC and JCS Guidelines
(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長: Geneviève Derumeaux (Hopital Henri Mondor, Explorations Fonctionnelles Cardio Vasculaires, Créteil, France)

福田 恵一(慶應義塾大学循環器内科)

1. ESC Guidelines on Pulmonary Hypertension

Adam Torbicki (Centre of Postgraduate Medical Education, Department of Pulmonary Circulation, Otwock, Poland)

2. JCS Guidelines on Pulmonary Hypertension

佐藤 徹(杏林大学循環器内科)

3. Newly developed treatments on Pulmonary Hypertension in Europe

Nazzareno Galie (University of Bologna, DIMES, Bologna, Italy)

4. Newly developed treatments on Pulmonary Hypertension in Japan

松原 広己(独立行政法人国立病院機構岡山医療センター臨床研究部)

11. ラウンドテーブルディスカッション

〈日本語〉

(1) 分子画像による病態解明

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)

座長: 小室 一成(東京大学循環器内科学)

宮脇 敦史(理化学研究所脳科学総合研究センター/光量子工学研究領域)

演 者:

1. Cruising Inside Cells

宮脇 敦史(理化学研究所脳科学総合研究センター/光量子工学研究領域)

2. Understanding Cardiovascular Development by In Vivo Fluorescence Bio-Imaging of Zebrafish Embryos

望月 直樹(国立循環器病研究センター研究所細胞生物学部)

3. Molecular and Cellular Mechanisms in Angiogenic Morphogenesis

西山 功一(熊本大学循環器予防医学先端医療寄附講座)

4. Fluorescence as an Interactive Tool for Life: From Molecular Mechanisms to Human Cardiovascular Events

西村 智(自治医科大学分子病態研究部・東京大学循環器内科学)

(2) 植込み型補助人工心臓の現状と課題

(学会第1日目 4月24日(金) 11:10~12:40 第19会場 ABC ホール)

座長: 中谷 武嗣(国立循環器病研究センター移植部)

坂田 泰史(大阪大学循環器内科学)

演 者:

1. LVAD Clinical Applications(BTR / BTT / BTC /DT)

築瀬 正伸(国立循環器病研究センター移植部)

2. Indication for Implantable Ventricular Assist Device - Current and Future

絹川弘一郎(東京大学重症心不全治療開発講座)

3. Bridge to Transplant Long-term Mechanical Circulatory Support: Current Status and Keys for Preventing Adverse Events
西中 知博(東京女子医科大学心臓血管外科)
4. Current Status and Issues in Management and Care of Patients with an Implantable Non-pulsatile Left Ventricular Assist Device
堀 由美子(国立循環器病研究センター看護部・移植部)
5. LVAD Destination Therapy(DT): Current Status and Future Perspective
戸田 宏一(大阪大学心臓血管外科学)

(3) 地域での救急医療の最前線

(学会第1日目 4月24日(金) 11:10~12:40 第24会場 グランフロント大阪 北館 タワーC 8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C01+C02)

座長: 木村 一雄(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)
田原 良雄(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者:

1. An Attempt of Early Coronary Reperfusion for Acute Myocardial Infarction in a Shikoku Area
日浅 芳一(徳島赤十字病院循環器科)
2. Early Reperfusion for Acute Myocardial Infarction: Minimization of Door-in to Door-out Time in the Setting of First Medical Contact
中尾 浩一(済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科)
3. Approach of Reperfusion Therapy to AMI Based on the Intimate Cooperation between the Interventionists of Acute Medical Institutes in Fukui
水野 清雄(福井心臓血管センター福井循環器病院循環器内科)
4. Acute Intervention for ACS, How Hospitals Work in Their Situation. Comparison between High or Low Patients Volume and Physicians Staffing
大和 眞史(諏訪赤十字病院循環器科)
5. Emergency Cardiac Care System and Chronic Management Method in Patients with Acute Cardiac Events
井上 一郎(広島市立広島市民病院循環器内科)
6. Does a Unique Ambulance-transport System "e-MATCH" for Acute Coronary Syndrome Reduce Onset-to-Reperfusion Time?: Problems and Perspective on Nara Method
土肥 直文(奈良県西和医療センター循環器内科)

(4) 心不全治療をトータルで考える: ポンプ, リズム, コロナリー

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 安村 良男(国立病院機構大阪医療センター循環器科)
草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者:

1. New Aspects of the Heart Failure in the Post Human Genome Project Era
古川 哲史(東京医科歯科大学難治疾患研究所生体情報薬理学)
2. Percutaneous Coronary Intervention for Congestive Heart Failure: Why, When and How
中尾 浩一(済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科)
3. The Optimal Strategy to Manage Atrial Fibrillation in Patients with Congestive Heart Failure
宮本 康二(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
4. Heart Failure is a Failure of Brain-regulated System for Dynamic Circulatory Homeostasis
岸 拓弥(九州大学先端心血管治療学)
5. Left Ventricular Reverse Remodeling Related to Heart Failure Prognosis
猪又 孝元(北里大学循環器内科学)

6. Importance of Hospital and Clinic Cooperation, and Home Care

鈴木 誠(亀田総合病院循環器内科)

(5) 日本の循環器救急疾患の現状

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第20会場 グランフロント大阪 北館 B2階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)

座長: 住吉 徹哉(榊原記念病院循環器内科)

安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者:

1. KACE(Kumamoto Acute Coronary Events)Study

小島 淳(熊本大学循環器内科学)

2. Trends in the Emergency Care of AMI in Japan - A Report from the Miyagi AMI Registry Study-

高橋 潤(東北大学循環器内科学)

3. Circadian Variation of a Cardiogenic Shock Complicating Acute Myocardial Infarction

鈴木 誠(榊原記念病院循環器内科)

4. SOS-KANTO Study

田原 良雄(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

5. Percutaneous Coronary Intervention and Cardiopulmonary Support for the Patients with Out of Hospital Cardiac Arrest

國分 宣明(札幌医科大学循環器・腎臓・代謝内分泌内科学講座)

(6) 心臓サルコイドーシスの診断と治療

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 森本紳一郎(総合青山病院循環器内科)

寺崎 文生(大阪医科大学医学部教育センター)

演 者:

1. Current Perspectives and Future Directions on the Diagnosis and Treatment of Cardiac Sarcoidosis

矢崎 善一(佐久総合病院佐久医療センター循環器内科)

2. ¹⁸F-FDG and Perfusion PET for the Assessment of Disease Activity in Patients with Suspected Cardiac Sarcoidosis

納谷 昌直(北海道大学循環病態内科学)

3. Clinical Characteristics of Definite or Suspected Isolated Cardiac Sarcoidosis

手塚 大介(東京医科歯科大学循環制御内科学)

4. Cardiac Sarcoidosis: Current Situation and Issues of Diagnosis and Arrhythmia Management

草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

5. Clinical Pictures of 134 Cases of Cardiac Sarcoidosis: A Multi-institutional Study

森本紳一郎(総合青山病院循環器内科)

6. Revision of Japanese Guideline for the Diagnosis of Sarcoidosis Including the Criteria for Cardiac Involvement

寺崎 文生(大阪医科大学医学部教育センター)

(7) 心房細動合併PCI施行例の抗血栓療法

(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長: 木村 剛(京都大学循環器内科学)

掃本 誠治(熊本大学循環器内科学)

演 者:

1. CREDO-Kyoto Cohort-2 AF Substudy and OAC-ALONE Study

静田 聡(京都大学循環器内科学)

2. Non-VKA Oral Anticoagulant(NOAC) in Atrial Fibrillation Patients Receiving PCI

阿古 潤哉(北里大学循環器内科学)

3. Optimal Antithrombotic Therapy to the Patient with Atrial Fibrillation after Stent Implantation from Insight of Oral Anticoagulants
上野 高史(久留米大学循環器病センター)
4. Medical Management of PCI Cases with Atrial Fibrillation
中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

(8) 致死性不整脈ストームへの対応

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長: 栗田 隆志(近畿大学循環器内科学)

清水 昭彦(山口大学保健学系学域)

演 者:

1. Electrical Storm in Japan; Insights from the Nippon Storm Study
野田 崇(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. Pharmacological Interventions for Electrical Storm
池主 雅臣(新潟大学保健学科)
3. Management of Electrical Storm: ICD Programming
副島 京子(杏林大学循環器内科)
4. Catheter Ablation for Idiopathic Polymorphic Ventricular Tachycardia and Ventricular Fibrillation
野上 昭彦(筑波大学循環器内科)
5. Catheter Ablation for Lethal Arrhythmia Complicated by Organic Heart Disease
水野 裕八(大阪大学循環器内科学)

12. トピック

〈日本語〉

(1) 臓器間ネットワークから見た心血管治療戦略

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第19会場 ABC ホール)

座長: 塩島 一朗(関西医科大学第二内科)

大内 乗有(名古屋大学分子心血管病学)

演 者:

1. C1q/TNF-related Protein 9 Actions in the Cardiovascular System
柴田 玲(名古屋大学循環器内科)
2. Possible Role of Duodenal Iron Transporters in the Development of Cardiorenal Anemia Syndrome
内藤 由朗(兵庫医科大学内科学循環器内科)
3. Regulatory T cells and Tolerogenic Dendritic Cells as Critical Immune Modulators Linking the Skin and Intestinal Immune System to Atherosclerosis
佐々木直人(神戸大学循環器内科学)
4. The Role of the Central Nervous System in Heart Disease
東邦 康智(東京大学循環器内科学)
5. Type II Fast/Glycolytic Skeletal Muscle Growth Attenuates Cardio-Renal Injury by Activating eNOS Signaling in Remote Tissue via Endocrine Fashion
泉家 康宏(熊本大学循環器内科学)

(2) 心室頻拍アブレーションの新しいアプローチ

(学会第1日目 4月24日(金) 11:10~12:40 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 青沼 和隆(筑波大学循環器内科)

西崎 光弘(横浜南共済病院循環器内科)

演 者:

1. Epicardial Approach for Scar-related VT
副島 京子(杏林大学循環器内科)

2. Catheter Ablation for Ventricular Fibrillations
野上 昭彦(筑波大学循環器内科)
3. Radiofrequency Catheter Ablation of Electrical Storm in Patients with Acute or Recent Myocardial Infarction
宮内 靖史(日本医科大学循環器内科)
4. The Epicardial Ablation for the Patients with Brugada Syndrome
因田 恭也(名古屋大学循環器内科)
5. Catheter Ablation for Catecholaminergic Polymorphic Ventricular Tachycardia
関口 幸夫(筑波大学循環器内科)

(3) iPS を用いた再生医療

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)

座長: 小室 一成(東京大学循環器内科学)
湯浅 慎介(慶應義塾大学循環器内科)

演 者:

1. Cardiovascular Cell Differentiation and Regeneration Using Pluripotent Stem Cells
山下 潤(京都大学 iPS 細胞研究所)
2. A Massive Suspension Culture System with Metabolic Selection for Human Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiomyocytes
遠山 周吾(慶應義塾大学循環器内科)
3. Structural and Electrophysiological Characteristic of Human Induced Pluripotent Stem Cell-derived Cardiomyocytes
牧山 武(京都大学循環器内科学)
4. Drug Discovery for Heart Failure Using iPS Cells
内藤 篤彦(東京大学循環器内科学)
5. Translational Research of iPS Cell Sheet-based Myocardial Regeneration Therapy
宮川 繁(大阪大学心臓血管外科学)
6. Therapeutic Angiogenesis by iPS cells
柴田 玲(名古屋大学循環器内科)

(4) 急性心不全のリスク層別化と初期治療

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科・集中治療室)
坂田 泰史(大阪大学循環器内科学)

演 者:

1. Risk Stratification for Acute Heart Failure: A Meta-analysis of 34 Studies and 2838 Patients
石原 嗣郎(日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科)
2. Biomarkers in Patients with Acutely Decompensated Heart Failure
佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院循環器内科)
3. Risk Stratification for Heart Failure Based on the Severity of Liver Congestion
谷口 達典(大阪大学循環器内科学)
4. Pharmacotherapies for Cardiac Decompensation Based on the Risk Stratification
猪又 孝元(北里大学循環器内科学)
5. Remaining Non-pharmacological Approaches for Acute Heart Failure
永井 利幸(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

(5) BPA 時代の CTEPH の診断と治療

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)

座長: 松原 広己(国立病院機構岡山医療センター循環器科)
佐藤 徹(杏林大学循環器内科)

演 者：

1. Diagnosis and Medical Treatment of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
田邊 信宏(千葉大学先端肺高血圧症医療学寄附講座)
2. Breakthrough CT Imaging for Incoming CTEPH Era
大郷 剛(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
3. Usefulness of Optical Coherence Tomography Imaging in Management of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
杉村宏一郎(東北大学循環器内科学)
4. Long Term Outcomes of Balloon Pulmonary Angioplasty for Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
有原 正泰(国立病院機構岡山医療センター循環器科)
5. The Progress of Percutaneous Transluminal Pulmonary Angioplasty in Our Institution
伊波 巧(杏林大学循環器内科)
6. Pulmonary Endarterectomy, a Potentially Curative Treatment of Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
石田 敬一(千葉大学心臓血管外科学)

(6) 心・脳疾患のクロストーク

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)

座長：安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
豊田 一則(国立循環器病研究センター脳血管内科)

演 者：

1. Current Trend of Antiplatelet Therapy for Preventing the Recurrence of Non-cardioembolic Stroke
上原 敏志(国立循環器病研究センター脳血管内科／脳血管リハビリテーション科)
2. Antiplatelet Therapy after PCI for Patients with Ischemic Heart Disease
中川 義久(天理よろづ相談所病院循環器内科)
3. Acute Revascularization Therapy for Cardioembolic Stroke
平野 照之(杏林大学脳卒中医学)
4. Preventative Strategies of Recurrent Attacks in NVAf Patients with Past History of Ischemic Stroke
矢坂 正弘(国立病院機構九州医療センター脳血管・神経内科)
5. Role of Non-Vitamin K Antagonist Oral Anticoagulants (NOACs) for Patients with Non-Valvular Atrial Fibrillation
清水 渉(日本医科大学循環器内科)

(7) ペースメーカー細胞／自律神経

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長：草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
久留 一郎(鳥取大学遺伝子再生医療学)

演 者：

1. HCN4 Positive Cells Derived from Pluripotent Stem Cells Show Automaticity and Pacemaking Ability
白吉 安昭(鳥取大学再生医療学)
2. Autonomic Innervation to Engineered Cardiac Tissues -Implication to "Biological Pacemaker"-
李 鍾國(大阪大学心血管再生医学寄附講座)
3. Biological Pacemaker Created by HCN4-overexpressing Mouse Embryonic Stem Cell-derived Cardiomyocytes
中村 一文(岡山大学循環器内科学)

4. Brain Angiotensin II Receptor is a Novel Therapeutic Target for Atrial Fibrillation with Hypertension via Sympathoinhibition
岸 拓弥(九州大学先端心血管治療学)
5. The Membrane and Ca^{2+} Clocks in Sinoatrial Node Automaticity: Acceleration of the Ca^{2+} Clock by β -adrenergic Stimulation
篠原 徹二(大分大学循環器内科・臨床検査診断学)

13. コントロバーシー

〈日本語〉

(1) IVUS vs. OCT

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長: 赤坂 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

森野 禎浩(岩手医科大学循環器内科)

演 者:

1. OCT Can Provide Superior Delineation of Coronary Plaque Especially Vulnerable Plaque Compared with IVUS
久米 輝善(川崎医科大学循環器内科)
2. Impact of Positive Vessel Remodeling during Mid-term Follow after DES Implantation
坂本 憲治(熊本大学附属病院循環器内科)
3. Four Top Reasons to Use OCT during PCI
大竹 寛雅(神戸大学循環器内科学)
4. We Choose IVUS Over OCT to Guide Optimal PCI
古賀 聖士(長崎大学病院循環器内科)
5. Limitation of IVUS in Plaque Characterization and PCI Guidance
久保 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)
6. The Controversial Points of OCT/OFDI
房崎 哲也(岩手医科大学循環器内科)

(2) 補助人工心臓の適応について考える

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長: 磯部 光章(東京医科歯科大学循環制御内科学)

小野 稔(東京大学心臓外科)

演 者:

1. Indication of Implantable Ventricular Assist Device from the Viewpoint of a Transplant Institute
絹川弘一郎(東京大学重症心不全治療開発講座)
2. Indication and Controversy of Ventricular Assist Device in Non-transplant Institute
荒井 裕国(東京医科歯科大学心臓血管外科)
3. Social Acceptance of Patients with Implantable Ventricular Assist Device
山中 源治(東京女子医科大学病院看護部)
4. Cost-effectiveness Analysis of VAD Implantation Surgery
田倉 智之(大阪大学医療経済産業政策学)
5. Who are the Candidates for LVAD Destination Therapy(DT) in Japan?
戸田 宏一(大阪大学心臓血管外科学)
6. Post Market Registry(J-MACS) for Implantable Ventricular Assist Device
石井 健介(医薬品医療機器総合機構医療機器審査第三部)

(3) 心臓再同期治療の現状と今後の展望

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長: 石川 利之(横浜市立大学循環器・腎臓内科学)

庄田 守男(東京女子医科大学循環器内科学)

演 者：

1. Predictors for Cardiac Resynchronization Therapy: The Importance of QRS Duration and QRS Morphology
岡村 英夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. Cardiac Resynchronization Therapy in Patients with Minimally Symptomatic Heart Failure or a Left Ventricular Ejection Fraction of $>35\%$
茅田 浩(福井大学循環器内科学)
3. Can We Predict the Responders to Cardiac Resynchronization Therapy?
真中 哲之(東京女子医科大学循環器内科学)
4. Cardiac Resynchronization Therapy for Patients with Congenital Heart Disease
鈴木 嗣敏(大阪市立総合医療センター小児不整脈科)
5. The CRT When Having No Coronary Vein Access
安藤 献児(小倉記念病院循環器内科)
6. Is There Any Need of CRT-P Still?
松下 浩平(横浜市立大学病態制御内科学)

(4) 腎デナベーションの現状と展望

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長：苅尾 七臣(自治医科大学循環器内科学)

檜垣 實男(愛媛大学循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

演 者：

1. Renal Denervation: Remaining Issues and Perspectives
苅尾 七臣(自治医科大学循環器内科学)
2. Translational Research of Renal Denervation for Resistant Hypertension and Cardiovascular Diseases
山本英一郎(熊本大学循環器内科学)
3. Renal Denervation for Resistant Hypertension: Current Situation and Future Prospects
池本 智一(自治医科大学循環器内科学)
4. The Effect of Intra Renal Artery Ablation beyond Hypertension
奥山 裕司(大阪大学先進心血管治療学寄附講座)
5. Renal Denervation Should be Expected to Protect against Hypertensive Organ Damages, However
岸 拓弥(九州大学先端心血管治療学)

(5) HFpEF の病態

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長：斎藤 能彦(奈良県立医科大学第一内科)

吉川 勉(榊原記念病院循環器内科)

演 者：

1. Pathophysiology of Heart Failure with Preserved Ejection Fraction from the Point of View of Nationwide Registry-JASPER Study
安齊 俊久(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. Nara Heart Failure Registry
川上 利香(奈良県立医科大学第一内科)
3. Prognostic Impact of the Presence of Atrial Fibrillation in ADHF Patients with Preserved EF: West Tokyo Heart Failure Registry(WET-HF)
矢川真弓子(榊原記念病院循環器内科)
4. Does Chronic Kidney Disease Cause Heart Failure with Preserved Ejection Fraction?
大手 信之(名古屋市立大学心臓・腎高血圧内科学)
5. Non-cardiac Factors to Determine the Pathophysiology of Elder HFpEF
山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)

(6) 心不全における陽圧換気療法 血行動態改善か呼吸障害改善か

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 百村 伸一(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科)

木原 康樹(広島大学循環器内科学)

演 者:

1. Adaptive Servo-ventilation Reduces Cardiac Remodeling in Patients with Severe Dilated Cardiomyopathy Due to Favorable Hemodynamic Effect
菅野 康夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. From the Stand Point of View of Respiratory Improvement
安藤 眞一(九州大学病院睡眠時無呼吸センター)
3. Non-invasive Positive Airway Pressure Ventilation Improves Cardiac Performance
義久 精臣(福島県立医科大学循環器・血液内科学講座, 心臓病先進治療学講座)
4. Effect of Adaptive Servo-ventilation Therapy on Sympathetic Nerve Activity in Patients with Chronic Heart Failure
城宝 秀司(富山大学第二内科)
5. Can Noninvasive Positive Airway Pressure Improve the Prognosis and Functional Capacity of Heart Failure through the Suppression of Inflammatory Response?
日高 貴之(広島大学病院循環器内科)

14. ミート・ザ・エキスパート

〈日本語〉

(1) 注意を要する心電図所見

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:00 第20会場 B2階 グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)

座長: 鎌倉 史郎(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

三田村秀雄(立川病院)

演 者:

1. Electrocardiogram that Require Attention in the Medical Examinations
永瀬 聡(岡山大学循環器内科学)
2. Electrocardiograms Requiring Caution in Patients with Chest Pain
小菅 雅美(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター)
3. Utility of the Electrocardiogram as a Diagnostic Tool for Risk Stratifying in Patients with Palpitation
池田 隆徳(東邦大学循環器内科学)
4. Electrocardiographic Findings Related with Dizziness and Syncope
村川 裕二(帝京大学医学部附属溝口病院第四内科)

(2) 不安定プラークイメージング Up to date

(学会第1日目 4月24日(金) 11:10~12:40 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 福本 義弘(久留米大学心臓・血管内科)

安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者:

1. Detection of High-Risk Atherosclerotic Plaques by Magnetic Resonance Imaging
野口 暉夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. Molecular Imaging of Inflammatory Activity in Atherosclerotic Lesions by FDG-PET
田原 宣広(久留米大学心臓・血管内科)
3. First In Vivo Observation of Aortic Vulnerable Plaque with Non-obstructive Angioscopy
小松 誠(尼崎中央病院心臓血管センター)
4. Pathologic Insights into the Detection of Unstable Coronary Plaques by Imaging Modalities
大塚 文之(国立循環器病研究センターバイオバンクバイオリソース管理室／心臓血管内科)

(3) 心臓血管外科治療のトピックス

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第1会場 大阪国際会議場 5階 大ホール)

座長: 高梨秀一郎(榊原記念病院心臓血管外科)

浅井 徹(滋賀医科大学心臓血管外科)

演 者:

1. Advantages and Recent Advances of Contemporary Surgical AVR
天野 篤(順天堂大学心臓血管外科学)
2. Surgery for Thoracoabdominal Aortic Aneurysm Using Innovative Strategy for Spinal Cord Protection
志水 秀行(慶應義塾大学心臓血管外科)
3. The Outcome of Surgical Management of Aortic arch Aneurysm Using Open Stent-graft Technique
東上 震一(岸和田徳洲会病院)
4. Effectiveness of Left Ventriculoplasty for Ischemic Cardiomyopathy from Japanese Multicenter Study
松居 喜郎(北海道大学循環器・呼吸器外科)
5. Valve-sparing Aortic Replacement: Stanford Experience
Michael Fischbein(Stanford University School of Medicine, USA)

(4) 失神患者の診断と治療

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長: 安部 治彦(産業医科大学不整脈先端治療学)

栗田 隆志(近畿大学循環器内科学)

演 者:

1. Vasovagal Syncope: Diagnosis and Management
高橋 尚彦(大分大学循環器内科・臨床検査診断学)
2. Differential Diagnosis between Syncope and Non-syncopal Conditions
河野 律子(産業医科大学不整脈先端治療学)
3. Restriction of Driving in Patients with(Recurrent)Reflex Syncope
住吉 正孝(順天堂大学医学部附属練馬病院循環器内科)
4. Diagnosis and Management of Cardiogenic Syncope
高月 誠司(慶應義塾大学循環器内科)
5. Does an Inappropriate Shock Delivery Cause Syncope in Patients with Implantable Cardioverter-defibrillators?
渡邊 英一(藤田保健衛生大学循環器内科)

(5) 肺高血圧症のメカニズムにせまる

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)

座長: 伊藤 浩(岡山大学循環器内科学)

佐藤 徹(杏林大学循環器内科)

演 者:

1. High Pulmonary Artery Pressure Would Progress Pulmonary Arterial Remodeling -Speculation from the Bedside-
松原 広己(国立病院機構岡山医療センター循環器科)
2. Genetics in PAH
大郷 剛(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
3. Preclinical Investigation in the Development of Pulmonary Arterial Hypertension
阿部弘太郎(九州大学先端循環制御学講座)

4. Phenotypically Altered and Dysfunctional Endothelial Cells in Pulmonary Arterial Hypertension
坂尾誠一郎(千葉大学呼吸器内科学)
5. Excess Proliferation and Apoptosis-resistance of Pulmonary Artery Smooth Muscle Cells from Patients with Pulmonary Arterial Hypertension
赤木 達(岡山大学循環器内科学)
6. Amino Acid Metabolism in Mechanisms of Pulmonary Hypertension
片岡 雅晴(慶應義塾大学循環器内科)

(6) TAVIの現状と展望

(学会第2日目 4月25日(土) 11:10~12:40 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 高山 守正(榊原記念病院循環器内科)

倉谷 徹(大阪大学低侵襲循環器医療学)

演 者:

1. The Present Status and Future Prospects of TAVI
桃原 哲也(榊原記念病院循環器内科)
2. Trans-apical TAVI
鳥飼 慶(大阪大学心臓血管外科学)
3. Transcatheter Aortic Valve Implantation. Comparing the Japanese and Western Experience
林田健太郎(慶應義塾大学循環器内科)
4. Current Status of Transcatheter Aortic Valve Implantation
小林順二郎(国立循環器病研究センター心臓血管外科)
5. The Difference of Indication for Transcatheter Aortic Valve Implantation between Italian and Japanese Cohorts
高木 健督(新東京病院心臓内科)

(7) 周産期の循環器疾患

(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:10 第23会場 グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)

座長: 吉松 淳(国立循環器病研究センター周産期・婦人科部)

兵藤 博信(東京都立墨東病院産婦人科)

演 者:

1. Clinical Profiles and Short-term Outcomes of the Neonates with Heart Disease Diagnosed Prenatally: Experience in a Single Japanese Institution
黒寄 健一(国立循環器病研究センター小児循環器集中治療室)
2. Management of Pregnant Women with Cardiovascular Disease
吉松 淳(国立循環器病研究センター周産期・婦人科部)
3. Management of Patients with Arrhythmias during Pregnancy
石橋 耕平(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
4. Cardiovascular Management of Pregnancy Induced Hypertension (PIH)
富松 拓治(大阪大学産婦人科学)
5. Pregnancy and Cardiomyopathy
神谷千津子(国立循環器病研究センター周産期・婦人科部)

(8) 血管病理を究める

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 植田 初江(国立循環器病研究センター臨床病理科)

浅田祐士郎(宮崎大学病理学講座構造機能病態学分野)

演 者:

1. The Evolving Science of DES and BRS: The View of the Pathologist
Renu Virmani(CVPath Institute, Inc., USA)

2. Histopathological Basis of Coronary Artery Tree

羽尾 裕之(兵庫医科大学病院病理部)

3. Pathogenesis and Clinical Implications of Coronary Calcification: A Pathological Viewpoint

大塚 文之(国立循環器病研究センターバイオバンクバイオリソース管理室
／心臓血管内科)

4. Very Late Vascular Response after Bare Metal Stent Implantation in Human Coronary Arteries

井上 勝美(小倉記念病院検査部)

(9) 間質から見た不全心筋

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)

座長:坂田 泰史(大阪大学循環器内科学)

今中 恭子(三重大学修復再生病理学)

演 者:

1. The Role of Fibroblasts in Heart from the Point of View of Cardiac Tissue Engineering

松浦 勝久(東京女子医科大学先端生命医科学研究所)

2. Arrhythmogenic Potentials of Myofibroblasts in Cardiac Tissues

田中 秀央(京都府立医科大学細胞分子機能病理学)

3. Regulation of Collagen in the Heart

横山 詩子(横浜市立大学循環制御医学)

4. Matricellular Proteins: Multiple Roles of Tenascin-C in Cardiovascular Tissue Remodeling

下條 尚志(三重大学修復再生病理学)

(10) LMT と CTO に対する PCI

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第9会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳1)

座長:木村 剛(京都大学循環器内科学)

中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)

演 者:

1. PCI for LMT & CTO Lesion

中村 淳(新東京病院心臓内科)

2. PCI for the Left Main Trunk Disease and Chronic Total Occlusion

井上 直人(仙台厚生病院循環器内科)

3. Treatment Strategies for Left Main Trunk(LMT) Lesion and Chronic Complete Occlusion (CTO) in Our Hospital

桃原 哲也(榊原記念病院循環器内科)

4. PCI for Left Main Disease: Insight from J-Cypher Registry and Unresolved Issues

豊福 守(日本赤十字社和歌山医療センター循環器内科)

5. CTO Registry in Japan

及川 裕二(心臓血管研究所附属病院循環器内科)

15. モーニングレクチャー

〈日本語〉

(1) BNP 研究 Up to date

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第3会場 大阪国際会議場 8階 801+802)

座長:南野 直人(国立循環器病研究センター研究所分子薬理部)

演 者:

BNP Research Up to Date

錦見 俊雄(わかさ竜間リハビリテーション病院内科)

(2) AMI レジストリーに関して

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)

座長:住吉 徹哉(榊原記念病院循環器内科)

演 者：

Acute Myocardial Infarction Registry -With the Aim Of Realizing National Registry-
小島 淳(熊本大学循環器内科学)

(3) 重症下肢虚血へのトータルバスキュラーケア

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長：横井 良明(岸和田徳洲会病院循環器科)

演 者：

Total Vascular Care for Patients with Critical Limb Ischemia
河原田修身(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

(4) 実地医家から見た心疾患合併糖尿病患者の治療

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長：杉山 正悟(陣内病院循環器内科)

演 者：

Cardiovascular Event Prevention and Real World of Diabetes
陣内 秀昭(陣内病院)

(5) 生体吸収ステント，薬剤コーティングバルーンの現状と展望

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)

座長：上妻 謙(帝京大学循環器内科)

演 者：

Current Status and Future Perspectives of Bioresorbable Scaffold and Drug-Coated Balloon
田邊 健吾(三井記念病院循環器内科)

(6) ホットバルーンを用いた心房細動治療

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第8会場 大阪国際会議場 12階 グラントック)

座長：里見 和浩(東京医科大学八王子医療センター循環器内科)

演 者：

Radiofrequency Hot Balloon Catheter Ablation for Treatment of Atrial Fibrillation -Basic Mechanism and Pitfalls during the Ablation Procedure-
曾原 寛(葉山ハートセンター不整脈センター)

(7) 日本のCCUの黎明期

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第15会場 リーガロイヤルホテル大阪 ウエストウイング2階 ペリドット)

座長：土師 一夫(市立柏原病院)

演 者：

The Primary Stage of Coronary Care Unit in Japan
児玉 和久(尼崎中央病院，大阪警察病院心臓血管センター)

(8) 抗不整脈薬の使い方

(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第20会場 B2階 グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)

座長：鎌倉 史郎(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者：

How to Use Antiarrhythmic Agents
村川 裕二(帝京大学医学部附属溝口病院第四内科)

- (9) 弁膜症治療の新しいデバイス：TAVI, MitraClip
(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第21会場 B2階 グランフロント大阪 北館
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム1)
座長：安齊 俊久(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
演 者：
New Devices for Valvular Heart Disease Therapy: TAVI and MitraClip
大野 洋平(Ferrarotto Hospital, University of Catania, Italy)
- (10) 集中治療におけるせん妄管理の TIPS
(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第22会場 B2階 グランフロント大阪 北館
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム2)
座長：古川 裕(神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科)
演 者：
Practical Tips for the Management of Patients with Delirium in CCU
山根 崇史(神戸市立医療センター中央市民病院循環器内科)
- (11) 心内電位を読み解く
(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第23会場 B2階 グランフロント大阪 北館
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)
座長：平尾 見三(東京医科歯科大学不整脈センター)
演 者：
Basic Principles of Intracardiac Electrograms
山部 浩茂(熊本大学循環器内科学不整脈先端医療寄附講座)
- (12) 実地医家から見た心房細動治療
(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第24会場 グランフロント大阪 北館 タ
ワーC 8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C01+C02)
座長：赤尾 昌治(京都医療センター循環器内科)
演 者：
Personalized Management of Atrial Fibrillation in the Viewpoints from General Practices
小田倉弘典(土橋内科医院)
- (13) 急性肺塞栓症に対する新しい抗凝固療法
(学会第2日目 4月25日(土) 7:35~8:15 第25会場 グランフロント大阪 北館 タ
ワーC 8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C03+C04)
座長：伊藤 正明(三重大学循環器・腎臓内科学)
演 者：
New Anticoagulant Therapy for Acute Pulmonary Embolism
中村 真潮(三重大学循環器・腎臓内科学)
- (14) 心腎連関に対する尿酸をターゲットとした治療
(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第3会場 大阪国際会議場 8階 801+802)
座長：野出 孝一(佐賀大学循環器内科)
演 者：
Hyperuricemia May Play a Pivotal Role of Risk Factor for Cardio-renal Dysfunctions through
Activation of Xanthine Oxidase and Urate Transporters
久留 一郎(鳥取大学遺伝子再生医療学)
- (15) 不整脈治療の新しいデバイス：リードレスペースメーカー
(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)
座長：古山准二郎(済生会熊本病院循環器内科)

演 者：

Use of Leadless, Transcatheter Pacemaker

副島 京子(杏林大学循環器内科)

(16) アブレーションで知っておきたい心臓の解剖

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長：草野 研吾(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者：

Essential Anatomical Information of the Heart for Catheter Ablation (Structural Characteristics of Aortic Root)

井川 修(日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科)

(17) ハイリスク頸動脈プラークをMRIで評価する

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長：内藤 博昭(国立循環器病研究センター)

演 者：

Carotid Plaque MR Imaging: A Window for Treatment of Atherosclerosis

大田 英揮(東北大学病院放射線診断科)

(18) レーザーリード抜去の適応と限界

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)

座長：庄田 守男(東京女子医科大学循環器内科学)

演 者：

Indication and Limitation of Laser Lead Extraction

岡村 英夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

(19) 心臓におけるアルドステロンのミネラルコルチコイド受容体依存性および非依存性反応

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第8会場 大阪国際会議場 12階 グラントック)

座長：水野 雄二(熊本加齢医学研究所・熊本機能病院循環器内科)

演 者：

Mineralocorticoid Receptor Dependent and Independent Actions of Aldosterone in the Heart

吉村 道博(東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科)

(20) Physiology oriented PCI

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第15会場 リーガロイヤルホテル大阪 ウエストウイング2階 ペリドット)

座長：田中 信大(東京医科大学循環器内科)

演 者：

Physiology Oriented PCI -FFR as the Best Navigator of Coronary Intervention-

松尾 仁司(岐阜ハートセンター循環器内科)

(21) 実地医家から見た心不全治療

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第20会場 グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)

座長：森 壽生(横浜相鉄ビル内科医院)

演 者：

How to Improve the Treatment for Chronic Heart Failure in the Clinical Practice

大西 勝也(大西内科ハートクリニック)

(22) 心血管疾患に合併した COPD の治療

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第21会場 グランフロント大阪 北館 B2階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム1)

座長: 伊藤 宏(秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)

演 者:

Management of Patients with Cardiovascular Disease and COPD

佐田 誠(国立循環器病研究センター呼吸器・感染症診療部)

(23) 失神の診断

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第22会場 グランフロント大阪 北館 B2階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム2)

座長: 夢田 浩(福井大学循環器内科学)

演 者:

Diagnosis of Syncope

河野 律子(産業医科大学不整脈先端治療学)

(24) 特発性心室細動

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第23会場 グランフロント大阪 北館 B2階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)

座長: 相澤 義房(立川メディカルセンター研究開発部)

演 者:

Idiopathic Ventricular Fibrillation, Is It Actually Idiopathic?

相庭 武司(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

(25) 血管エコーを究める

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第24会場 グランフロント大阪 北館 タ
ワーC 8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C01+C02)

座長: 松尾 汎(松尾クリニック)

演 者:

To Master Vascular Ultrasound

佐藤 洋(関西電力病院臨床検査部)

(26) 心臓リハビリ Up to date

(学会第3日目 4月26日(日) 7:35~8:15 第25会場 グランフロント大阪 北館 タ
ワーC 8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C03+C04)

座長: 後藤 葉一(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者:

Cardiac Rehabilitation is an Ideal Medicine Which Enable "Adding Life to Years and Years to Life"

上月 正博(東北大学内部障害学分野)

16. Late Breaking Clinical Trials

LBCT(1)

〈日本語・一部英語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 16:15~18:00 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タ
ワーウィング2階 桐)

座長: 河合 忠一(京都大学名誉教授)

北村惣一郎(国立循環器病研究センター名誉総長/堺市立病院機構)

演 者:

1. A Pivotal Study of Radiofrequency Hot Balloon Catheter(TSB-002C) for the Treatment of Paroxysmal Atrial Fibrillation

曾原 寛(葉山ハートセンター不整脈センター)

2. Excellent Performance by the New Generation Device (Symetis Acurate) for Transcatheter Aortic Valve Implantation in Japan
倉谷 徹(大阪大学低侵襲循環器医療学)
3. Clues of Transthoracic Echocardiography into Rapid Diagnosis of Type A Aortic Dissection
Jiyeon Hong (Kepco Medical Center, South Korea)
4. Endovascular Therapy by CO2 Angiography to Prevent Contrast-Induced Nephropathy in Patients with Chronic Kidney Disease
藤原 昌彦(岸和田徳洲会病院循環器内科)
5. Oral Apixaban for the Treatment of Japanese Subjects with Acute Venous Thromboembolism
中村 真潮(三重大学循環器・腎臓内科学)
6. Effectiveness and Safety of Catheter-based Renal Denervation in Japan: Result of the SYMPPLICITY HTN-Japan Randomized Trial
荏尾 七臣(自治医科大学循環器内科学)
7. Interventional Cardiac Rehabilitation for Prevention and Treatment of Sarcopenia in Patients with Cardiovascular Disease
原田 晴仁(久留米大学医療センター循環器内科)

LBCT(2)

〈日本語・一部英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 17:05~18:50 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長: 山口 徹(虎の門病院)

水野 杏一(公益財団法人三越厚生事業団)

演 者:

1. Comparative Effect of Prasugrel and Clopidogrel Reloading on High Platelet Reactivity in Clopidogrel-loaded Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention PRAISE-HPR
Long Zhe Guo (Dong-A University Hospital, South Korea)
2. Comparison of Prasugrel and Ticagrelor Antiplatelet Effects in Korean Patients Presenting with ST-segment Elevation Myocardial Infarction
Moo Hyun Kim (Dong-A University, South Korea)
3. Impact of Arterial Access Route on Bleeding Complications in Japanese Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention: Insight from PRASFIT Trial
齋藤 滋(湘南鎌倉総合病院循環器内科)
4. Platinum Chromium Everolimus-Eluting Stents in Complex Coronary Arterial Lesion Subsets: Results of SPECIALIST Registry
那須 賢哉(豊橋ハートセンター循環器内科)
5. Impact of Pioglitazone on Cardiovascular Events in Patients with Diabetes Mellitus after Drug-eluting Stent Implantation
横井 宏佳(福岡山王病院循環器センター)
6. Three Year Follow-up Outcomes of OLIVE Registry, A Prospective Multicenter Study Enrolling Critical Limb Ischemia Treated by Endovascular Treatment
中村 正人(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)
7. IVUS-guided Zilver-PTX Implantation for Femoropopliteal Lesions: One Year Results from the ZEPHYR Registry
飯田 修(関西労災病院循環器内科)

LBCT(3)

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長: 荒川規短男(福岡大学名誉教授)

島本 和明(札幌医科大学)

演 者：

1. Anti-albuminuric Effect of an Aldosterone Blocker in Non-diabetic Hypertensive Patients with Albuminuria: A Double-blind, Randomized, Placebo-controlled Trial
藤田 敏郎(東京大学先端技術研究センター)
2. Low-Dose Aspirin for Primary Prevention of Cardiovascular Events in Japanese Elderly Patients with Atherosclerotic Risk Factors A Randomized Clinical Trial
島田 和幸(新小山市市民病院)
3. Coronary Plaque Progression/Regression Between Ezetimibe/Statin Versus Statin Alone in Patients Undergoing Percutaneous Coronary Intervention: Results of the PRECISE-IVUS Trial
辻田 賢一(熊本大学循環器内科学)
4. Effect of Cholesterol Absorption Inhibitor, Ezetimibe, on Coronary Endothelial Dysfunction in Target Vessels after Stenting, CuVIC Trial
高瀬 進(九州大学循環器内科学)
5. The Study to Evaluate the Effects of DPP-4 Inhibitor on Atherosclerosis in Patients with Diabetes Mellitus: PROLOGUE Study
野出 孝一(佐賀大学循環器内科)
6. Japanese Multicenter Study of Out-Patient Cardiac Rehabilitation in Patients with Coronary Artery Disease(J-REHAB): Effects on Event-Free Survival
後藤 葉一(国立循環器病研究センター心臓血管内科・循環器病リハビリテーション部)

LBCT(4)

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第19会場 ABC ホール)

座長：篠山 重威(京都大学名誉教授)

鄭 忠和(和温療法研究所)

演 者：

1. Serelaxin in Japanese Patients with Acute Heart Failure: A Multicenter, Randomized, Double-blinded, Placebo-controlled Phase II Study
佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科)
2. Clinical Effectiveness of Tolvaptan in Patients With Acute Decompensated Heart Failure and Renal Failure: AQUAMARINE Study
末永 祐哉(亀田総合病院循環器内科)
3. Immunoabsorption Therapy for Dilated Cardiomyopathy Using IMMUSORBA-TR: A Prospective, Multicenter, Randomized Study to Evaluate Efficacy and Safety
吉川 勉(榊原記念病院循環器内科)
4. Impacts of Additive Use of Olmesartan in Hypertensive Patients with Chronic Heart Failure: A Report from the SUPPORT Trial
坂田 泰彦(東北大学循環器内科)
5. Effects of ASV Therapy on Cardiac Function and Remodeling in Systolic Heart Failure Outpatients from a Randomized Controlled Study(SAVIOR-C)
百村 伸一(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科)
6. Safety and Efficacy of Autologous Skeletal Myoblast Sheets Therapy for Patients with Severe Heart Failure
澤 芳樹(大阪大学心臓血管外科)

17. Late Breaking Cohort Studies

LBCT(1)

〈日本語・一部英語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:15 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長：尾前 照雄(国立循環器病研究センター名誉総長)

今泉 勉(福岡山王病院予防医学センター／国際医療福祉大学)

演 者：

1. Development of Nation-wide Claim Based Data Base for All Cardiac Diseases - JROAD-DPC
安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. Atherosclerotic Risk Factors and Real Life Treatments in Developing Country: Nation-wide Registry in Thailand
Arintaya Phrommintikul(Maharaj Nakorn Chiang Mai Hospital, Thailand)
3. Adverse Prognostic Impacts of Post-Traumatic Stress Disorder in Patients with Cardiovascular Disease after the Great East Japan Earthquake
小野瀬剛生(東北大学循環器内科学)
4. A Comparison of Cardiovascular Mortality between Great East Japan and Hanshin-Awaji Earthquakes: A Large Scale Data Analysis of Death Certificate
竹上 未紗(国立循環器病研究センター予防医学・疫学情報部)
5. SAS-CHSARC Network: The Chiba-Hokusho Sleep Apnea Regional Collaborative(CHSARC) Network for the Earlier Diagnosis and Treatment of Sleep Apnea Syndrome
清野 精彦(日本医科大学千葉北総病院循環器センター)

LBCS(2)

〈日本語・一部英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~15:55 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長：相澤 義房(立川メディカルセンター研究開発部)
和泉 徹(医療法人恒仁会新潟南病院)

演 者：

1. Multicenter Investigation for Diabetes Mellitus in Atherosclerosis(MIDAS)
野口 暉夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
2. Acute Coronary Syndrome among Diabetic Patients in Invasive Versus Noninvasive Hospitals
Abdulhalim Kinsara(King Saud bin Abdulaziz University for Health Sciences, COM, King Abdul Aziz Medical City-WR, King Faisal Cardiac Center, Saudi Arabia)
3. Post-discharge Higher HbA1c is an Independent Predictor of Adverse Outcomes in Patients with Acute Coronary Syndrome: Findings from PACIFIC Registry
野口 圭士(北海道大学循環病態内科学)
4. Glycemic Control and Cardiovascular Outcome: Prospective Cohort Study in CAD Patients with Type 2 Diabetes
植田真一郎(琉球大学臨床薬理学)
5. Uric Acid is an Independent Risk Factor for the Onset of Cardiovascular Disease in Japanese Women
瀬川 利恵(岩手医科大学循環器・腎・内分泌内科)

LBCS(3)

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)

座長：横山 光宏(神戸大学名誉教授)
松澤 佑次(住友病院院長)

演 者：

1. Lipid Management in a Real-world High Cardiovascular Risk Population in Japan
寺本 民生(帝京大学臨床研究センター)
2. Discordance of LDL-C and nonHDL-C with Clinical Outcomes in Patients with Percutaneous Coronary Intervention: From the FU-Registry
朔 啓二郎(福岡大学心臓血管内科学)
3. Increased Serum Cholesterol Esterification Rates is associated with Future Coronary Heart Disease and Sudden Death in a General Population
田中愼一郎(公立豊岡病院組合立日高医療センター内科)

4. Plaque Characterization by Coronary Computed Tomography Angiography and Long-Term Likelihood of Acute Coronary Event
元山 貞子(藤田保健衛生大学循環器内科)
5. Long Term Prognosis of Lesions with Fractional Flow Reserve ≥ 0.8 after Percutaneous Coronary Intervention in Japanese Cohorts
柴田 浩遵(大阪府済生会中津病院循環器内科)
6. Clinical Outcomes of Percutaneous Coronary Intervention(PCI) at Hospital with or without Onsite Cardiac Surgery Backup in Japan
赤坂 朋紀(熊本大学循環器内科学)

LBCS(4)

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~11:55 第19会場 ABC ホール)

座長: 藤原 久義(兵庫県立尼崎病院病院長)
堀 正二(大阪府立成人病センター名誉総長)

演 者:

1. Japanese Registry of Acute Myocardial Infarction Diagnosed by Universal Definition (J-MINUET)
石原 正治(兵庫医科大学内科学講座冠疾患科)
2. Circadian Variation of a Cardiogenic Shock Complicating Acute Myocardial Infarction
鈴木 誠(榊原記念病院循環器内科)
3. Is Low Diastolic Blood Pressure a Risk for Cardiovascular Death in CAD Patients in the Elderly?: The CAREDO-KYOTO Registry
甲斐 久史(久留米大学心臓・血管内科)
4. Long-term Clinical Outcomes in Patients with ST-segment Elevation Acute Myocardial Infarction Undergoing Inter-hospital Transfer for Primary Percutaneous Coronary Intervention
中妻 賢志(京都大学循環器内科学)
5. Impact of Bleeding Complications on Clinical Outcomes in Japanese Patients with Acute Coronary Syndromes: An Analysis from the PACIFIC Registry
塚原 健吾(横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科)

LBCS(5)

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第19会場 ABC ホール)

座長: 小川 聡(国際医療福祉大学三田病院病院長)
大江 透(心臓病センター榊原病院)

演 者:

1. Association of Contrast-induced Nephropathy(CIN) with Risk of Adverse Clinical Outcomes in Patients with Cardiac Catheterization: From the CINC-J Study
佐藤 明(筑波大学循環器内科)
2. Ischemic Stroke in Japanese Atrial Fibrillation Patients without Anticoagulation: Pooled Analysis of Shinken Database, J-RHYTHM Registry, and Fushimi AF Registry
鈴木 信也(心臓血管研究所付属病院循環器科)
3. Improvement in Quality of Life after Catheter Ablation for Persistent Atrial Fibrillation versus Paroxysmal Atrial Fibrillation
谷本 陽子(慶應義塾大学循環器内科)
4. Genetic-based Arrhythmic Risk in Patients with Congenital Long QT Syndrome from the Japanese LQTS Multicenter Registry
相庭 武司(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
5. Predictors of Appropriate Defibrillator Therapy in Patients Treated with Biventricular Implantable Cardioverter Defibrillator for Primary Prevention: Data from CUBIC Study
安 珍守(小倉記念病院循環器内科)

6. Two Years Follow-up of Cardiovascular Events in Patients with ASO Treated with Antiplatelet Agents: A Report from SEASON

東 幸仁(広島大学・原爆放射線医科学研究所)

18. Featured Research Sessions

〈英語〉

(1) Ventricular Arrhythmia(Clinical/Diagnosis/Treatment)

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:10 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長:新田 隆(日本医科大学外科学心臓血管外科)

丹野 郁(昭和大学江東豊洲病院循環器内科)

Keynote Lecture: Paolo Della Bella(San Raffaele Hospital, Italy)

(2) Pulmonary Circulation

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:10 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長:伊藤 正明(三重大学循環器・腎臓内科学)

瀧原 圭子(大阪大学保健センター)

Keynote Lecture: Pulmonary Hypertension in the United Kindom: Clinical Practice and Survival
J. Simon Gibbs(National Heart and Lung Institute, Imperial College London, UK)

(3) Echo/Doppler

(学会第1日目 4月24日(金) 11:00~12:40 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長:中谷 敏(大阪大学保健学専攻機能診断科学講座)

吉田 清(心臓病センター榊原病院)

Keynote Lecture: Progress in 3D Echocardiography: Assessment of Mitral Valve Complex and Therapeutic Strategy for Ischemic Mitral Regurgitation

吉田 清(心臓病センター榊原病院)

(4) ECG/Body Surface Potential Mapping/Holter

(学会第1日目 4月24日(金) 11:00~12:40 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長:池田 隆徳(東邦大学循環器内科学)

高瀬 凡平(防衛医科大学校集中治療部)

Keynote Lecture: Role of Risk Markers Using Noninvasive Techniques in Clinical Workup for Sudden Cardiac Death

池田 隆徳(東邦大学循環器内科学)

(5) Thromboembolism/Antithrombotic Therapy/Thrombolysis

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:40 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長:後藤 信哉(東海大学循環器内科)

海北 幸一(熊本大学循環器内科学)

Keynote Lecture: DES or BMS in Patients on Long term Anticoagulants who Need PCI
Willem Dewilde(Amphia Hospital, The Netherlands)

(6) Arrhythmia, Others(Basic)

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:10 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長:神谷香一郎(名古屋大学環境医学研究所心・血管分野)

小野 克重(大分大学病態生理学講座)

Keynote Lecture: 神谷香一郎(名古屋大学環境医学研究所心・血管分野)

(7) Heart Failure(Basic)and Translational Science

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:10 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長: 桑原 宏一郎(京都大学循環器内科)

泉家 康宏(熊本大学循環器内科学)

Keynote Lecture: Ion Channel Remodeling in the Progression of Heart Failure: Transcriptional Regulation and Functional Implication

桑原 宏一郎(京都大学循環器内科)

(8) Valvular Heart Disease/Pericarditis/Cardiac Tumor

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:10 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 増山 理(兵庫医科大学内科学循環器内科)

尾辻 豊(産業医科大学第二内科)

Keynote Lecture: Degenerative Aortic Valve Diseases (Aortic Stenosis): What Can Cardiologists Do for Its Prevention?

増山 理(兵庫医科大学内科学循環器内科)

(9) Arrhythmia, Others(Clinical/Pathophysiology)

(学会第2日目 4月25日(土) 11:00~12:40 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長: 堀江 稔(滋賀医科大学呼吸器循環器内科)

吉田 明弘(神戸大学内科学講座循環器内科学分野)

Keynote Lecture: Genotype-Phenotype Correlation in Brugada Syndromes Differs from that in Long QT

堀江 稔(滋賀医科大学呼吸器循環器内科)

(10) Coronary Revascularization/PCI

(学会第2日目 4月25日(土) 11:00~12:40 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長: 上妻 謙(帝京大学循環器内科)

Thomas Cuisset(University Hospital La Timone, France)

Keynote Lecture: Thomas Cuisset(University Hospital La Timone, France)

(11) Heart Failure(Pharmacology)

(学会第2日目 4月25日(土) 11:00~12:40 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 百村 伸一(自治医科大学附属さいたま医療センター循環器科)

Gregg C. Fonarow(Ahmanson-UCLA Cardiomyopathy Center, USA)

Keynote Lecture: Mineralocorticoid Receptor Antagonists in Heart Failure: Optimal Dosing and Avoidance of Complications

Gregg C. Fonarow(Ahmanson-UCLA Cardiomyopathy Center, USA)

(12) Kidney/Renal Circulation/CKD

(学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:20 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)

座長: 柏原 直樹(川崎医科大学腎臓高血圧内科学)

大蔵 隆文(愛媛大学循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

Keynote Lecture: Renal Hemodynamics in Patients with Essential Hypertension

大蔵 隆文(愛媛大学循環器・呼吸器・腎高血圧内科学)

- (13) Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Clinical/Diagnosis)
 (学会第2日目 4月25日(土) 14:40~16:20 第6会場 大阪国際会議場 12階 特別会議場)
 座長: 三田村秀雄(立川病院)
 庄田 守男(東京女子医科大学循環器内科)
 Keynote Lecture: Catheter Cryoablation: Biophysics and Clinical Uses
 Marc Dubuc (Montreal Heart Institute and Université de Montréal, Canada)
- (14) CT/MRI
 (学会第2日目 4月25日(土) 17:10~18:50 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)
 座長: 佐久間 肇(三重大学放射線医学)
 江原 省一(大阪市立大学循環器内科学)
 Keynote Lecture: 佐久間 肇(三重大学放射線医学)
- (15) Angina Pectoris (Clinical)
 (学会第2日目 4月25日(土) 17:10~18:50 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳2)
 座長: 掃本 誠治(熊本大学循環器内科学)
 木村 茂樹(横須賀共済病院循環器センター)
 Keynote Lecture: Alaide Chieffo (San Raffaele Hospital, Italy)
- (16) Emerging Technologies in Coronary Imaging
 (学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:10 第5会場 大阪国際会議場 10階 1009)
 座長: 赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)
 廣 高史(日本大学循環器内科学)
 Keynote Lecture: Advancement of Intracoronary Imaging
 赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)
- (17) Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Clinical/Pathophysiology)
 (学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:10 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)
 座長: 新 博次(日本医科大学多摩永山病院内科・循環器内科)
 奥村 謙(弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座)
 Keynote Lecture: New Technologies of Atrial Fibrillation Ablation Enabling Improvement of Outcomes and Shortening of Procedure Time
 奥村 謙(弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座)
- (18) CRI/ICD
 (学会第3日目 4月26日(日) 10:30~12:10 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)
 座長: 石川 利之(横浜市立大学循環器腎臓内科)
 安部 治彦(産業医科大学不整脈先端治療学講座)
 Keynote Lecture: Quality of CRT/ICD Based Care for Heart Failure
 Gregg C. Fonarow (Ahmanson-UCLA Cardiomyopathy Center, USA)
- (19) Cardiomyopathy/Hypertrophy (Clinical)
 (学会第3日目 4月26日(日) 10:30~12:10 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)
 座長: 石坂 信和(大阪医科大学循環器内科)
 北岡 裕章(高知大学老年病, 循環器, 神経内科学)
 Keynote Lecture: Cardiomyopathies: Still in Search of Optimal Diagnostic Strategies
 石坂 信和(大阪医科大学循環器内科)

(20) Atherosclerosis (Clinical/Diagnosis)

(学会第3日目 4月26日(日) 10:30~12:10 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長: 倉林 正彦(群馬大学循環器内科学)

佐田 政隆(徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部循環器内科学分野)

Keynote Lecture: Unappreciated Role of Fatty Acid Metabolism in Vascular Smooth Muscle Cells: Possible Implication of Diabetic Vascular Disease

倉林 正彦(群馬大学循環器内科学)

(21) Atrial/Supraventricular Arrhythmia (Clinical/Treatment)

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:10 第7会場 大阪国際会議場 12階 1202)

座長: 内藤 滋人(群馬県立心臓血管センター循環器内科)

遠山 英子(福岡山王病院ハートリズムセンター)

Keynote Lecture: Catheter Ablation of Atrial Arrhythmias: The Past, Present, and Future
Hugh Calkins (Johns Hopkins Hospital, USA)

(22) Vascular Disease (Therapy)

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:10 第13会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桐)

座長: 伊莉 裕二(東海大学循環器内科)

中村 茂(京都桂病院循環器内科)

Keynote Lecture: Importance of Vascular Disease

伊莉 裕二(東海大学循環器内科)

(23) Hypertension (Clinical)

(学会第3日目 4月26日(日) 15:20~17:00 第2会場 大阪国際会議場 5階 小ホール)

座長: 石光 俊彦(獨協医科大学循環器・腎臓内科)

大屋 祐輔(琉球大学循環器・腎臓・神経内科学)

Keynote Lecture: Hypertension and Hyperuricemia

大屋 祐輔(琉球大学循環器・腎臓・神経内科学)

(24) Arrhythmia, Others (Clinical/Diagnosis/Treatment)

(学会第3日目 4月26日(日) 15:20~17:00 第11会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 光琳3)

座長: 清水 渉(日本医科大学循環器内科学)

山下 武志(心臓血管研究所循環器内科)

Keynote Lecture: Update in Inherited Arrhythmia Syndromes

清水 渉(日本医科大学循環器内科学)

NOACs in Atrial Fibrillation and Their Unsolved Problems

山下 武志(心臓血管研究所循環器内科)

(25) ACS

(学会第3日目 4月26日(日) 15:20~17:00 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長: 石原 正治(兵庫医科大学内科学講座冠疾患科)

David Brieger (Coronary Care and Coronary Interventions, Concord Hospital, Australia)

Keynote Lecture: Translating Evidence in ACS, The Role of Registry Studies

David Brieger (Coronary Care and Coronary Interventions, Concord Hospital, Australia)

19. 第43回循環器教育セッション

教育セッションⅠ：

ビデオセッションⅠ-1 レーザーリード拔去

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~9:20 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長：庄田 守男(東京女子医科大学循環器内科学)

演 者：

レーザーリード拔去 難渋した2症例から考えるリード拔去術

岡村 英夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

ビデオセッションⅠ-2 末梢血管へのインターベンション治療

(学会第1日目 4月24日(金) 9:20~10:55 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長：安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

演 者：

1. 症例1 感染性足壊疽に対するカテーテル治療と創部管理

症例2 静脈うっ滞性潰瘍合併の重症虚血肢に対する治療戦略

河原田修身(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

2. 間欠性跛行に対する血管内治療

田山 信至(熊本総合病院循環器内科)

ビデオセッションⅠ-3 経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVR)

(学会第1日目 4月24日(金) 10:55~12:30 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長：小林順二郎(国立循環器病研究センター心臓血管外科)

演 者：

1. TAVI, TF アプローチの基本手技

桃原 哲也(榊原記念病院循環器内科)

2. 次世代デバイスを用いた Trans-femoral approach TAVI (Transcatheter Aortic Valve Implantation)

倉谷 徹(大阪大学低侵襲循環器医療学)

教育セッションⅡ：重症安定狭心症への最善の冠血行再建を考える

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:30 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長：中川 義久(天理よろづ相談所病院循環器内科)

浅井 徹(滋賀医科大学心臓血管外科)

演 者：

1. 冠危険因子の管理(optimal medical therapy)がPCIとCABGの選択に与えた影響

宮内 克己(順天堂大学循環器内科学)

2. FFRに基づく機能的冠動脈評価がPCIとCABGの選択に与えた影響

田中 信大(東京医科大学循環器内科)

3. PCIとCABGの選択

中村 淳(新東京病院心臓内科)

4. CABGの進歩

福井 寿啓(榊原記念病院心臓血管外科)

5. 冠動脈バイパス術の治療効果と手術適応

大野 貴之(三井記念病院心臓血管外科)

コメンテーター：Alaide Chieffo(San Raffaele Hospital, Italy)

教育セッションⅢ：急性心不全・心不全増悪にどう対応するか—その標準治療は？

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:30 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長：志賀 剛(東京女子医科大学循環器内科学)

佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院循環器内科)

演 者：

1. スタンダードな薬の使い方
佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科・集中治療室)
2. 高齢者の心不全増悪に対してどう対応するか
原田 和昌(東京都健康長寿医療センター循環器内科)
3. 心不全の悪化を把握する
佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院循環器内科)
4. 心不全と ASV について
安達 仁(群馬県立心臓血管センター循環器内科)
5. 心不全患者の栄養管理
宮澤 靖(近森病院栄養サポートセンター)
6. 心不全の在宅医療の管理, 対応をどうするか?
弓野 大(ゆみのハートクリニック)

20. 日本心臓財団佐藤賞記念講演

〈英語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:10 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)

座長：小川 久雄(熊本大学循環器内科学, 国立循環器病研究センター)

演 者：

Molecular Mechanisms of Cardiovascular Stress Response and Pathophysiology

赤澤 宏(東京大学循環器内科学)

21. 審査講演会

(1) YIA 審査講演会(Clinical research 部)

〈英語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 8:30~10:30 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)

座長：下川 宏明(東北大学循環器内科学)

演 者：

1. Effects of Anti-prolactin Therapy and Prolactin Fragment Values in Patients with Peripartum Cardiomyopathy ~Results From a Nationwide Prospective Study on Peripartum Cardiomyopathy in Japan~
神谷千津子(独立行政法人国立循環器病研究センター周産期・婦人科)
2. Aortic Insufficiency Develops in Non-Responders to Beta-Blocker Treatment Accompanied by Worse Quality of Life after Axial Flow Left Ventricular Assist Device Implantation
今村 輝彦(東京大学医学部附属病院重症心不全治療開発講座)
3. Current Status of Primary Prevention of Sudden Cardiac Death with Implantable Cardioverter-Defibrillator in Patients with Chronic Heart Failure -A Report From the CHART-2 Study-
佐竹 洋之(東北大学循環器内科学分野)
4. Early Increase in Circulating Fatty Acid Binding Protein 4 Levels in Patients with Acute Myocardial Infarction: Lipolysis as a novel marker for myocardial ischemia
小保方 優(群馬大学大学院医学系研究科臓器病態内科学)

(2) YIA 審査講演会(Basic research 部)

〈英語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~16:00 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)

座長：下川 宏明(東北大学循環器内科学)

演 者：

1. Amelioration of adipose inflammation and insulin resistance in aged and diet-induced obese mice by targeting programmed death 1+adipose T cells
白川 公亮(慶應義塾大学循環器内科)
2. Identification of Higd1a as a Therapeutic Target for Mitochondrial Disease via Activation of Cytochrome c Oxidase
林 隆治(大阪大学循環器内科)

3. Synthetic mRNA switches for detection and purification of cardiomyocytes and endothelial cells derived from human pluripotent stem cells
三木 健嗣(京都大学iPS細胞研究所初期化機構研究部門)
4. Enhanced engraftment, proliferation, and therapeutic potential using optimized human iPSC-derived cardiomyocytes
舟越 俊介(京都大学医学部医学科循環器内科学)

(3) 国際留学生 YIA 最終講演会 〈英語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 10:40~12:40 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)
座長: 小室 一成(東京大学循環器内科学)

演 者:

1. Repolarization characteristics in Early repolarization and Brugada syndromes: insight into an overlapping mechanism of sudden cardiac death
Talib Ahmed(筑波大学医学医療系循環器内科)
2. Combination Therapy with Fasudil and Sildenafil Ameliorates Monocrotaline-induced Pulmonary Hypertension through Synergistic Inhibition of Rho-kinase
Al-Mamun Elias(東北大学病院循環器内科学分野)
3. Enhanced AMPK activity inhibits vascular smooth muscle cell migration by phosphorylation of the novel substrate Pdlm5
燕 翼(大阪大学医学部附属病院研究科医科学講座)
4. The Association of High-density Lipoprotein Particle Concentration with Subclinical Atherosclerosis of the Carotid Arteries in Japanese Men
Zaid Maryam(滋賀医科大学附属病院Public Health)
5. Therapeutic Efficacy of Valproic Acid in a Combined Monocrotaline and Chronic Hypoxia Rat Model of Severe Pulmonary Hypertension
蘭 貝蒂(東京女子医科大学病院循環器小児科)

(4) 第5回コメディカル賞 審査講演会1 〈日本語〉
(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第24会場 グランフロント大阪 北館 タワーC 8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C01+C02)
座長: 荒井 秀典(国立長寿医療研究センター)
吉田 俊子(宮城大学看護学部)

演 者:

1. 家族性高コレステロール血症(FH)合併妊娠患者に対する Management—LDL-Apheresis を中心とした脂質管理—
小川 浩司(国立循環器病研究センター臨床工学部)
2. 心房細動に対する抗凝固療法の有用性と忍容性に及ぼす腎機能の検討～新規経口抗凝固薬とワルファリンとの比較～
長沼美代子(東京女子医科大学病院臨床研究支援センター)
3. 経カテーテル的大動脈弁植込み術対象患者の術前術後の ADL の検討
岩本 菜帆(大阪大学医学部附属病院看護部)
4. ペースメーカー関連術後せん妄のリスク因子の検討
山岡真奈美(喜多医師会病院循環器病棟)
5. 高齢心不全症例に対する認知機能低下と予後の検討
齋藤 洋(亀田総合病院リハビリテーション室)
6. 禁煙成功者における血清 SAA-LDL, AT-LDL レベルの経時的変化の検討
嶋田 清香(国立病院機構京都医療センター展開医療研究部)

(5) 第5回コメディカル賞 審査講演会2

〈日本語〉

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第24会場 グランフロント大阪 北館 タワーC 8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C01+C02)

座長: 山岸 正和(金沢大学臓器機能制御学・循環器内科)

江口 陽一(山形大学医学部附属病院放射線部)

演 者:

1. 慢性心不全患者に合併する末梢動脈疾患は無症候性であっても運動耐容能を低下させる
田中 伸弥(北里大学医療系研究科)
2. 肺高血圧症領域における Dual energy CT の有用性
室屋 英人(指宿医療センター放射線科)
3. 術前 CT による TAVI 施行時におけるベールリング真側面の角度(perpendicular view)の算出精度~Aortagraphy と比較して~
今井 康之(医療法人社団誠馨会新東京病院)
4. ドプラ心エコー法で求めた肺血管抵抗指標による間質性肺炎例の予後予測
安井 謙司(札幌医科大学附属病院検査部)
5. 左房遅延造影 MRI と造影 MRA の統合画像の作成—心房細動再発症例に対する 2nd ablation の治療支援—
重永 裕(兵庫県立姫路循環器病センター検査放射線部)
6. iFR(瞬時血流予備量比)が Gray zone となる病変の検討—FFR(冠血流予備量比)に基づいた虚血評価をもとに—
倉田 直哉(JA 三重厚生連松阪中央総合病院 CE 部)

22. 委員会セッション

(1) 国際交流委員会

海外留学生セミナー

(学会第1日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第8会場 大阪国際会議場 12階 グラントック)

座長: 小室 一成(東京大学循環器内科)

演 者:

Leipzig Heart Centerへの臨床留学—医師活動許可の取得ならびに臨床研修の現状—

山崎 浩(Leipzig Heart Center, Department of Electrophysiology, Germany)

ニューヨーク研究留学での経験

世良 英子(Columbia University Medical Center, Division of Cardiology, USA)

オランダ アムステルダム大学博士課程で学んだこと

水澤 有香(University of Amsterdam, Department of Cardiology, Academic Medical Centre, the Netherlands)

アジアンセッション

Asian Session-Cardiovascular Topics in Asian Countries

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第10会場 リーガロイヤルホテル大阪 光琳2)

座長: Byung-Hee Oh(Seoul National University College of Medicine, Korea)

小室 一成(東京大学循環器内科学)

演 者:

1. The epidemiology, risk of stroke and stroke prevention of atrial fibrillation in Taiwan
Tze-Fan Chao(Taipei Veterans General Hospital, Taiwan)
2. Experience of Tricuspid Valve Annuloplasty in Yangon General Hospital
Linn Thaung Zin(Yangon General Hospital(Senior Resister), Myanmar)

座長: Khin Maung Lwin(Yangon General Hospital, Latha Township, Yangon, Union of Myanmar, Myanmar)

San-Jou Yeh(Chang Gung Memorial Hospital, Taiwan)

演 者：

1. Overview on cardiovascular disease and treatment in Malaysia: insight from the NCVD-ACS and NCVD-PCI registry
Azmee Mohd Ghazi (Institut Jantung Negara, Kuala Lumpur, Malaysia)
2. Endothelial progenitor cells in diabetes and obesity
Lee Poay Sian Sabrina (National University Heart Centre, Singapore)

座長：Lam Kai Huat (Assunta Hospital, Petaling Jaya, Malaysia)
Poh Kian Keong (National University Heart Centre, Singapore)

演 者：

1. Molecular mechanisms of cardiovascular aging
南野 徹 (新潟大学循環器内科)
2. Heart Failure in Korea
Myeong-Chan Cho (Chungbuk University of College of Medicine, Korea)

(2) ガイドライン委員会

ガイドラインに学ぶ

〈日本語〉

2012-2013年度活動および2013-2014年度活動ガイドライン作成班報告

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~18:00 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長：筒井 裕之(北海道大学循環病態内科学)

演 者：

1. 循環器病薬の血中濃度モニタリング(TDM)に関するガイドライン(日本循環器学会/日本TDM学会合同ガイドライン)
志賀 剛(東京女子医科大学循環器内科・日本TDM学会代表班長)
2. 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン(2014年改訂版)
許 俊鋭(東京都健康長寿医療センター心臓外科)
3. 脳血管障害, 腎機能障害, 末梢血管障害を合併した心疾患の管理に関するガイドライン(2014年改訂版)
伊藤 貞嘉(東北大学腎・高血圧・内分泌学分野)

ガイドライン解説1

〈日本語〉

2012-2013年度活動ガイドライン作成班解説講演

先天性心疾患, 心臓大血管の構造的疾患(Structural heart disease)に対するカテーテル治療のガイドライン

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長：中西 敏雄(東京女子医科大学循環器小児科)

演 者：

1. 本ガイドラインのめざすもの—安全なカテーテル治療のために—
中西 敏雄(東京女子医科大学循環器小児科)
2. 小児先天性心疾患に対するカテーテル治療
富田 英(昭和大学横浜市北部病院循環器センター)
3. 成人先天性心疾患に対するカテーテル治療(心房中隔欠損を中心に)
赤木 禎治(岡山大学病院循環器疾患治療部)
4. 大動脈弁植え込み術と胸部大動脈瘤ステントグラフト内挿術
倉谷 徹(大阪大学低侵襲循環器医学)
5. 弁膜症, 心筋症に対するカテーテル治療
高山 守正(榊原記念病院循環器内科)

ステートメント解説2

〈日本語〉

2011-2013年度活動ステートメント作成班解説講演

慢性肺動脈血栓塞栓症に対する balloon pulmonary angioplasty の適応と実施法に関するステートメント

(学会第2日目 4月25日(土) 17:20~18:50 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長: 伊藤 浩(岡山大学機能制御学循環器内科)

演 者:

1. オープニング

伊藤 浩(岡山大学機能制御学循環器内科)

2. CTEPH の疫学・診断

田邊 信宏(千葉大学呼吸器内科学)

3. CTEPH の外科的治療の適応

萩野 均(東京医科大学外科学第二講座心臓血管外科)

4. CTEPH に対する BPA の適応と実施法

松原 広己(岡山医療センター臨床研究部)

ガイドライン解説3

〈日本語〉

2012-2013年度活動ガイドライン作成班解説講演

災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン

(日本循環器学会/日本心臓病学会/日本高血圧学会合同ガイドライン)

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第12会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング3階 ロイヤルホール)

座長: 下川 宏明(東北大学循環器内科学)

演 者:

1. 災害と循環器疾患 総論

福本 義弘(久留米大学心臓・血管内科部門)

2. 避難所の環境と感染対策

西澤 匡史(公立南三陸診療所)

3. 心血管リスク評価

荻尾 七臣(自治医科大学循環器内科学部門)

4. 薬物治療・薬剤データ・備蓄

宗像 正徳(東北労災病院循環器科)

5. 心不全

高橋 潤(東北大学循環器内科)

6. 下肢深部静脈血栓症・肺塞栓症

榛沢 和彦(新潟大学呼吸循環外科)

Translational Research 振興事業最終報告会

〈日本語〉

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第8会場 大阪国際会議場 12階 グラントック)

座長: 斎藤 能彦(奈良県立医科大学第一内科)

演 者:

1. 不整脈疾患における先制医療としての遺伝子診断と機能解析の開発

堀江 稔(滋賀医科大学循環器内科)

2. 難治性大動脈炎症候群に対するトシリズマブの有効性を検討する多施設臨床試験

瀧原 圭子(大阪大学保健センター)

成人先天性心疾患セミナー

〈日本語〉

知っておきたい成人先天性心疾患の全身合併症

(学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桂)

座長: 赤坂 隆史(和歌山県立医科大学医学部循環器内科)

八尾 厚史(東京大学保健・健康推進本部)

演 者:

1. Fontan 循環における肝合併症

藤澤 知雄(済生会横浜市東部病院小児肝臓消化器科/NPO 法人日本小児肝臓研究所)

2. フォンタン循環における蛋白漏出性腸症の病態と治療の実際

大内 秀雄(国立循環器病研究センター小児循環器, 成人先天性心疾患)

3. シェント心疾患の成人期の血栓・塞栓症について

赤木 禎治(岡山大学成人先天性心疾患センター)

4. ACHD における感染性心内膜炎 ―思わぬ落とし穴とは―

篠原 徳子(東京女子医科大学循環器小児科)

5. チアノーゼ型疾患の腎臓合併症および全身合併症

丹羽 公一郎(聖路加国際病院心血管センター循環器内科)

(3) 健保対策委員会

〈日本語〉

保険医療セミナー

「診療報酬の今後のあり方 〜CCP Matrix とは?〜」

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第8会場 大阪国際会議場 12階 グラントック)

座長: 伊東 春樹(内科系学会社会保険連合副代表(榊原記念病院))

百村 伸一(自治医科大学さいたま医療センター循環器科)

演 者:

1. 虚血性心疾患・心不全における医療資源利用量の評価とCCPMの考え方

猪飼 宏(京都大学大学院医学研究科医療経済学分野)

2. 診療報酬のデータをどのように活用するか?

橋本 英樹(東京大学大学院医学系研究科)

3. 今後の循環器診療における医療費の考え方

平山 篤志(日本大学循環器内科学)

(4) 心臓移植委員会

〈日本語〉

第11回心臓移植セミナー

チーム医療としての心臓移植医療

(学会第1日目 4月24日(金) 14:00~15:30 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桂)

座長: 小野 稔(東京大学大学院医学系研究科心臓外科)

坂田 泰史(大阪大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学)

演 者:

1. 2014年度心臓移植委員会報告

篠岡 太郎(東京医科歯科大学医学部附属病院循環器内科)

2. 心臓移植医療における内科医の関わり

布田 伸一(東京女子医科大学大学院重症心不全制御学分野)

3. 小児心臓移植医療に必要なチーム医療と小児科医の役割

白石 公(国立循環器病研究センター小児循環器部)

4. 心不全治療チームにおける外科医の役割

戸田 宏一(大阪大学大学院医学系研究科心臓血管外科)

5. 心臓移植患者への支援〜レシピエント移植コーディネーターの立場から〜

遠藤美代子(東京大学医学部附属病院看護部(臓器移植医療部))

6. 小児心臓移植チームにおけるチャイルド・ライフ・スペシャリストの役割

馬戸 史子(大阪大学医学部附属病院小児医療センター)

(5) 医療倫理委員会 〈日本語〉

第14回医療安全・医療倫理に関する講演会

「医療過誤の現状と対策」

(学会第3日目 4月26日(日) 9:50~11:20 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長: 山岸 正和(金沢大学臓器機能制御学・循環器内科)

宮崎 俊一(近畿大学循環器内科)

演 者:

1. 医療安全の実践方法—Team STEPPS への取り組み—

大生 定義(立教大学社会学部)

2. 循環器診療と医療訴訟

田邊 昇(中村・平井・田邊法律事務所)

(6) 医療倫理委員会 〈日本語〉

医療倫理に関する講演会

「研究倫理と研究指導のあり方」

(学会第3日目 4月26日(日) 11:20~12:05 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長: 代田 浩之(順天堂大学循環器内科学)

研究倫理と研究指導のあり方~医学雑誌編集者会議の取り組み~

北村 聖(東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター)

(7) 禁煙推進委員会 〈日本語〉

第14回禁煙推進セミナー

「喫煙と循環器 up to date」

(学会第3日目 4月26日(日) 10:40~12:10 第23会場 グランフロント大阪 北館 B2 階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)

座長: 飯田 真美(岐阜県総合医療センター内科・循環器内科)

高橋 裕子(奈良女子大学保健管理センター)

演 者:

1. 禁煙による酸化ストレスと動脈硬化性疾患

佐藤 公雄(東北大学循環器内科)

2. 喫煙と心不全

田口 功(獨協医科大学越谷病院循環器内科)

3. 禁煙支援の実際とコツ

寺嶋 幸子(国立病院機構京都医療センター看護部)

4. 自治体・学会・医学部・病院での禁煙推進術

朔 啓二郎(福岡大学心臓・血管内科学)

(8) 第13回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座 〈日本語〉

(学会第2日目 4月25日(土) 13:00~16:30 梅田スカイビル タワーウエスト3階 ステ
ラホール)

主 催: 禁煙推進委員会/循環器救急医療委員会

開会挨拶: 朔 啓二郎(福岡大学医学部心臓・血管内科学)

禁煙推進公開講座 13:05~15:00

司会進行: 野出 孝一(佐賀大学医学部)

瀧原 圭子(大阪大学保健センター)

1. 受動喫煙と健康被害

加藤 徹(国立病院機構栃木医療センター)

2. 都市の受動喫煙防止対策

藤原 久義(兵庫県立尼崎病院・塚口病院)

3. 禁煙体操

森山 暎子(一般社団法人10分ランチフィットネス協会代表理事・(有)スタジオ パラディソ代表)

すわん 君(日本循環器学会)

4. 特別講演「アスリートによる『健康力が高いまち』の創造」

朝原 宜治(大阪ガス 北京オリンピック陸上銅メダリスト)

5. 統合討論「東京オリンピックに向けて：日本の都市の受動喫煙防止対策について」

朝原 宜治, 藤原 久義, 野出 孝一, 瀧原 圭子

心肺蘇生法公開講座 15:20~16:30

司会進行：平井 信孝(熊本市医師会熊本地域医療センター)

真野 敏昭(兵庫医科大学)

1. コールアンドプッシュ体操

森山 暎子, すわん 君

2. 簡易心肺蘇生法講習

構成：田原 良雄(国立循環器病研究センター)

コースディレクター：

井上 知美(近畿大学薬学部)

脇田 佳典(和歌山県庁)

閉会挨拶：野々木 宏(静岡県立総合病院)

(9) 循環器救急医療委員会

〈日本語・英語〉

日本循環器学会蘇生科学シンポジウム

AHA ECC-JCSジョイントセッション

(学会第3日目 4月26日(日) 8:30~10:00 第23会場 グランフロント大阪 北館 B2階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)

座長：Karl B. Kern(Sarver Heart Center, University of Arizona, USA)

野々木 宏(静岡県立総合病院)

演 者：

1. TBA

Karl B. Kern(Sarver Heart Center, University of Arizona, USA)

2. Bundled PCAS care with optimal TTM

David F. Gaieski(University of Pennsylvania, USA)

3. rSO₂を用いた院外心肺停止患者への脳障害の重症度評価, optimal critical care の実施に向けて

西山 慶(京都大学医学部附属病院)

4. 我が国の ECPR 研究

渡邊 和宏(日本大学病院循環器病センター)

5. 日本の循環器救急の実情：日本循環器学会指定循環器専門医研修施設932件からのアンケート調査結果報告

田原 良雄(国立循環器病研究センター)

(10) 男女共同参画委員会

〈日本語〉

第5回男女共同参画委員会セッション

テーマ・タイトル：あなたのロールモデルを見つけて下さい

—あなたにとってロールモデルはいますか?—

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第21会場 グランフロント大阪 北館 B2階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム1)

座長：瀧原 圭子(大阪大学保健センター)

本江 純子(菊名記念病院循環器センター)

演 者：

1. Heterogeneity makes “heart” better —大学教員としての軌跡と私見

坂東 泰子(名古屋大学循環器内科)

2. 医療現場での女性医師の役割とモチベーションの維持
塚原 玲子(済生会横浜市東部病院循環器科)
3. 心エコー図を専門とする超音波専門医・循環器専門医,そして教育者として
高野 真澄(福島県立医科大学集中治療部/医療人育成・支援センター)
4. 留学,臨床そして家族
副島 京子(杏林大学循環器内科)
5. 医療マネジメントは管理者のみに任せておいてよいのか?
谷口 泰代(兵庫県立姫路循環器病センター循環器内科)
6. 女性ならではの心臓外科医を目指して
齋藤 綾(東邦大学医療センター佐倉病院心臓血管外科)

(11) 編集委員会 〈英語〉

Circulation Journal Award Session

(学会第2日目 4月25日(土) 8:30~10:00 第4会場 大阪国際会議場 10階 1008)

座長: 下川 宏明(東北大学循環器内科学)

演 者:

Clinical Investigation部門

1. Histopathological Examination by Lung Biopsy for the Evaluation of Operability and Postoperative Prognosis in Patients With Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension
福本 義弘(久留米大学内科学)
2. Circadian Variation of Rho-Kinase Activity in Circulating Leukocytes of Patients With Vasospastic Angina
二瓶 太郎(東北大学循環器内科学)

Experimental Investigation部門

1. Microtubule Disorganization Affects the Mitochondrial Permeability Transition Pore in Cardiac Myocytes
熊澤あず美(浜松医科大学内科学第三)
2. DNA Methylation of Human Telomerase Reverse Transcriptase Associated With Leukocyte Telomere Length Shortening in Hyperhomocysteinemia-Type Hypertension in Humans and in a Rat Model
Donghong Zhang(Peking Union Medical College Hospital, China)

(12) 学術集会運営委員会 〈日本語〉

留学支援助成 報告会

(学会第1日目 4月24日(金) 16:30~17:30 第3会場 大阪国際会議場 8階 801+802)

座長: 木村 剛(京都大学循環器内科)

演 者:

1. 心房前駆細胞の発生学的・細胞学的解析による心房細動発症機構の解明
中島 康弘(京都大学循環器内科)
2. ゲノムワイド関連解析による脂質異常症の解析および安定同位体を使用したその機能解析
多田 隼人(金沢大学循環器内科)

23. 他学会とのジョイントシンポジウム

(1) 日本成人先天性心疾患学会ジョイントシンポジウム 〈日本語〉

成人先天性心疾患の診療—ファロー四徴症修復術後の問題点—

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第14会場 リーガロイヤルホテル大阪 タワーウィング2階 桂)

座長: 丹羽公一郎(聖路加国際病院心血管センター)

白石 公(国立循環器病研究センター小児循環器科)

演 者：

1. ファロー四徴の心不全の病態と治療
大内 秀雄(国立循環器病研究センター小児循環器科)
2. ファロー四徴における心エコー法, MRI による右室機能評価
高崎 州亜(鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学)
3. ファロー四徴に見られる大動脈拡張の病態と臨床的意義
村上 智明(千葉県こども病院循環器内科)
4. ファロー四徴に見られる不整脈の特徴と治療法
庄田 守男(東京女子医科大学循環器内科学)
5. ファロー四徴をはじめとする成人先天性心疾患の妊娠と出産の管理
椎名 由美(聖路加国際病院心血管センター)

(2) 日本疫学会ジョイントシンポジウム

〈日本語〉

臨床医の疫学セミナー

(学会第3日目 4月26日(日) 13:30~15:00 第23会場 グランフロント大阪 北館 B2 階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)

座長：磯 博康(大阪大学社会環境医学講座公衆衛生学)

演 者：

臨床研究のデザインとデータ処理：実例を通して考え方と手法を学ぶ
川村 孝(京都大学健康要因学講座予防医療学分野)

(3) 日本集中治療医学会ジョイントシンポジウム

〈日本語〉

CCU の現状と展望：集中治療専門医に期待される役割

(学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第18会場 堂島リバーフォーラム)

座長：宮崎 俊一(近畿大学循環器内科学)

山科 章(東京医科大学循環器内科)

演 者：

1. CCU の現状に関するアンケート調査報告
笠岡 俊志(熊本大学救急・総合診療部)
2. 院外心停止蘇生後集中治療 up-to-date
田原 良雄(国立循環器病研究センター心臓血管内科)
3. TAVR/TAVI の術後管理
新沼 廣幸(聖路加国際病院循環器内科)
4. 循環管理における multidisciplinary なアプローチの重要性
佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科・集中治療室)
5. 専門医教育における心血管集中治療の現状と今後のあり方
高山 守正(榊原記念病院循環器内科)

(4) 日本心臓核医学会ジョイントシンポジウム

〈日本語〉

画像診断から血行再建治療への最適戦略

(学会第3日目 4月26日(日) 15:30~17:00 第23会場 グランフロント大阪 北館 B2 階
ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)

座長：西村 重敬(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

宮川 正男(愛媛大学放射線科)

演 者：

1. General Considerations: Appropriate Use of Cardiac Imaging
松本 直也(日本大学病院循環器内科)
2. Patients with Suspected Coronary Artery Disease
竹花 一哉(関西医科大学内科学第二講座)
3. Patients with Known Coronary Angiography
中川 正康(市立秋田総合病院循環器内科)

4. Asymptomatic High-risk Patients

野口 暉夫(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

24. 市民公開講座

第13回禁煙推進・心肺蘇生法合同市民公開講座

(学会第2日目 4月25日(土) 13:00~16:30 梅田スカイビル ステラホール)

「命の大切さを考える」

主 催：一般社団法人日本循環器学会，禁煙推進委員会／循環器救急医療委員会

後 援：大阪府，大阪市，大阪府医師会，兵庫県医師会

プログラム(予定)

開会挨拶：朔 啓二郎(福岡大学)

禁煙推進公開講座

司会：野出 孝一(佐賀大学)，瀧原 圭子(大阪大学)

講演① 受動喫煙と健康被害

講師：加藤 徹(国立病院機構栃木医療センター)

講演② 都市の受動禁煙防止対策

講師：藤原 久義(兵庫県立尼崎病院・塚口病院)

禁煙体操 森山 暎子(一般社団法人10分ランチフィットネス協会代表理事・有限会社スタディオ・パラディソ代表)

すわん君(日本循環器学会)

特別講演 アスリートによる「健康力が高いまち」の創造

朝原 宣治(大阪ガス，北京オリンピック陸上銅メダリスト)

心肺蘇生法公開講座

司会：平井 信孝(熊本市医師会熊本地域医療センター)

真野 敏昭(兵庫医科大学)

コールアンドプッシュ体操 森山 暎子，すわん君

簡易心肺蘇生法講習

構成：田原 良雄(国立循環器病研究センター)

コースディレクター：

井上 知美(近畿大学薬学部)

脇田 佳典(和歌山県庁)

閉会挨拶：野々木 宏(静岡県立総合病院)

第79回日本循環器病学会学術集市民公開講座

(学会第3日目 4月26日(日) 14:00~16:30 フェスティバルホール)

「知っておきたい心臓病の知識」(仮)

主 催：第79回日本循環器学会学術集会，公益社団法人日本心臓財団，朝日新聞社

後 援：公益社団法人日本医師会

協 賛：第一三共株式会社

プログラム(予定)

日本心臓財団よりご挨拶：

矢崎 義雄(日本心臓財団理事長／国際医療福祉大学総長／東京大学名誉教授)

開会挨拶：小川 久雄(第79回日本循環器学会学術集会会長／熊本大学循環器内科学／国立循環器病研究センター)

第1部

司会：小川 久雄(熊本大学循環器内科学／国立循環器病研究センター)

ゲスト：角 淳一(元毎日放送アナウンサー)

講演① 日本人の心臓病は今どうなっているか

講師：安田 聡(国立循環器病研究センター心臓血管内科)

講演② 高齢者の心臓病はどんな特徴があるか

講師：泰江 弘文(熊本加齢医学研究所・熊本機能病院)

講演③ 心不全とはどんな病気か

講師：坂田 泰史(大阪大学 循環器内科)

講演 角 淳一(元毎日放送アナウンサー)

第2部

講演④ 心臓病の内科治療

講師：掃本 誠治(熊本大学循環器内科)

講演⑤ 心臓病の外科治療

講師：藤田 知之(国立循環器病研究センター)

Q&A

閉会挨拶：小川 久雄(第79回日本循環器学会学術集会会長／熊本大学循環器内科学／国立循環器病研究センター)

プレセミナー・ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナー

学会前日 4月23日(木) 18:30~19:30 (※PRE-3/18:30~20:30開催)

- PRE-1 糖尿病合併脂質異常患者の適正脂質管理 〈日本語〉
第21会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム1)
挨拶:小川 久雄(熊本大学 循環器内科学/国立循環器病研究センター)
座長:山下 静也(大阪大学 循環器内科学 総合地域医療学寄附講座)
演者:横手幸太郎(千葉大学 細胞治療内科学)
- PRE-2 PCI 後の抗血小板療法 〈日本語〉
第22会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム2)
挨拶:小川 久雄(熊本大学 循環器内科学/国立循環器病研究センター)
座長:木村 一雄(横浜市立大学附属市民総合医療センター 心臓血管センター)
演者:海北 幸一(熊本大学 循環器内科学)
横井 宏佳(福岡山王病院 循環器センター/国際医療福祉大学)
- PRE-3 The Proof of XIENCE 〈日本語および英語〉
第23会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム3)
座長:木村 剛(京都大学)
森野 禎浩(岩手医科大学)
演者:上妻 謙(帝京大学)
那須 賢哉(豊橋ハートセンター)
木村 剛(京都大学)
新家 俊郎(神戸大学)
森野 禎浩(岩手医科大学)
及川 裕二(心臓血管研究所附属病院)
Renu Virmani(CVPath Institute, Inc., USA)

学会第1日目 4月24日(金) 12:50~13:40

- LS-1 新規経口抗凝固薬時代の心房細動マネジメント ~集積される日本のエビデンス 〈日本語〉
第1会場(大阪国際会議場 5階 大ホール)
座長:堀 正二(大阪府立成人病センター 名誉総長)
演者:池田 隆徳(東邦大学 循環器内科学)
奥村 謙(弘前大学 循環器・呼吸器・腎臓内科)
- LS-2 ビッグデータ時代における循環器病診療評価はどうあるべきか? 〈日本語〉
第3会場(大阪国際会議場 8階 801+802)
座長:北風 政史(国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科)
演者:武藤 正樹(国際医療福祉大学)
松村 泰志(大阪大学 医療情報学)
- LS-3 3Tにおける心臓MRI ~臨床応用への次の一歩~ 〈日本語〉
共催セミナー特設会場1(大阪国際会議場10階 1006+1007)
座長:渡辺 浩毅(済生会松山病院 循環器センター)
演者:野口 暉夫(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
城戸 倫之(済生会松山病院 放射線科)

- LS-4 循環器疾患と陽圧呼吸療法 ―ASV を中心に― 〈日本語〉
 第4会場(大阪国際会議場 10階 1008)
 座長：安齊 俊久(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 演者：義久 精臣(福島県立医科大学 循環器・血液内科学・心臓病先進治療学)
- LS-5 IMPELLA -Percutaneous Ventricular Assist Device- 〈英語〉
 第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)
 座長：木村 剛(京都大学 循環器内科学)
 演者：Ashish Pershad(Banner Good Samaritan Cavanagh Heart Clinic, USA)
- LS-6 CTEPH 診断治療の最前線 ―新時代を迎えた CTEPH 診療戦略― 〈日本語〉
 第6会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)
 座長：江本 憲昭(神戸薬科大学 臨床薬学／神戸大学 循環器内科学)
 演者：大郷 剛(国立循環器病研究センター 肺循環科)
- LS-7 新規抗凝固薬(NOAC)を含めた抗血栓療法の消化管傷害とその管理 〈日本語〉
 第7会場(大阪国際会議場 12階 1202)
 座長：掃本 誠治(熊本大学 循環器内科学)
 演者：渡邊 英一(藤田保健衛生大学 循環器内科)
 塩谷 昭子(川崎医科大学 消化管内科学)
- LS-8 心血管イベントの抑制を目指して 〈日本語〉
 第8会場(大阪国際会議場 12階 グラントック)
 座長：山岸 正和(金沢大学 臓器機能制御学・循環器内科)
 演者：香坂 俊(慶應義塾大学 循環器内科)
- LS-9 複合疾患としての心血管病 ～運動器疾患を持つ患者へのアプローチ～ 〈日本語〉
 第9会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳1)
 座長：児玉 和久(大阪警察病院名誉院長／尼崎中央病院 心臓血管センター)
 演者：平山 篤志(日本大学 循環器内科)
- LS-10 Ischemic Heart Disease 〈英語〉
 第10会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳2)
 座長：安田 聡(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 演者：David Brieger(Head of Coronary Care and Coronary Interventions Concord Hospital, Sydney, Australia)
- LS-11 糖尿病合併2次予防患者における積極的脂質管理の臨床的意義 ～最新の知見から～ 〈日本語〉
 第11会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳3)
 座長：倉林 正彦(群馬大学 臓器病態内科学)
 演者：宮内 克己(順天堂大学 循環器内科学)
- LS-12 心腎連関を断ち切るための新たな降圧治療戦略
 ～腎臓専門医から見た CVD 予防へのアプローチ～ 〈日本語〉
 第12会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 ロイヤルホール)
 座長：浦 信行(溪仁会 札幌西円山病院)
 演者：阿部 雅紀(日本大学 腎臓高血圧内分泌内科)
- LS-13 心血管イベントに及ぼす糖・脂質代謝の重要性 〈日本語〉
 第13会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 桐)
 座長：星賀 正明(大阪医科大学 循環器内科)
 演者：小田原雅人(東京医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)

- LS-14 New Horizons in the Management of Pulmonary Arterial Hypertension (英語)
第14会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 桂)
座長: 室原 豊明(名古屋大学 循環器内科学)
演者: Simon Gibbs(National Heart & Lung Institute, Imperial College London and National Pulmonary Hypertension Service, Hammersmith Hospital, London, UK)
- LS-15 Current practice for p2y12 blockers after ACS/DES following most recent evidence : potential value of switching strategy? (英語)
第15会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 ペリドット)
座長: 柴田 剛徳(宮崎市郡医師会病院 心臓病センター 循環器内科)
演者: Thomas Cuisset(University Hospital La Timone, Marseille, France)
- LS-16 抗凝固療法—NOAC の展望を語る (日本語)
第18会場(堂島リバーフォーラム 1・2階 堂島リバーフォーラム)
座長: 山下 武志(心臓血管研究所)
演者: 赤尾 昌治(京都医療センター 循環器内科)
静田 聡(京都大学 循環器内科学)
- LS-17 新規経口抗凝固薬と腎機能 —アピキサバンの新たな可能性— (日本語)
第20会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)
座長: 草野 研吾(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
演者: 宮本 康二(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
山岸 昌一(久留米大学 糖尿病性血管合併症病態・治療学)
- LS-18 β 遮断薬を臨床で活かす —貼付剤の役割と可能性— (日本語)
第21会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム1)
座長: 山科 章(東京医科大学 循環器内科学)
演者: 伊藤 浩(岡山大学循環器内科学)
- LS-19 肺動脈性肺高血圧症治療の実際と長期予後 (日本語)
第22会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム2)
座長: 松原 広己(岡山医療センター 臨床研究部/循環器科)
演者: 田邊 信宏(千葉大学 先端肺高血圧症医療学寄付講座)
- LS-20 脂質異常症患者における心血管イベントの残余リスク対策 —EPA/AA比の活用と高純度 EPA のエビデンス— (日本語)
第23会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム3)
座長: 野出 孝一(佐賀大学 循環器内科)
演者: 天野 哲也(愛知医科大学 循環器内科)
- LS-21 糖尿病性心血管合併症の新しい治療戦略 (日本語)
第24会場(グランフロント大阪 北館 タワー C8階 ナレッジキャピタル カンファレンスルーム C01+02)
座長: 堀内 正嗣(愛媛大学 分子心血管・薬理学)
演者: 光山 勝慶(熊本大学 生体機能薬理学)

- LS-22 循環器疾患におけるアルブミン尿の是正意義と降圧療法 〈日本語〉
第25会場(グランフロント大阪 北館 タワー C8 階 ナレッジキャピタル カンファレンス
ルーム C03+04)

座長：斎藤 能彦(奈良県立医科大学 第1内科)

演者：中村 正人(東邦大学医療センター 大橋病院 循環器内科)

長谷部直幸(旭川医科大学 内科学講座 循環・呼吸・神経病態内科学)

- LS-23 Physiological PCI の奥義 〈日本語〉
共催セミナー特設会場2(グランフロント大阪 北館 タワー C8 階 ナレッジキャピタル
カンファレンスルーム C05)

座長：松尾 仁司(岐阜ハートセンター)

演者：松本 直也(日本大学病院 循環器内科)

川崎 友裕(新古賀病院/心臓血管センター)

学会第1日目 4月24日(金) 18:20~19:20 (※FS-32/18:20~19:50開催)

- FS-1 戦略的降圧療法 一利尿薬は最後の切り札か? 〈日本語〉
第3会場(大阪国際会議場 8階 801+802)

座長：宮崎 俊一(近畿大学 循環器内科)

演者：大石 充(鹿児島大学心臓血管・高血圧内科学)

- FS-2 移植待機の長期化を見据えた課題と補助人工心臓の役割 〈日本語〉
共催セミナー特設会場1(大阪国際会議場 10階 1006+1007)

座長：小野 稔(東京大学 心臓外科)

澤 芳樹(大阪大学 心臓血管外科)

演者：布田 伸一(東京女子医科大学 重症心不全制御学/
日本循環器学会 心臓移植委員会適応検討小委員会)

山崎 健二(東京女子医科大学 心臓血管外科)

- FS-3 静脈血栓塞栓症の治療 ～診断, 治療 IVC フィルターの役割～ 〈日本語〉
第4会場(大阪国際会議場 10階 1008)

座長：中村 真潮(三重大学 循環器・腎臓内科学/村瀬病院/肺塞栓・静脈血栓
センター)

演者：山田 典一(三重大学 循環器・腎臓内科学)

安齋 均(太田記念病院 循環器内科)

- FS-4 腎機能とPCI・CABG ～腎機能低下による最適な血行再建術とは～ 〈日本語および英語〉
第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

座長：中村 淳(新東京病院)

高梨秀一郎(榊原記念病院)

演者：伊藤 貞嘉(東北大学) ※ビデオ特別講演

Alaida Chieffo(San Raffaele Scientific Institute, Italy)

中村 淳(新東京病院)

福井 寿啓(榊原記念病院)

- FS-5 Beyond LDL時代における脂質管理：脂肪酸の役割を含めて 〈日本語〉
第6会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長：代田 浩之(順天堂大学)

演者：横手幸太郎(千葉大学)

- FS-6 救急医療におけるBNP検査の活用 〈日本語〉
第7会場(大阪国際会議場 12階 1202)
座長: 吉村 道博(東京慈恵会医科大学)
演者: 小武海公明(東京慈恵会医科大学 柏病院)
- FS-7 冠動脈疾患におけるマルチリスクへのアプローチ 〈日本語〉
第8会場(大阪国際会議場 12階 グラントック)
座長: 尾崎 行男(藤田保健衛生大学 循環器内科)
演者: 田原 宣広(久留米大学 心臓・血管内科)
宮内 克己(順天堂大学 循環器内科)
- FS-8 脂質異常症治療に残された課題 〈日本語〉
第9会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳1)
座長: 朔 啓二郎(福岡大学 心臓・血管内科学)
演者: 山下 静也(大阪大学 循環器内科学・総合地域医療学寄附講座)
斯波真理子(国立循環器病研究センター研究所 病態代謝部)
- FS-9 Innovative technologies to improve the efficacy of catheter ablation 〈英語〉
第10会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳2)
座長: 山部 浩茂(熊本大学 循環器内科学 不整脈先端医療講座)
演者: Paolo Della Bella(San Raffaele Scientific Institute, Milan, Italy)
- FS-10 ABI・baPWVを活かした心血管疾患の診療フローを考える
—診療ガイドラインカットオフ値の臨床活用— 〈日本語〉
第11会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳3)
座長: 山科 章(東京医科大学 循環器内科)
演者: 宗像 正徳(東北労災病院 高血圧内科)
富山 博史(東京医科大学 循環器内科)
- FS-11 尿毒症毒素のインドキシル硫酸は心腎連関を惹起する 〈日本語〉
第12会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 ロイヤルホール)
座長: 百村 伸一(自治医科大学附属さいたま医療センター)
演者: 田口 功(獨協医科大学越谷病院 循環器内科)
北風 政史(国立循環器病研究センター 臨床研究部)
- FS-12 The Role of the Wearable Cardioverter Defibrillator in Protecting Patients from Sudden Cardiac Death 〈日本語および英語〉
第14会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 桂)
座長: 相澤 義房(立川メディカルセンター研究開発部/新潟大学)
演者: 奥村 謙(弘前大学)
Andrew E. Epstein(The Hospital of the University of Pennsylvania and the Veteran's Administration Medical Center, USA)
- FS-13 抗血栓薬のリスクとベネフィット—循環器・消化器クロストーカー 〈日本語〉
第15会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 ペリドット)
挨拶: 小川 久雄(熊本大学 循環器内科学/国立循環器病研究センター)
座長: 荒川 哲男(大阪市立大学 消化器内科)
平山 篤志(日本大学 循環器内科)
演者: 掃本 誠治(熊本大学 循環器内科学)
加藤 元嗣(北海道大学 光学医療診療部)
特別発言: 藤本 一真(佐賀大学 内科学)

- FS-14 糖尿病薬物治療の現状と課題 〈日本語〉
 第21会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
 センター ルーム1)
 座長：三浦 哲嗣(札幌医科大学 循環器・腎臓・代謝内分泌内科)
 演者：加来 浩平(川崎医科大学 内科学)
- FS-15 尿酸代謝からみた心腎連関 〈日本語〉
 第22会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
 センター ルーム2)
 座長：浦田 秀則(福岡大学 筑紫病院 循環器内科)
 演者：大野 岩男(東京慈恵会医科大学 総合診療内科)
- FS-16 新たなエビデンスに基づいた PAH の最新治療 〈日本語〉
 第24会場(グランフロント大阪 北館 タワー C8階 ナレッジキャピタル カンファレンス
 ルーム C01+02)
 座長：渡邊 裕司(浜松医科大学 臨床薬理学・臨床薬理内科)
 演者：波多野 将(東京大学)
- FS-17 B型大動脈解離に対するステントグラフト治療 〈日本語〉
 第25会場(グランフロント大阪 北館 タワー C8階 ナレッジキャピタル カンファレンス
 ルーム C03+04)
 座長：加地修一郎(神戸市立医療センター中央市民病院 循環器内科)
 演者：加藤 雅明(森之宮病院 心臓血管外科)
- FS-31 AAA新時代 ―the AAA Japan studyでわかること― 〈日本語〉
 第23会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
 センター ルーム3)
 座長：渡辺 弘之(東京ベイ・浦安市川医療センター 循環器内科)
 演者：福田 祥大(産業医科大学 第2内科)
 阪口 昇二(松原徳洲会病院 大動脈ステントグラフト・血管内治療科)
- FS-32 心筋梗塞再灌流時間短縮をめざす循環器救急体制の構築へ向けて
 ～12誘導心電図伝送の効用について 〈日本語〉
 共催セミナー特設会場2(グランフロント大阪 北館 タワー C8階 ナレッジキャピタル
 カンファレンスルーム C05)
 座長：野々木 宏(静岡県立総合病院)
 藤田 英雄(自治医科大学さいたま医療センター 循環器科)
 演者：田原 良雄(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 藤田 英雄(自治医科大学さいたま医療センター 循環器科)
 羽柴 克孝(横浜市立大学市民総合医療センター 高度救命救急センター)
 竹内 一郎(北里大学 救命救急災害医療センター)
 中島 悟史(岩手医科大学 循環器内科)
 石倉 健(三重大学 救命救急センター)
 菊地 研(獨協医科大学 心臓・血管内科)
 嘉数 真教(豊見城中央病院 循環器内科)

学会第2日目 4月25日(土) 12:50~13:40

- LS-24 超高齢社会における心房細動脳梗塞予防の進化～抗凝固薬における至高の選択～
〈日本語および英語〉
第1会場(大阪国際会議場 5階 大ホール)
座長:新 博次(日本医科大学 多摩永山病院)
奥村 謙(弘前大学 循環呼吸腎臓内科)
演者:三田村秀雄(立川病院)
Gregory YH Lip(Cardiovascular Medicine, University of Birmingham, UK)
- LS-25 心腎脳連関をみすえた降圧治療
〈日本語〉
第3会場(大阪国際会議場 8階 801+802)
座長:檜垣 實男(愛媛大学 循環器・呼吸器・腎臓高血圧内科学)
演者:佐田 政隆(徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部 循環器内科学分野)
- LS-26 イメージングイノベーション 循環器診断の将来
〈日本語〉
共催セミナー特設会場1(大阪国際会議場 10階 1006+1007)
座長:興梠 貴英(自治医科大学附属病院 企画経営部医療情報部)
演者:天沼 誠(高瀬クリニック 放射線科)
上妻 謙(帝京大学医学部附属病院 循環器内科/日本カーディオコア)
- LS-27 血管を守る糖尿病治療とは? ～残余リスク低下を目指して～
〈日本語〉
第4会場(大阪国際会議場 10階 1008)
座長:平田 健一(神戸大学 内科学講座循環器内科学)
演者:石橋 俊(自治医科大学 内分泌代謝学)
- LS-28 心血管疾患発症阻止を見据えた血糖管理:
夜間深夜帯の血糖変動, 交感神経活動, 血圧変動の視点から
〈日本語〉
第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)
座長:室原 豊明(名古屋大学 循環器内科)
演者:森 豊(東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科/
東京慈恵会医科大学附属第三病院 糖尿病・代謝・内分泌内科)
- LS-29 わが国における DVT/PE 診療の現状と将来展望
〈日本語〉
第6会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)
座長:中村 真潮(三重大学 循環器・腎臓内科学)
演者:山田 典一(三重大学 循環器内科)
- LS-30 循環器疾患の発症予測 –NIPPON DATAから吹田研究まで
〈日本語〉
第7会場(大阪国際会議場 12階 1202)
座長:宮本 恵宏(国立循環器病研究センター病院 予防健診部)
演者:岡村 智教(慶應義塾大学衛生学公衆衛生学)
- LS-31 Optimal PCI strategy now and future (仮)
〈日本語〉
第8会場(大阪国際会議場 12階 グラントック)
座長:中村 正人(東邦大学医療センター 大橋病院)
演者:岩崎 清隆(早稲田大学理工学術院)
堀田 祐紀(心臓血管センター 金沢循環器病院)
中澤 学(東海大学医学部付属病院)

- LS-32 Adipose tissue dysfunction and vascular disease 〈英語〉
 第9会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳1)
 座長: 筒井 裕之(北海道大学 循環病態内科学)
 演者: Kenneth Walsh(Whitaker Cardiovascular Institute, Boston University School of Medicine, USA)
- LS-33 The Impact of Novel Anti-atherosclerotic Therapies 〈英語〉
 第10会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳2)
 座長: 安田 聡(国立循環器病研究センター 心臓血管内科)
 演者: Stephen Nicholls(Cardiology, The University of Adelaide, Australia)
- LS-34 心疾患を考慮した糖尿病治療 〈日本語〉
 第11会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳3)
 座長: 代田 浩之(順天堂大学 循環器内科学)
 演者: 寺内 康夫(横浜市立大学 分子内分泌・糖尿病内科学)
- LS-35 冠動脈疾患における積極的脂質低下療法のニューエビデンス 〈日本語〉
 第12会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 ロイヤルホール)
 座長: 小川 久雄(熊本大学 循環器内科学/国立循環器病研究センター)
 演者: 石原 正治(兵庫医科大学 内科学冠疾患科 主任教授)
- LS-36 その糖尿病治療薬のエビデンス, 信用できますか? ~エビデンスの読み方と注意点~ 〈日本語〉
 第13会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 桐)
 座長: 副島 弘文(熊本大学 保健センター)
 演者: 能登 洋(聖路加国際病院 内分泌代謝科)
- LS-37 頻脈性心房細動に対する治療戦略 ~抗凝固薬の次に使用すべき薬剤とは~ 〈日本語〉
 第14会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 桂)
 座長: 磯部 光章(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
 演者: 池田 隆徳(東邦大学 循環器内科学)
- LS-38 Improving Quality of Care and Outcomes for Heart Failure: Lessons Learned from IMPROVE-HF 〈英語〉
 第15会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 ペリドット)
 座長: 百村 伸一(自治医科大学 さいたま医療センター)
 演者: Gregg C. Fonarow(Ahmanson-UCLA Cardiomyopathy Center UCLA Division of Cardiology, USA)
- LS-39 Next generation SAPIEN Transcatheter Heart Valves. Optimizing outcomes 海外における TAVI の最新アップデートと将来への展望 〈英語〉
 第16会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 山楽1)
 座長: 坂田 泰史(大阪大学 循環器内科)
 演者: John Webb(St. Paul's Hospital / University of British Columbia, Canada)
- LS-40 The WOEST trial and the future of antithrombotic therapy in AF patient who need PCI 〈英語〉
 第17会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 山楽2)
 座長: 掃本 誠治(熊本大学 循環器内科学)
 演者: Willem Dewilde(Amphia Hospital, Breda, The Netherlands)
- LS-41 NOAC のラストステージ: ENGAGE-AF TIMI48 のすべて 〈日本語〉
 第18会場(堂島リバーフォーラム 1・2階 堂島リバーフォーラム)
 座長: 清水 渉(日本医科大学 循環器内科学)
 演者: 山下 武志(心臓血管研究所)

- LS-42 脳・心血管イベントを考慮した高血圧治療の最新ストラテジー 〈日本語〉
第20会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ホールA)
座長: 藤田 敏郎(東京大学)
演者: 岸 拓弥(九州大学循環器病未来医療研究センター・未来心血管治療学共
同研究)
大石 充(鹿児島大学 心臓血管・高血圧内科学)
- LS-43 抗血栓薬服用患者の血圧管理 〈日本語〉
第21会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム1)
座長: 島田 和幸(新小山市市民病院)
演者: 甲斐 久史(久留米大学 心臓・血管内科)
- LS-44 日本製イリゲーションカテーテルの初期臨床評価 〈日本語〉
第22会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム2)
座長: 平尾 見三(東京医科歯科大学 循環制御内科学)
演者: 中川 博(オクラホマ大学)
パネリスト: 青沼 和隆(筑波大学 循環器内科)
山根 禎一(東京慈恵会医科大学 循環器内科)
合屋 雅彦(東京医科歯科大学 循環器内科)
高橋 淳(横須賀共済病院 循環器内科)
- LS-45 肥大型心筋症に潜むファブリー病 〈日本語〉
第23会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム3)
座長: 小室 一成(東京大学 循環器内科学)
演者: 江波戸美緒(昭和大学 藤が丘病院 循環器内科)
佐藤 洋(浜松医科大学附属病院 循環器内科)
- LS-46 心血管病理2015 〈日本語〉
第24会場(グランフロント大阪 北館 タワー C8階 ナレッジキャピタル カンファレンス
ルーム C01+02)
座長: 植田 初江(国立循環器病研究センター 病理部)
加藤 誠也(福岡県済生会福岡総合病院 病理診断部)
演者: 池田 善彦(国立循環器病研究センター 病理部)
上田真喜子(大阪市立大学 病理病態学)
- LS-47 Next-Generation Vascular Stents — Current Status and Future Expectations —
〈日本語および英語〉
第25会場(グランフロント大阪 北館 タワー C8階 ナレッジキャピタル カンファレンス
ルーム C03+04)
座長: 横井 宏佳(福岡山王病院)
柴田 剛徳(宮崎市郡医師会病院)
演者: Renu Virmani(CVPath Institute, Inc., USA)
田邊 健吾(三井記念病院)
- LS-48 薬剤性心毒性をバイオマーカーでどう捉えるか? 〈日本語〉
共催セミナー特設会場2(グランフロント大阪 北館 タワー C8階 ナレッジキャピタル カ
ンファレンスルーム C05)
座長: 福本 義弘(久留米大学 心臓・血管内科)
演者: 南 学(京都大学 臨床研究総合センター 早期臨床試験部)
桂田 健一(自治医科大学)

学会第2日目 4月25日(土) 19:00~20:00 (※FS-18, 22, 25, 34/19:00~20:30開催)

FS-18 β 遮断薬生誕50周年企画

「 β 遮断薬を必要とする患者さんのために、専門医が実践すべき3つのこと」 〈日本語〉
第1会場(大阪国際会議場 5階 大ホール)

座長: 百村 伸一(自治医科大学さいたま医療センター)
山科 章(東京医科大学)
講師(パネリスト): 伊藤 浩(岡山大学)
大屋 祐輔(琉球大学)
池田 隆徳(東邦大学)
筒井 裕之(北海道大学)
瀬在 明(日本大学)

FS-19 薬物治療が可能なトランスサイレチン型アミロイドーシス

~早期診断のためのアプローチ~ 〈日本語〉
第3会場(大阪国際会議場 8階 801+802)

座長: 小山 潤(信州大学 循環器内科学)
演者: 田原 宣広(久留米大学 心臓・血管内科)

FS-20 循環器専門医はどこまで不眠診療へ関わるべきか

—睡眠薬の適正な使用と休薬のための診療ガイドラインより— 〈日本語〉
第4会場(大阪国際会議場 10階 1008)

座長: 安藤 眞一(九州大学病院 睡眠時無呼吸センター)
演者: 内村 直尚(久留米大学 神経精神医学講座)

FS-21 薬剤溶出性ステント留置後の冠攣縮と血管機能保護戦略

第5会場(大阪国際会議場 10階 1009) 〈日本語〉

座長: 水野 杏一(公益財団法人三越厚生事業団/日本医科大学)
演者: 高橋 潤(東北大学病院 循環器内科)

FS-22 第76回冠循環談話会

「新たな非侵襲的心筋虚血評価法」 〈日本語〉
第6会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

座長: 木村 剛(京都大学 循環器内科学)
演者: 香坂 俊(慶應義塾大学 循環器内科)
田中 信大(東京医科大学 循環器内科)
井口 信雄(榊原記念病院 循環器内科)
伊藤 浩(岡山大学 循環器内科学)

FS-23 最新の糖尿病治療

第7会場(大阪国際会議場 12階 1202) 〈日本語〉

座長: 加来 浩平(川崎医科大学 総合内科学1)
演者: 寺内 康夫(横浜市立大学 分子内分泌・糖尿病内科学)

FS-24 冠攣縮の最新知見

第8会場(大阪国際会議場 12階 グラントック) 〈英語〉

座長: 下川 宏明(東北大学 循環器内科)
情報提供: 冠攣縮研究会事務局からの報告
小鷹 悠二(東北大学 循環器内科学)
特別講演: Peter Ong (Robert-Bosch-Krankenhaus, Department of Cardiology, Stuttgart, Germany)

- FS-25 僧帽弁閉鎖不全 〈日本語〉
第10会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳2)
座長: 児玉 和久(大阪警察病院 名誉院長/尼崎中央病院 特別顧問)
平山 篤志(日本大学 循環器内科学)
演者: 木田 圭亮(聖マリアンナ医科大学 循環器内科)
渡邊 弘之(東京ベイ・浦安市川医療センター ハートセンター)
安村 良男(国立病院機構大阪医療センター 循環器内科)
- FS-26 肺高血圧症の治療 〈日本語〉
第15会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 ペリドット)
座長: 前村 浩二(長崎大学 循環器内科)
演者: 本間 覚(筑波大学 循環器内科)
- FS-27 糖尿病と高血圧 ―重要臓器に刻印された日本人の記憶― 〈日本語〉
第16会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 山楽1)
座長: 斎藤 能彦(奈良県立医科大学 第一内科)
演者: 柏原 直樹(川崎医科大学 腎臓・高血圧内科)
- FS-28 血管合併症から見た新しい糖尿病治療薬の位置づけ ―SGLT2 阻害剤の使い方― 〈日本語〉
第17会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 山楽2)
座長: 代田 浩之(順天堂大学 循環器内科)
演者: 岡田 洋右(産業医科大学 第1内科学)
- FS-29 Mechanical Circulatory Support: What does the heart need and when? 〈英語〉
第21会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム1)
座長: 小船井 光太郎(東京ベイ・浦安市川医療センター)
演者: Divaka Perera(Cardiovascular Division, Rayne Institute, St. Thomas' Hospital,
London, UK)
- FS-30 HDL をターゲットとした薬物治療の最前線 〈日本語〉
第23会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム3)
座長: 松澤 佑次(住友病院院長)
演者: 山下 静也(大阪大学 循環器内科学 総合地域医療学)
- FS-34 AMIR-KAMIR JPINT MEETING in JCS 2015; 抗血栓療法の国際比較を目指して 〈日本語〉
第22会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム2)
座長: 未定
演者: 未定

学会第3日目 4月26日(日) 12:20~13:10

- LS-49 治療抵抗性心不全治療に挑む 〈日本語〉
~従来治療とオートセットCSのベストミックスを考える~
第1会場(大阪国際会議場 5階 大ホール)
座長: 安村 良男(大阪医療センター 循環器内科)
湊口 信也(岐阜大学 循環・呼吸・腎臓病態学)
演者: 坂田 泰史(大阪大学 循環器内科学)
猪又 孝元(北里大学 循環器内科学)
安達 仁(群馬県立心臓血管センター 心臓リハビリテーション科/
東京医科大学茨城医療センター リハビリテーション科)

- LS-50 血糖日内変動と心血管イベント 〈日本語〉
第3会場(大阪国際会議場 8階 801+802)
座長：石原 正治(兵庫医科大学 冠疾患科)
演者：森 豊(東京慈恵会医科大学 糖尿病・代謝・内分泌内科)
- LS-51 急性腎障害の管理 ～虚血ストレスマーカー L-FABPの可能性～ 〈日本語〉
共催セミナー特設会場1(大阪国際会議場 10階 1006+1007)
座長：石光 俊彦(獨協医科大学 循環器・腎臓内科)
演者：野入 英世(東京大学 腎臓・内分泌内科／血液浄化療法部)
- LS-52 高齢化社会における循環器診療と和温療法 〈日本語〉
第4会場(大阪国際会議場 10階 1008)
座長：井上 晃男(獨協医科大学 心臓・血管内科)
演者：鄭 忠和(和温療法研究所／獨協医科大学)
- LS-53 肺高血圧症の最新治療戦略 ―病態に応じた治療法の選択― 〈日本語〉
第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)
座長：瀧原 圭子(大阪大学 保健センター／大阪大学循環器内科学)
演者：木下 秀之(京都大学 地域医療システム学講座)
- LS-54 いま、明らかにされる NOAC の Real Life Evidence 〈日本語〉
第6会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)
座長：下川 宏明(東北大学 循環器内科学)
演者：赤尾 昌治(京都医療センター 循環器内科)
池田 隆徳(東邦大学 循環器内科学)
- LS-55 循環器疾患における SAS 診療の意義 〈日本語〉
第7会場(大阪国際会議場 12階 1202)
座長：福田 恵一(慶應義塾大学 循環器内科)
演者：福本 義弘(久留米大学 心臓・血管内科)
萩原 誠久(東京女子医科大学 循環器内科学)
- LS-56 バイオマーカーを心疾患に活かすには ～高感度トロポニン測定に関する最新事情～ 〈日本語〉
第8会場(大阪国際会議場 12階 グラントック)
座長：清野 精彦(日本医科大学千葉北総病院 循環器内科学)
演者：佐藤 幸人(兵庫県立尼崎病院 循環器内科)
- LS-57 なぜいま家族性高コレステロール血症(FH)なのか？～世界的な FH の潮流～ 〈日本語および英語〉
第9会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳1)
座長：寺本 民生(帝京大学臨床研究センター)
演者：中村 正人(東邦大学医療センター 大橋病院 循環器内科)
Katherine Wilemon(Founder & President, FH foundation)
- LS-58 新薬登場により肺高血圧症治療はどう変化するのか？ ―可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激薬リオシグアトの役割とは― 〈日本語〉
第10会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳2)
座長：中西 宣文(国立循環器病研究センター 研究所 肺高血圧先端医療学研究部)
演者：八尾 厚史(東京大学 保健・健康推進本部)

- LS-59 抗血栓薬による消化管出血 〈日本語〉
第11会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 光琳3)
座長: 青沼 和隆(筑波大学 循環器内科)
演者: 山下 武志(心臓血管研究所)
- LS-60 冠動脈疾患を合併する NVAf 患者における抗血栓療法の実状と今後の展開 〈日本語および英語〉
第12会場(リーガロイヤルホテル大阪 3階 ロイヤルホール)
座長: 小川 久雄(熊本大学 循環器内科学/国立循環器病研究センター)
演者: C. Michael Gibson(Harvard Medical School, USA)
阿古 潤哉(北里大学 循環器内科学)
- LS-61 エビデンスに基づいた2型糖尿病の薬物療法 ～基礎治療薬としてのメトホルミン～ 〈日本語〉
第13会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 桐)
座長: 菊尾 七臣(自治医科大学 循環器内科学)
演者: 住谷 哲(公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 糖尿病・内分泌センター)
- LS-62 心不全における利尿薬治療は今後どうすべきか?
—急性期早期うっ血解除と水利尿薬の役割— 〈日本語〉
第14会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 桂)
座長: 伊藤 宏(秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)
演者: 佐藤 直樹(日本医科大学武蔵小杉病院 内科・循環器内科)
- LS-63 不眠症治療のパラダイムシフト ～循環器内科医が診る睡眠障害～ 〈日本語〉
第15会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 ペリドット)
座長: 大塚 邦明(東京女子医科大学 東医療センター 時間医学老年総合内科)
演者: 塩見 利明(愛知医科大学 睡眠科)
- LS-64 古くて新しい, ニコランジル 〈日本語〉
第16会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 山楽1)
座長: 伊藤 浩(岡山大学 循環器内科学)
演者: 石井 秀樹(名古屋大学 循環器内科学)
梶本 克也(東和病院 循環器内科)
- LS-65 慢性心不全におけるアルドステロン受容体拮抗薬の功罪 〈日本語〉
第17会場(リーガロイヤルホテル大阪 2階 山楽2)
座長: 吉村 道博(東京慈恵会医科大学)
演者: 増山 理(兵庫医科大学 循環器内科学)
- LS-66 心血管疾患予防に向けた糖尿病治療 〈日本語〉
第20会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ホールA)
座長: 室原 豊明(名古屋大学 循環器内科)
演者: 野出 孝一(佐賀大学 循環器内科)
- LS-67 再考! 循環器領域で CT, MRI を使いつくす 〈日本語〉
第21会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター ルーム1)
座長: 島田 健永(大阪市立大学 循環器内科)
演者: 角辻 暁(大阪大学 先進心血管治療学)
平野 雅春(東京医科大学 循環器内科)

- LS-68 糖尿病における血管内皮機能の最近の知見 ―糖尿病合併症との関連― 〈日本語〉
第22会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム2)
座長:北風 政史(国立循環器病研究センター 臨床研究部・心臓血管内科)
演者:東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研究所 再生医科学)
光山 勝慶(熊本大学 生体機能薬理学)
- LS-69 冠動脈インターベンション(PCI)における虚血評価の実際 〈日本語〉
第23会場(グランフロント大阪 北館 B2階 ナレッジキャピタル コングレコンベンション
センター ルーム3)
座長:松本 直也(日本大学病院 循環器内科)
演者:福澤 茂(船橋市立医療センター 循環器科)
- LS-70 The Safety and Efficacy of Cryoballoon Ablation System for AF and Procedure Techniques
〈英語〉
第24会場(グランフロント大阪 北館 タワーC8階 ナレッジキャピタル カンファレンス
ルームC01+02)
座長:奥村 謙(弘前大学 循環呼吸腎臓内科学)
演者:Marc Dubuc(Montreal Heart Institute, Canada)
- LS-71 Usefulness of intracardiac echocardiography technology in EP field 〈英語〉
第25会場(グランフロント大阪 北館 タワーC8階 ナレッジキャピタル カンファレンス
ルームC03+04)
座長:平尾 見三(東京医科歯科大学 不整脈センター)
演者:Niraj Varma(Cleveland Clinic, Cardiac Pacing & Electrophysiology
Department of Cardiovascular Medicine, USA)
- LS-72 我が国における植込型補助人工心臓の更なる可能性 〈日本語〉
共催セミナー特設会場2(グランフロント大阪 北館 タワーC8階 ナレッジキャピタル
カンファレンスルームC05)
座長:澤 芳樹(大阪大学 心臓血管外科学)
演者:絹川弘一郎(東京大学 重症心不全治療開発講座)

26. 機器, 書籍展示

第79回日本循環器学会学術集会 展示会

開催日時: 4月24日(金) 8:30~18:00

4月25日(土) 8:30~18:50

4月26日(日) 8:30~17:00

会場: 大阪国際会議場

3階(イベントホール), 5階(メインホール・ホワイエ), 10階(1003・ホワイエ), 12階(特別
会議場・ホワイエ)

プレレジストレーションのお知らせ

第79回学術集会では、参加登録、教育セッション、プレセミナー、ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーのプレレジストレーションを行います。(国内参加者のみ)

今回より準会員の方々にもプレレジストレーションを行っていただけます。

第79回学術集会ホームページ「プレレジストレーション」ページからご登録ください。

<http://www.jcs2015.jp/prereg.html>

教育セッション、プレセミナー、ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーのみのプレレジストレーションはできません。

✦ 受付期間

参加登録 ▶ 2015年 1月13日[火] 15:00～ 2015年 4月9日[木] 17:00まで

教育セッション ▶ 2015年 1月13日[火] 15:00～ 2015年 4月9日[木] 17:00まで

※参加登録時に合わせてお申し込みください(学術集会本体の参加登録が必須となります)。

**プレセミナー
ランチョンセミナー
ファイアサイドセミナー** ▶ 2015年 1月27日[火] 15:00～ 2015年 4月9日[木] 17:00まで

※学術集会のプレレジストレーション完了後に、上記期間内にてお申し込みいただけます。

✦ 参加登録費

参加区分	参加費(事前)	参加費(当日)	必要な提示物	配布物	備考
日本循環器学会会員	15,000円	20,000円	—	プログラム集 抄録集CD	プログラム集、 抄録CDは事前配布
日本循環器学会準会員	5,000円	7,000円	所定の証明書	プログラム集	プログラム集は 事前配布
非会員	15,000円	20,000円	—	—	—
非会員(コメディカル)	5,000円	7,000円	所定の証明書	—	—
研修医(前期)	当日登録のみ	無料	所定の証明書	プログラム集	—
学部学生(医学部・薬学部・ 工学部等含む)		無料	学生証	プログラム集	—
海外参加者 (日本からの留学生は除く)		15,000円	—	プログラム集 抄録集CD	—
在日留学生		5,000円	所定の証明書	プログラム集 抄録集CD	—

※参加区分「日本循環器学会会員」の参加費 15,000円(当日 20,000円)、
「日本循環器学会準会員」の参加費 5,000円(当日 7,000円)に消費税はかかりません。(不課税)

✦ 「日本循環器学会準会員」、コメディカルの登録

・日本循環器学会準会員、コメディカルの方は所定の証明書の提出が必要です。

登録確認画面、もしくは下記ページよりダウンロードしてください。

<http://www.jcs2015.jp/prereg.html>

研修医（前期）、留学生の登録

- ・ 研修医(前期)、学部学生、海外参加者、留学生は会期当日に受付を行ってください。
- ・ 研修医(前期)、留学生は所定の証明書の提出が必要です。
- ※ 証明書の提出がない場合は「非会員」当日参加費 20,000 円をお支払いいただきますので、予め留意ください。
- ・ 証明書は右記 URL よりダウンロードしてください。 <http://www.jcs2015.jp/prereg.html>

✦ 教育セッション

- ・ 参加費は2,000円です。教育セッションは、2015年4月9日(木) 17:00までお申し込みが可能です。
- ・ お申し込み後の返金はできませんので、登録の際はご注意ください。
- ・ 教育セッションの内容については**右記URL**をご参照下さい。 <http://www.jcs2015.jp/program.html>
- ※ 専門医研修単位登録について、プレレジストレーションを行った場合でも、必ず教育セッション会場入口「単位登録受付」での登録が必要です。会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

✦ プレセミナー、ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナー

- ・ 2015年1月27日(火)15:00～2015年4月9日(木)17:00までにお申し込みください。
- ・ プレレジストレーションをされた方のプレセミナー、ランチョンセミナー、ファイアサイドセミナーのチケットは、ネームカードと同時に発行いたします。

✦ 専門医研修単位登録

- ・ 専門医研修単位登録については、学術集会の会期中に、各単位登録受付にてご登録ください。
- ※ プレレジストレーションを行った場合でも、必ず学術集会展場内「単位登録受付」にてご登録が必要です。会期後の単位登録はできませんので、十分ご注意ください。

✦ プレレジストレーション登録方法と学会当日までの流れ



学術集会HP「プレレジストレーション」にアクセス

<http://www.jcs2015.jp/prereg.html>



登録画面に必要事項を入力



登録内容を確認後、オンラインにて参加費をお支払い(クレジットカード)



IDとしてご登録のE-mailアドレスに「プレレジストレーション完了メール」が到着

★ご案内の登録確認画面より「登録確認書」をダウンロード・印刷、もしくは携帯端末用メールアドレスをご入力ください(QRコードが送信されます)。



(学術集会当日)

学術集会当日は、ご自身でダウンロード・ご印刷いただいた「登録確認書」をお持ちいただくか、ご自身でご入力された携帯端末メールアドレスに配信されたQRコードをご用意ください。

自動発券機(CMTM)より、ネームカード・領収書・教育セッションチケット(お申し込みの方のみ)・プレセミナー・ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーチケット(お申し込みの方のみ)が発行されます。

プレレジストレーション時の注意点

- ◎ プレレジストレーション完了メールの自動配信・その他のご連絡はすべてE-mailで行います。
必ず連絡先として使用されるE-mailアドレスをご入力ください。
- ◎ E-mailアドレスにログインIDを記載いたします。
個人情報登録完了メールにログインIDが記載されますので、ご自身で保管してください。
- ◎ 参加登録後の取り消しは、お受けいたしかねます。
お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので、二重登録にご注意ください。
- ◎ 登録内容の修正・変更は受付期間内であれば、プレレジストレーション画面上にてご自身で修正・変更が可能です。
- ◎ 団体登録は受付いたしません。
- ◎ 領収書は、学術集會会期中に参加証（ネームカード）と併せて発行いたします。
会期終了後は領収書の再発行は行いません。

プレレジストレーションに関するお問い合わせ先

第79回日本循環器学会学術集会 参加登録事務局

〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-13
TEL: 06-6233-2221 (受付時間: 平日10時より17時半まで)
FAX: 06-6233-2556
E-mail: jcs2015pre@congre.co.jp

学術集会問い合わせ先のご案内

第79回日本循環器学会学術集会ホームページ <http://www.jcs2015.jp/> を開設しております。演題応募や学術集会プログラムの確認などにご利用ください。本会ホームページからもリンクしております。

1. 採否通知

2014年12月22日(月)から、採択された演題の登録番号、採択演題名、筆頭演者名をホームページでカテゴリー別に掲示しておりますので、各自ご確認ください。

2. 国内演者の資格

学術集会に演題を提出後、採択された場合、共同研究者を含め、本会の賛助会員以外の会員(定款施行細則第50条)であり、かつ2014年度会費納入者であることが必要です。未入会の方々には筆頭著者を通じてご案内を行っております。入会については、Web上での登録をお願いいたします。なお、入会は、入会申込書の提出と入会金2,000円、および2014年度会費15,000円のお振込みをもって完了します。

ホームページ <http://www.j-circ.or.jp> の「ご入会案内」に入会申込書請求の入力フォームがありますのでご利用ください。

(一社)日本循環器学会事務局
〒100-0011
東京都千代田区内幸町1-1-1
帝国ホテルタワー18F
TEL: 03-5501-0861
FAX: 03-5501-9855
E-mail: admin@j-circ.or.jp

3. 演題取り下げについて

演題の取り消しは、会期初日の2ヶ月前(2015/2/23)までに連絡があった場合に限り受理します。以後(2015/2/24～)については、発表業績として取り扱い、取り消しは致しかねます。

4. その他

第79回学術集会のプログラム・運営などに関するお問い合わせは、運営準備室までE-mail またはFaxにてご連絡ください。

第79回日本循環器学会学術集会 運営準備室
(株式会社コングレ大阪本社)
TEL: 06-6233-2221
FAX: 06-6229-2556
E-mail: jcs2015@congre.co.jp

チーム医療セッション(旧：コメディカルセッション)開催要項

〈チーム医療セッション概要〉

第79回日本循環器学会学術集会では、チーム医療スタッフを対象としたセッションを会期中に行います。チーム医療スタッフが中心となる一般演題(口述・ポスター)や、他学会とジョイントで開催する5つのシンポジウム、そして、専門家による5つの教育セッションがございます。また、コメディカル賞審査講演会(口述)において優秀演題を選定し、学術集会で表彰いたします。

チーム医療スタッフの方々および第79回学術集会に参加されます医師の方々の、多数のご参加をお待ち申し上げます。

参加資格

チーム医療スタッフ(看護師、薬剤師、臨床工学技士、臨床検査技師、理学療法士、診療放射線技師、栄養士、救急救命士、医療ソーシャルワーカー、その他)

※日本循環器学会の正会員・準会員でなくても参加ができます。

参加費

7,000円(所定の証明書の提示が必要です)

※チーム医療セッション以外の第79回日本循環器学会学術集会のセッションにもご参加いただけます。

※医師は20,000円(プレジストレーション申込の場合、15,000円)となります。

日程・会場

日程：2015年4月24日(金)～26日(日)

会場：グランフロント大阪ナレッジキャピタル内(大阪市北区)

〈教育セッション(学術集会1～3日目)〉

1. 成人先天性心疾患を理解する

(学会1日目 4月24日(金)11:10～12:40 第20会場)

座長：岩永 史郎(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

白石 公(国立循環器病研究センター小児循環器部)

演者：

1. 成人先天性心疾患を理解する

赤木 禎治(岡山大学病院循環器疾患集中治療部成人先天性心疾患センター)

2. ファロー四徴症

河田 政明(自治医科大学とちぎこどもセンター心臓血管外科)

3. 基礎から理解する心室中隔欠損

椎名 由美(聖路加国際病院循環器内科)

4. 妊娠に伴った生理的変化を考慮した先天性心疾患患者の妊娠・分娩管理

吉松 淳(国立循環器病研究センター周産期・婦人科部)

2. チーム医療と医療情報の活用術

(学会2日目 4月25日(土)17:20～18:50 第20会場)

座長：坂本 博(東北大学病院診療技術部放射線部門)

中元 雅江(岡崎市民病院)

演者：

1. 当院臨床工学技士が関わる医療情報システムの現状

木下 昌樹(岡崎市民病院)

2. 循環器部門におけるシステムに蓄積されたデータの利活用

原瀬 正敏(豊橋市民病院)

3. 診療放射線技師業務からの医療情報連携

法橋 一生(静岡県立総合病院)

4. 看護師業務からの医療情報連携

山岡 肇(神戸市立医療センター中央市民病院)

3. 末期心不全患者への多職種連携によるケアを考える

(学会3日目 4月26日(日)8:30～10:00 第20会場)

座長：荻野 恵理(日本医科大学付属病院)

横山 広行(国立循環器病研究センター心臓血管系集中治療科／横山内科循環器科医院)

演者：

1. 末期心不全の多職種連携はなぜ有効か

坂田 泰史(大阪大学循環器内科学)

2. 末期心不全患者を支えるプライマリケアチームとリエゾンナースのかかわり方

竹原 歩(兵庫県立大学看護学部生涯広域健康看護講座)

3. 末期心不全患者の外来におけるケアを考える

仲村 直子(神戸市立医療センター中央市民病院看護部)

4. 心不全の在宅医療における多職種連携

吉田 真希(ゆみのハートクリニック)

4. 循環器疾患管理におけるフレイルの意義

(学会3日目 4月26日(日)10:40~12:10 第20会場)

座長:荒井 秀典(国立長寿医療研究センター)

池亀 俊美(聖路加国際病院看護管理室・QIセンター)

演者:

1. 循環器疾患患者の管理におけるフレイルの意義を考える

荒井 秀典(国立長寿医療研究センター)

2. フレイル患者における運動療法

井澤 和夫(神戸大学医学部保健学科)

3. 入院高齢者における栄養管理

関根 里恵(東京大学医学部附属病院病態栄養治療部)

4. フレイル患者の看護支援—慢性心不全患者の生活調整とその意義—

宮脇 郁子(神戸大学保健学科)

5. 慢性心不全患者の呼吸サポート

(学会3日目 4月26日(日)15:30~17:00 第20会場)

座長:安藤 眞一(九州大学病院睡眠時無呼吸センター)

高田 佳史(東京医科大学循環器内科)

演者:

1. 慢性心不全患者に対する円滑なASVの導入と継続支援〜クリニカルパスと練習プログラムの活用〜

石川 幸司(北海道大学病院ICU・救急部ナースセンター)

2. CPAP・Bi-level PAP・ASVの病態の違いによる使い分け

臼井 靖博(東京医科大学循環器内科)

3. CPAP/ASV療法における臨床工学技士の役割

北村 陽子(済生会福岡総合病院臨床工学部)

4. 心不全在宅医療における陽圧呼吸療法の意義

弓野 大(ゆみのハートクリニック)

5. 慢性心不全患者における陽圧呼吸療法の実際

義久 精臣(福島県立医科大学循環器・血液内科学講座)

<シンポジウム(学術集会1~3日目)>

1. 臨床診断に役立つ心エコー新技術

(学会1日目 4月24日(金)8:30~10:00 第25会場)

[日本心エコー図学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]

座長:赤石 誠(北里研究所病院循環器内科)

伊藤 浩(岡山大学大学院循環器内科学)

演者:

1. SHD診療への3D心エコー図の活用

柴山謙太郎(東京ベイ・浦安・市川医療センター)

2. 3D心エコー図法によるデバイスリード起因性三尖弁閉鎖障害の診断

中島 英樹(筑波大学)

3. 慢性血栓性肺高血圧症の心エコー図による右室機能解析について

村田 光繁(慶應義塾大学中央臨床検査部心機能検査室)

4. 駆出率を越えて:心機能評価の新しい潮流

山田 聡(北海道大学循環器病態内科学)

5. 心エコー左室容積自動計測機能の有用性と問題点

吉住 聖子(群馬県立心臓血管センター技術部)

6. 成人先天性心疾患におけるFusion Imagingの臨床応用

渡辺 修久(岡山大学病院超音波診断センター)

2. 心不全の緩和ケア

(学会 1 日目 4月24日(金)14:00~15:30 第25会場)

[日本循環器心身医学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]

座長: 筒井 裕之 (北海道大学循環病態内科学)

萩原 誠久 (東京女子医科大学循環器内科)

演者:

1. 心不全の緩和ケア—緩和ケア医の立場から—

小澤 竹俊 (めぐみ在宅クリニック)

2. 心不全における多職種協働緩和ケアチーム

菅野 康夫 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)

3. 精神科リエゾンチームは心不全の緩和ケアにどうかかわるか

竹原 歩 (兵庫県立大学看護学部生涯広域健康看護講座)

4. 心不全の緩和ケア—慢性心不全看護認定看護師の立場から—

若林 留美 (東京女子医科大学病院看護部)

3. 循環器医療の進歩・変化とリハビリテーション

(学会 2 日目 4月25日(土)8:30~10:00 第25会場)

[日本心臓リハビリテーション学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]

座長: 高橋 哲也 (東京工科大学医療保健学部)

吉田 俊子 (宮城大学看護学部)

演者:

1. 心移植患者の自宅退院までの経過

天尾 理恵 (東京大学医学部附属病院リハビリテーション部)

2. 肺動脈性肺高血圧症患者における治療経過に応じたりハビリテーションの必要性

安藤 可織 (独立行政法人国立病院機構岡山医療センターリハビリテーション科)

3. リハビリテーション病院における回復期心臓リハビリ連携

小和板 仁 (昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)

4. 多疾患保有時代の疾病管理プログラムとしての外来心臓リハビリテーション

小西 治美 (国立循環器病研究センター看護部)

5. 心不全の在宅におけるリハビリテーション

弓野 大 (ゆみのハートクリニック)

4. カテーテルアブレーションに必要な知識を共有する

(学会 2 日目 4月25日(土)11:10~12:40 第25会場)

[日本不整脈学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]

座長: 草野 研吾 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)

野上 昭彦 (筑波大学循環器内科)

演者:

1. 患者・医療者ともに快適な RFCA を目指して~深鎮静下の呼吸状態の維持と横隔膜運動の安定に目標を
おいた看護者—術者の連携~

馬屋原和美 (医療法人博愛会牧港中央病院)

2. カテーテルアブレーション治療における臨床工学技士の関わり~アブレーションチームの展開~

堺 美郎 (済生会熊本病院臨床工学部)

3. カテーテルアブレーションにおけるチーム医療

関口 幸夫 (筑波大学循環器内科)

4. カテーテルアブレーションにおける知識の共有

中嶋 勉 (群馬県立心臓血管センター臨床工学課)

5. カテーテルアブレーション時に必要な基本的知識

永瀬 聡 (岡山大学循環器内科)

6. 心房細動アブレーションにおける横隔神経麻痺を減らすための取り組み

芳森亜希子 (君津中央病院臨床工学科)

7. カテーテルアブレーションに従事できる臨床工学技士の先導的教育システムの構築

村澤 孝秀 (東京大学医療機器管理部)

5. 患者の意志決定を支えるチーム医療

(学会 3 日目 4月26日(日)13:30~15:00 第25会場)

[日本循環器看護学会—日本循環器学会ジョイントシンポジウム]

座長: 遠藤美代子 (東京大学医学部附属病院)

三浦稚郁子（榊原記念病院）

演者：

1. 子どもの最善の利益に基づく意思決定を追求し続ける
青木 雅子（東京女子医科大学看護学部小児看護学）
2. 認知症のある心不全患者への代理意思決定支援と今後の課題
猪之奥香織（淀川キリスト教病院看護課）
3. 意思決定支援～最期まで自分らしく生きるために～
岩本 ゆり（楽患ナース訪問看護ステーション）
4. 心臓移植待機患者・心臓移植後患者の意思決定を支えるチーム医療
遠藤美代子（東京大学医学部附属病院）
5. クリティカルな場面における意思決定支援～患者の権利と治療選択～
松本 幸枝（榊原記念病院）

〈コメディカル賞審査講演会(学術集会1日目)〉

1. 第5回コメディカル賞審査講演会1

(学会1日目 4月24日(金)14:00～15:30 第24会場)

座長：荒井 秀典（国立長寿医療研究センター）

吉田 俊子（宮城大学看護学部）

演者：

1. 家族性高コレステロール血症(FH)合併妊娠患者に対する Management—LDL-Apheresis を中心とした脂質管理—
小川 浩司（国立循環器病研究センター臨床工学部）
2. 心房細動に対する抗凝固療法の有用性と忍容性に及ぼす腎機能の検討～新規経口抗凝固薬とワルファリンとの比較～
長沼美代子（東京女子医科大学病院臨床研究支援センター）
3. 経カテーテル的大動脈弁植込み術対象患者の術前術後の ADL の検討
岩本 菜帆（大阪大学医学部附属病院看護部）
4. ペースメーカー関連術後せん妄のリスク因子の検討
山岡真奈美（喜多医師会病院循環器病棟）
5. 高齢心不全症例に対する認知機能低下と予後の検討
齋藤 洋（亀田総合病院リハビリテーション室）
6. 禁煙成功者における血清 SAA-LDL, AT-LDL レベルの経時的変化の検討
嶋田 清香（国立病院機構京都医療センター展開医療研究部）

2. 第5回コメディカル賞審査講演会2

(学会1日目 4月24日(金)16:30～18:00 第24会場)

座長：山岸 正和（金沢大学臓器機能制御学・循環器内科）

江口 陽一（山形大学医学部附属病院放射線部）

演者：

1. 慢性心不全患者に合併する末梢動脈疾患は無症候性であっても運動耐容能を低下させる
田中 伸弥（北里大学医療系研究科）
2. 肺高血圧症領域における Dual energy CT の有用性
室屋 英人（指宿医療センター放射線科）
3. 術前 CT による TAVI 施行時におけるベーサルリング真側面の角度(perpendicular view)の算出精度～Aortagraphy と比較して～
今井 康之（医療法人社団誠馨会新東京病院）
4. ドプラ心エコー法で求めた肺血管抵抗指標による間質性肺炎例の予後予測
安井 謙司（札幌医科大学附属病院検査部）
5. 左房遅延造影 MRI と造影 MRA の統合画像の作成—心房細動再発症例に対する 2nd ablation の治療支援—
重永 裕（兵庫県立姫路循環器病センター検査放射線部）
6. iFR(瞬時血流予備量比)が Gray zone となる病変の検討—FFR(冠血流予備量比)に基づいた虚血評価をもとに—
倉田 直哉（JA 三重厚生連松阪中央総合病院 CE 部）

〈一般演題 口述セッション(学術集会1～3日目)〉

1. チーム医療

(学会2日目 4月25日(土)14:40～16:10 第25会場)

座長：長谷川純一（鳥取大学薬物治療学）

三浦稚郁子（榊原記念病院看護部）

演者：

1. 心臓移植術後急性期の離床に関連する要因～心臓移植術55症例を振り返って～
志村ともみ（国立循環器病研究センター看護部）
2. 厳格な塩分制限食が心不全患者の血清 Na 値に及ぼす影響
友井 有希（東大阪市立総合病院栄養管理科）
3. 下肢閉塞性動脈硬化症患者の Quality of life—日本語版 EuroQol を用いた評価
遠藤 晶子（国立看護大学校）
4. 心臓血管外科予定手術症例における手術室抜管 2 時間後の ST による飲水評価について
井上 浩明（近森病院言語療法科）
5. 12誘導心電図は心電図モニタ誘導の決定にいかに関与できるか
富永あや子（さいたま市民医療センター臨床工学科）
6. 経皮的な心肺補助施行時の下肢送血に太いシースイントロデューサは適切か
松浦 智敬（地方独立行政法人広島市立安佐市民病院 ME センター）

2. リハビリテーション

（学会 2 日目 4 月25日（土）17：20～18：50 第25会場）

座長：高橋 哲也（東京工科大学医療保険学部）

田嶋 明彦（埼玉県立大学保健医療福祉学部）

1. 植込型左室補助人工心臓装着患者の早期歩行自立には術前右心機能が関与する
鎌田 理之（大阪大学医学部附属病院リハビリテーション部）
2. 人工呼吸器装着を必要とした重症心不全急性期患者への早期モビライゼーション導入による早期離床の検証

久保田夏未（三井記念病院看護部）

3. 心不全患者の入院期間予測因子を探索する前向き調査研究
井本 品太（名古屋大学医学系研究科リハビリテーション療法学専攻博士課程）
4. 大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁留置術後の運動機能の経時的変化
福井 奨悟（慶應義塾大学病院リハビリテーション科）
5. 心臓植込み型デバイスの activity 指標を用いた在宅での運動療法の安全確認
藤原 麻未（藤田保健衛生大学病院 ME 管理室）
6. 心臓手術後患者の術前身体機能や筋断面積は術後歩行獲得日数と関連するか？
大浦 啓輔（福山循環器病院リハビリテーション課）

3. 検査・不整脈

（学会 3 日目 4 月26日（日）10：40～12：10 第25会場）

座長：川尻 剛照（金沢大学循環器内科）

戸出 浩之（群馬県立心臓血管センター技術部）

1. Pulmonary vein isolation; PVI における Radiofrequency VS Cryoballoon 2 群間における患者疼痛の程度調査
梅津 努（筑波大学附属病院看護部）
2. クライオバルーンアブレーションと高周波アブレーションにおける肺静脈隔離範囲の比較
石井 利英（神戸市立医療センター中央市民病院臨床工学技術部）
3. Complex fractionated atrial electrogram アブレーション前後の全心房伝導時間 PA-TDI duration と心房細動再発との関連
前之園隆一（鹿児島大学病院検査部）
4. 安定狭心症患者における心筋虚血診断能の検討〈BR〉—FFR に対する SPECT 並びに心筋 CT パーフュージョン(CTP)との比較—
浅木 康志（愛媛大学医学部附属病院 ME 機器センター）
5. 心臓内幹細胞自家移植療法に伴う心筋ストレイン変化の機能解析
逢坂 大樹（岡山大学心臓血管外科）
6. 左前下行枝領域における post-systolic shortening (PSS) についての検討
高野 智晴（松江赤十字病院）

〈一般演題 ポスターセッション(学術集会 1～3 日目)〉

セッション数：54セッション

ポスター発表 1 日目 ①10：10～11：00 ②15：30～16：20
2 日目 ①10：10～11：00 ②15：30～16：20
3 日目 ①10：00～10：50 ②14：40～15：30

第80回日本循環器学会学術集会 (JCS2016) 開催概要

会期：2016年 3月18日(金)～20日(日)

会長：下川 宏明(東北大学大学院医学系研究科循環器内科学)

会場：仙台国際センター会議棟, 東北大学百周年記念会館川内萩ホール
仙台国際センター展示棟, 仙台市民会館

メインテーマ：日循80年 日本の循環器病学の過去・現在・未来

—東日本大震災復興5周年—

The Past, Present and Future of Cardiovascular Medicine in Japan

—The 5th Anniversary of the Great East Japan Earthquake—

1. 美甘レクチャー

Paul M. Vanhoutte (Univ of Hong Kong, China)

2. 真下記念講演

山本 雅之(東北大学医科学分野)

3. 特別講演

Thomas F. Lüscher (University Hospital Zurich, Switzerland)

Paolo G Camici (Vita Salute University and Scientific Institute San Raffaele, Italy)

Filippo Crea (Catholic University of the Sacred Heart, Italy)

C. Noel Bairey Merz (Cedars-Sinai Heart Institute, USA)

Udo Sechtem (Robert Bosch Krankenhaus, Germany)

John Beltrame (University of Adelaide, Australia)

Peter Ganz (University of California, San Francisco, USA)

Amir Lerman (Mayo Clinic, USA)

Barry Greenberg (University of California, USA)

Juan Carlos Kaski (St. George's University of London, UK)

Sang Hong Baek (The Catholic University of Korea, Seoul St. Mary's Hospital, Korea)

Richard Cohen (Boston University School of Medicine, USA)

Zvonimir S. Katusic (Mayo Clinic, USA)

Virginia Miller (Mayo Clinic, USA)

James K. Liao (University of Chicago, USA)

Donald D. Heistad (University of Iowa, USA)

Frank W. Sellke (Rhode Island Hospital and Alpert Medical School of Brown University, USA)

編集委員長からのメッセージ

Circ J Vol. 79 No. 2 掲載

Editorial Statistics and Best Reviewers Award for 2014

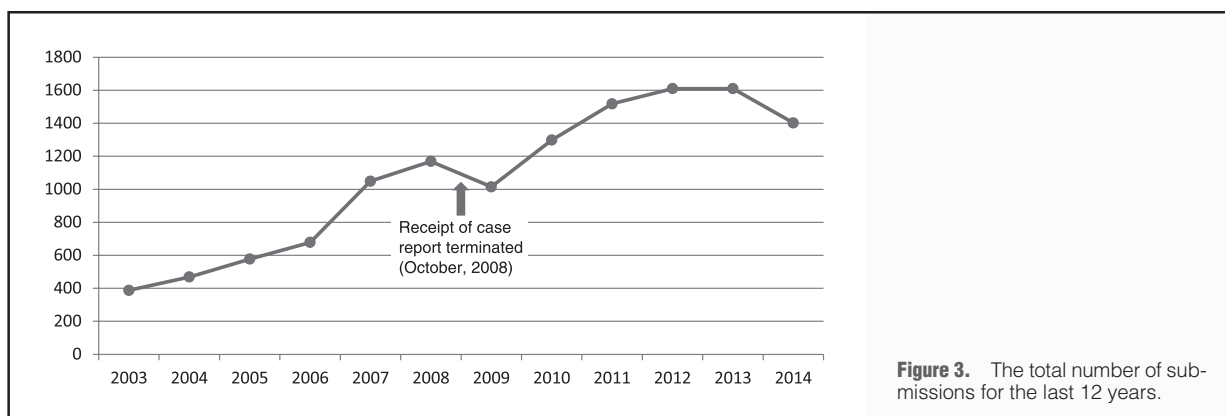
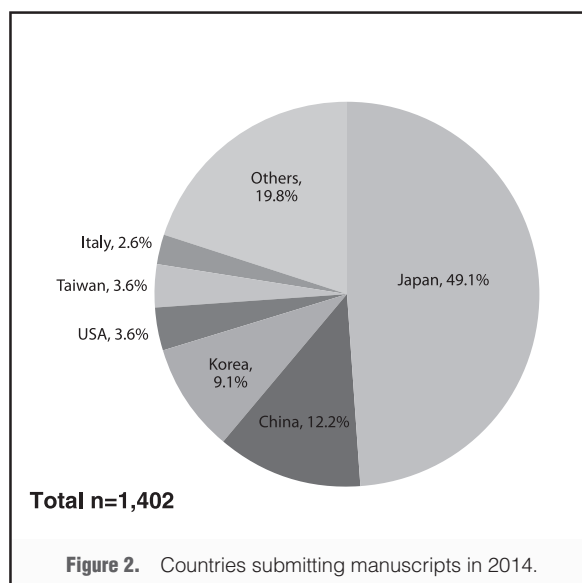
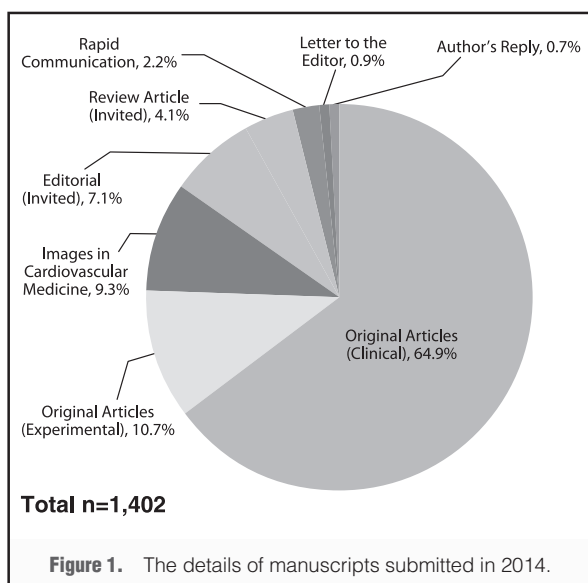
Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the *Circulation Journal*, I am pleased to announce the editorial statistics for 2014, and the recipients of the Best Reviewers Awards for 2014.

1. Editorial statistics for 2014

As shown in **Figure 1**, we received **1,402** manuscripts in 2014, the highest number on record, for publication in the Journal, including 1,060 original papers (910 clinical and 150 experimental), 58 invited review articles, 100 invited editorials, 31 rapid communications, and 130 images in cardiovascular medicine. Approximately half were submitted from Japan, followed by China, Korea, the U.S.A., Taiwan and Italy (**Figure 2**). For the last 12 years, the number of submissions has been steadily increasing even after we terminated publication of case reports in October 2008 and the East Japan Earthquake Disaster (**Figure 3**). The abovementioned 6 countries have remained



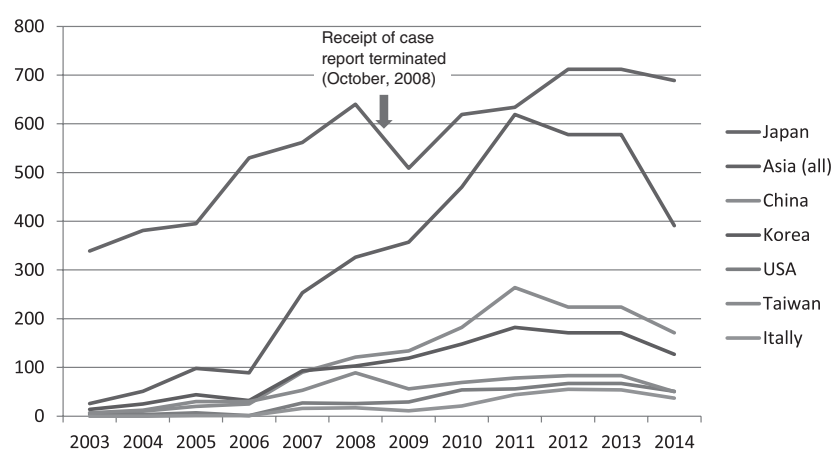


Figure 4. The number of submissions for the last 12 years in top 6 countries. Asia (All): all Asian countries except Japan.

the top 6 countries in terms of paper submissions over that period (**Figure 4**). The acceptance rate for original manuscripts in 2014 was approximately **22.9%**.

2. Best Reviewers Awards for 2014

In 2014, a total of 814 reviewers kindly reviewed the manuscripts submitted. In appreciation of their valuable contributions, we have selected the 20 Best Reviewers of the Year 2014 as follows:



Hiroshi Asanuma, MD
(Kyoto Prefectural University of Medicine, Kyoto)

Number of reviews: 24
RPS: 134.0
Previous awards: 2009, 2010, 2011, 2012, 2013



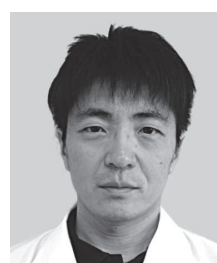
Kyung-Duk Min, MD
(National Cerebral and Cardiovascular Center, Osaka)

Number of reviews: 23
RPS: 125.0
Previous awards: 2013



Akira Fujiki, MD
(Shizuoka Red Cross Hospital, Shizuoka)

Number of reviews: 24
RPS: 122.9
Previous awards: 2009, 2010, 2011, 2012, 2013



Osamu Tsukamoto, MD
(Osaka University Graduate School of Medicine, Osaka)

Number of reviews: 22
RPS: 119.8
Previous awards: 2012, 2013



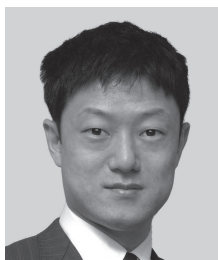
Koichiro Kinugawa, MD
(The University of Tokyo, Tokyo)

Number of reviews: 21
RPS: 114.0
Previous awards: 2013



Shoji Sanada, MD
(Ministry of Health, Labour and Welfare, Government of Japan, Tokyo)

Number of reviews: 17
RPS: 89.6
Previous awards: 2008, 2009, 2010, 2011, 2012, 2013



Kenichi Fujii, MD
(Hyogo College of Medicine,
Hyogo)

Number of reviews: 15
RPS: 87.8



Kazuhiro Yamamoto, MD
(Tottori University, Tottori)

Number of reviews: 13
RPS: 82.8
Previous awards: 2008, 2010,
2011, 2012, 2013



Yutaka Okita, MD
(Kobe University, Hyogo)

Number of reviews: 14
RPS: 77.5



Takashi Koyama, MD
(Akita University, Akita)

Number of reviews: 14
RPS: 76.8



Masaharu Ishihara, MD
(Hyogo College of Medicine,
Hyogo)

Number of reviews: 15
RPS: 71.5
Previous awards: 2009, 2010,
2011, 2013



Shinichi Niwano, MD
(Kitasato University School of
Medicine, Kanagawa)

Number of reviews: 11
RPS: 69.7
Previous awards: 2009, 2010,
2011, 2012, 2013



Kengo Fukushima Kusano, MD
(National Cerebral and
Cardiovascular Center, Osaka)

Number of reviews: 13
RPS: 69.1
Previous awards: 2012



Masamichi Hirose, MD
(Iwate Medical University,
Iwate)

Number of reviews: 12
RPS: 67.2



Takanori Ikeda, MD
(Toho University Faculty of
Medicine, Tokyo)

Number of reviews: 14
RPS: 65.0



Akihiko Nogami, MD
(University of Tsukuba,
Ibaraki)

Number of reviews: 11
RPS: 62.9



Junya Ako, MD
(Kitasato University School of
Medicine, Kanagawa)

Number of reviews: 13
RPS: 61.1



Naohiko Takahashi, MD
(Oita University, Oita)

Number of reviews: 12
RPS: 60.0
Previous awards: 2011, 2012,
2013



Hiroyuki Morita, MD
(The University of Tokyo,
Tokyo)

Number of reviews: 10
RPS: 60.0
Previous awards: 2013



Tetsushi Furukawa, MD
(Tokyo Medical and Dental
University, Tokyo)

Number of reviews: 11
RPS: 59.5
Previous awards: 2009, 2011,
2012, 2013

***The Reviewer Performance Score (RPS)** is determined as follows for reviewers who made at least 6 reviews in 2014 (review time limit, 14 days):

***RPS**=[(Number of reviews completed within 1 week)×2+(number of reviews completed within 2 weeks)×1+(number of reviews completed within 3 weeks)×0.2]×quality of review (average)–(number of declined reviews)+(number of editorial comments published in the Journal)×10.

The review quality of reviewers was evaluated for each manuscript by an Associate Editor who was in charge of the manuscript (range: 1~3) and the average score used.

The above Reviewers will be awarded by the Japanese Circulation Society with a Certificate of Achievement and an honorarium.

In the year ahead in 2015, we expect a steady increase in the number of submissions, as well as an increase in the scientific impact of the Journal.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD
Editor-in-Chief
Circulation Journal
(Released online January 16, 2015)

Circ J Vol. 79 No. 3 掲載

Circulation Journal Awards for the Year 2014

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Dear Colleagues,

On behalf of the Editorial Team of *Circulation Journal*, I am pleased to announce the *Circulation Journal Awards* for the Year 2014.

The aim of these Awards is to recognize papers published in 2014, both clinical and experimental studies, that were highly appreciated by the Editorial Team. The selection process comprises 2 steps. In the first step, from 256 original papers published in the Journal in 2014, our 35 Japanese Associate Editors selected papers with a high scientific level in their respective fields, and in the second step, the 2 Associate Editorial Teams (17 on 1 team and 18 on the other) further evaluated the selected papers in terms of originality, contribution to cardiovascular science, manner of paper preparation, and future possibilities.

In the year of 2014, the following 4 papers have been selected for the *Circulation Journal Awards*.

< First Place in the Clinical Investigation Section >

Histopathological Examination by Lung Biopsy for the Evaluation of Operability and Postoperative Prognosis in Patients With Chronic Thromboembolic Pulmonary Hypertension

Shigeo Yamaki,* Motomi Ando, Yoshihiro Fukumoto, Yoshiro Higuchi, Kan Kaneko, Kay Maeda, Hiroaki Shimokawa

(Japanese Research Institute of Pulmonary Vasculature, Sendai (S.Y., K.M.); Department of Cardiovascular Surgery, Fujita Health University, Nagoya (M.A., Y.H., K.K.); Department of Cardiovascular Medicine (Y.F., H.S.), and Department of Cardiovascular Surgery (K.M.), Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan)

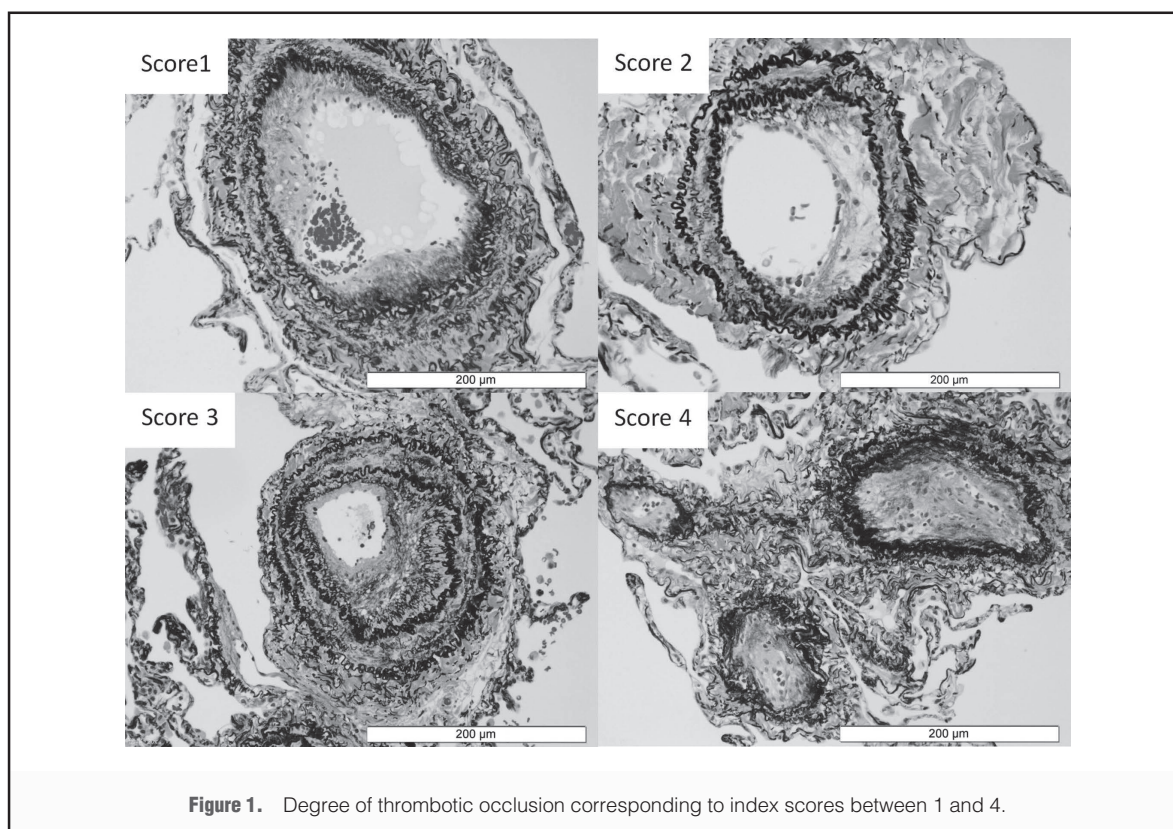
(*Dr. Yamaki deceased on November 28, 2014.)



Background: To evaluate the prognosis after pulmonary thromboendarterectomy (PTE) in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension (CTEPH), a lung biopsy was performed in 34 patients with central CTEPH and in 7 patients with peripheral CTEPH during PTE.

Methods and Results: Postoperative prognosis was classified from A to E based on the postoperative hemodynamic parameters and clinical condition, and was compared with the index of occlusion (IOCTEPH), which indicates the degree of occlusion in the small pulmonary arteries. Criteria of (A–E) were established only for central CTEPH. Category (A) corresponded to an IOCTEPH from 1.0 to 1.4, (B) from 1.5 to 1.7, (C) from 1.8 to 2.0, and (D) from 2.1 to 2.4. One patient with an index of 3.0 was rated as (E). This patient had collateral vessels around the obstructed small pulmonary arteries and died postoperatively. In all 12 patients who underwent PTE after the criteria were established, postoperative hemodynamic parameters and clinical conditions were consistent with the IOCTEPH. One patient with a high degree of medial atrophy in their small pulmonary arteries died after PTE.

Conclusions: These results indicate that a lung biopsy during PTE is useful for prognostication in patients with CTEPH.¹ (*Circ J* 2014; **78**: 476–482)



< Second Place in the Clinical Investigation Section >

Circadian Variation of Rho-Kinase Activity in Circulating Leukocytes of Patients With Vasospastic Angina

Taro Nihei, Jun Takahashi, Ryuji Tsuburaya, Yoshitaka Ito, Takashi Shiroto, Kiyotaka Hao, Yusuke Takagi, Yasuharu Matsumoto, Masaharu Nakayama, Satoshi Miyata, Yasuhiko Sakata, Kenta Ito, Hiroaki Shimokawa

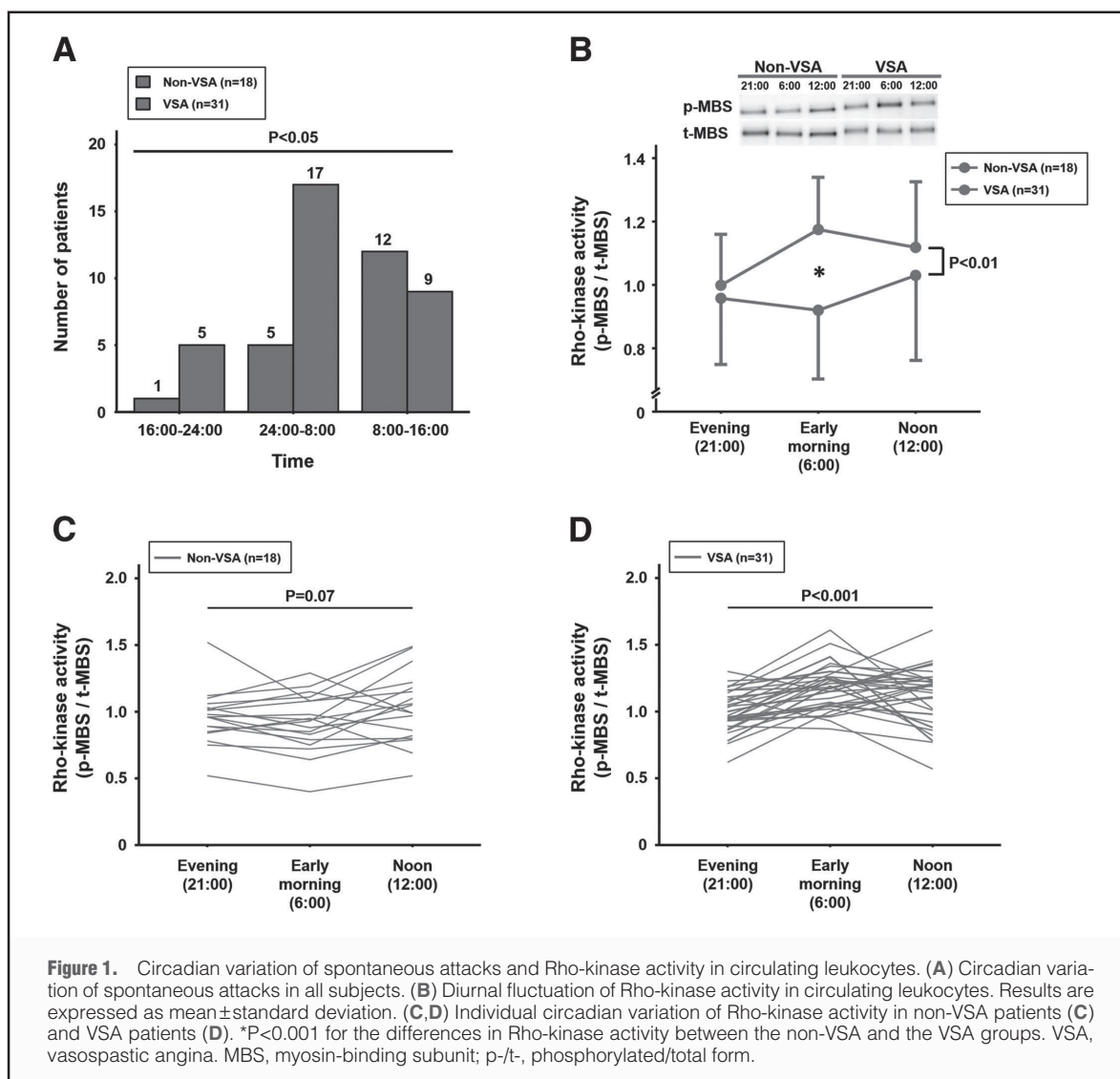
(Department of Cardiovascular Medicine, Tohoku University Graduate School of Medicine, Sendai, Japan)



Background: Vasospastic angina (VSA) is known to exhibit circadian variation with an early morning peak. We examined whether Rho-kinase activity in circulating leukocytes, which is a useful biomarker for disease activity assessment of VSA, exhibits circadian variation in patients with VSA.

Methods and Results: In consecutive 31 VSA patients (M/F 23/8, 57 ± 13 [SD] years) and 18 non-VSA patients (M/F 8/10, 57 ± 14 years), we measured Rho-kinase activity in circulating leukocytes at 6:00, 12:00 and 21:00. We also examined the relationship between the Rho-kinase activity and coronary vasomotor responses during provocation test. Rho-kinase activity was significantly higher in VSA patients than in non-VSA patients at 6:00 (1.17 ± 0.17 vs. 0.92 ± 0.22 , $P < 0.001$), and showed a significant circadian variation with a peak at 6:00 (1.00 ± 0.15 at 21:00, 1.17 ± 0.17 at 6:00 and 1.12 ± 0.22 at 12:00, $P < 0.001$) in VSA patients, whereas no such variation was noted in non-VSA patients. Importantly, Rho-kinase activity at spasm provocation test was significantly correlated with basal coronary tone defined by vasodilating responses to intracoronary nitrate ($r = 0.40$, $P < 0.05$) and coronary vasoconstricting responses to acetylcholine ($r = 0.44$, $P < 0.05$) in VSA patients. Furthermore, their Rho-kinase activity at 6:00 was positively correlated with nocturnal parasympathetic activity as evaluated by heart rate variability in Holter monitoring ($r = 0.48$, $P < 0.05$).

Conclusions: Rho-kinase activity exhibits distinct circadian variation associated with alterations in coronary vasomotor responses and autonomic activity in VSA patients.² (*Circ J* 2014; **78**: 1183–1190)



< First Place in the Experimental Investigation Section >

Microtubule Disorganization Affects the Mitochondrial Permeability Transition Pore in Cardiac Myocytes

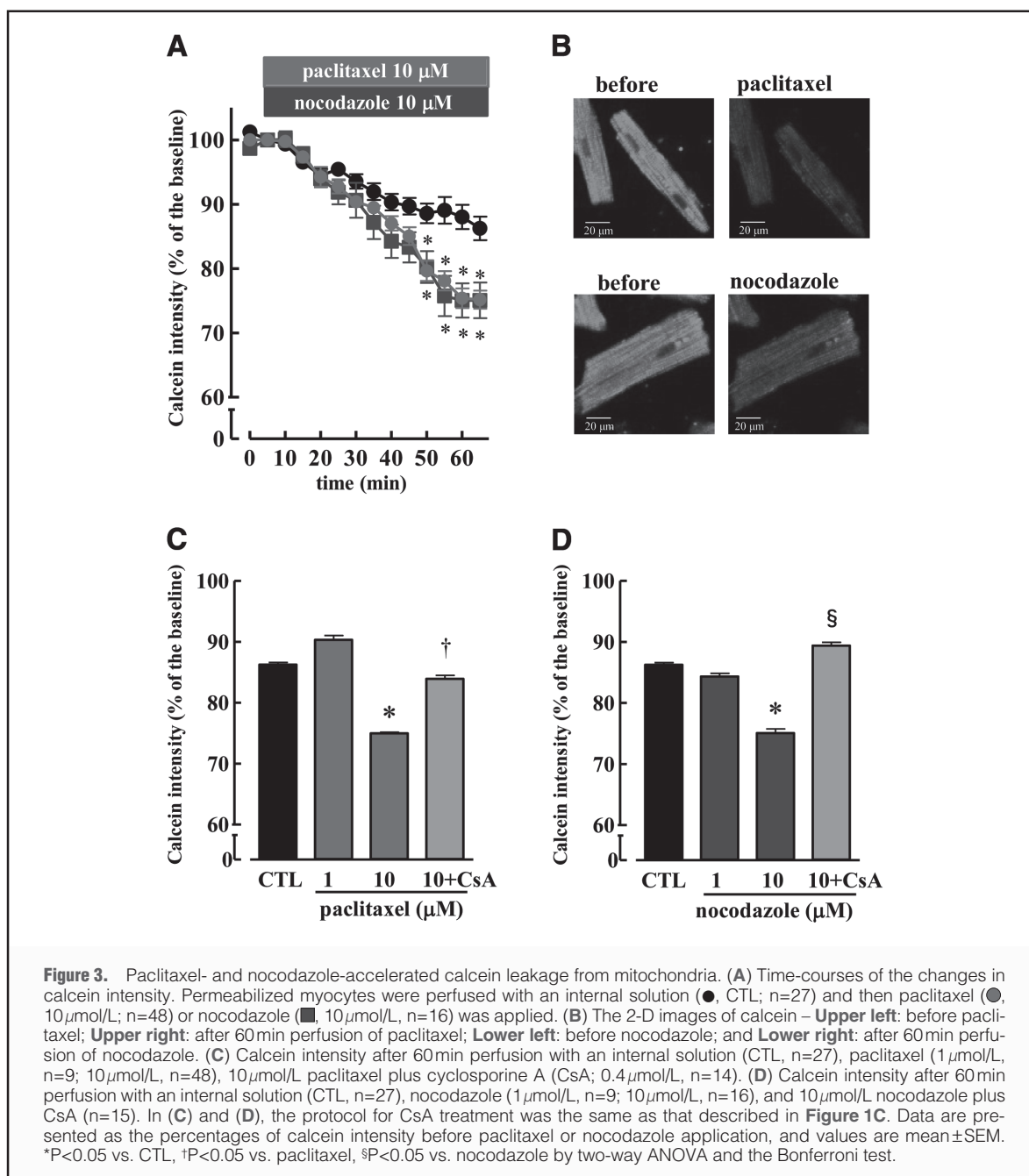
Azumi Kumazawa, Hideki Katoh, Daishi Nonaka, Tomoyuki Watanabe, Masao Saotome, Tsuyoshi Urushida, Hiroshi Satoh, Hideharu Hayashi

(Division of Cardiology, Internal Medicine III, Hamamatsu University School of Medicine, Hamamatsu, Japan)



Background: Microtubule (MT) disorganization is related to cardiac disorders. To elucidate the mechanism by which disorganization of the MT network deteriorates cardiac function, the relationship between MT disorganization and mitochondrial permeability transition pore (mPTP) in cardiac myocytes was investigated.

Methods and Results: The effects of MT stabilization (by paclitaxel) and MT disruption (by nocodazole) on mitochondrial membrane potential ($\Delta\psi_m$) and the opening of mPTP were measured in permeabilized Sprague-Dawley rat myocytes.



Both paclitaxel and nocodazole depolarized $\Delta\Psi_m$ and opened mPTP. When isolated mitochondria were exposed to paclitaxel or nocodazole, there were no changes in $\Delta\Psi_m$. The effects of paclitaxel or nocodazole on $\Delta\Psi_m$ depolarization and mPTP were inhibited by cyclosporin A. Treatment of myocytes with 0Ca+BAPTA or inhibition of sarcoplasmic reticulum (SR) Ca^{2+} uptake by thapsigargin prevented the effect of paclitaxel on mPTP, but not that of nocodazole. Inhibition of the mitochondrial Ca^{2+} uniporter by Ru360 did not alter the effect of paclitaxel on mPTP. Paclitaxel reduced the expression of the mitochondrial fusion protein, mitofusin-2, and induced mitochondrial fragmentation.

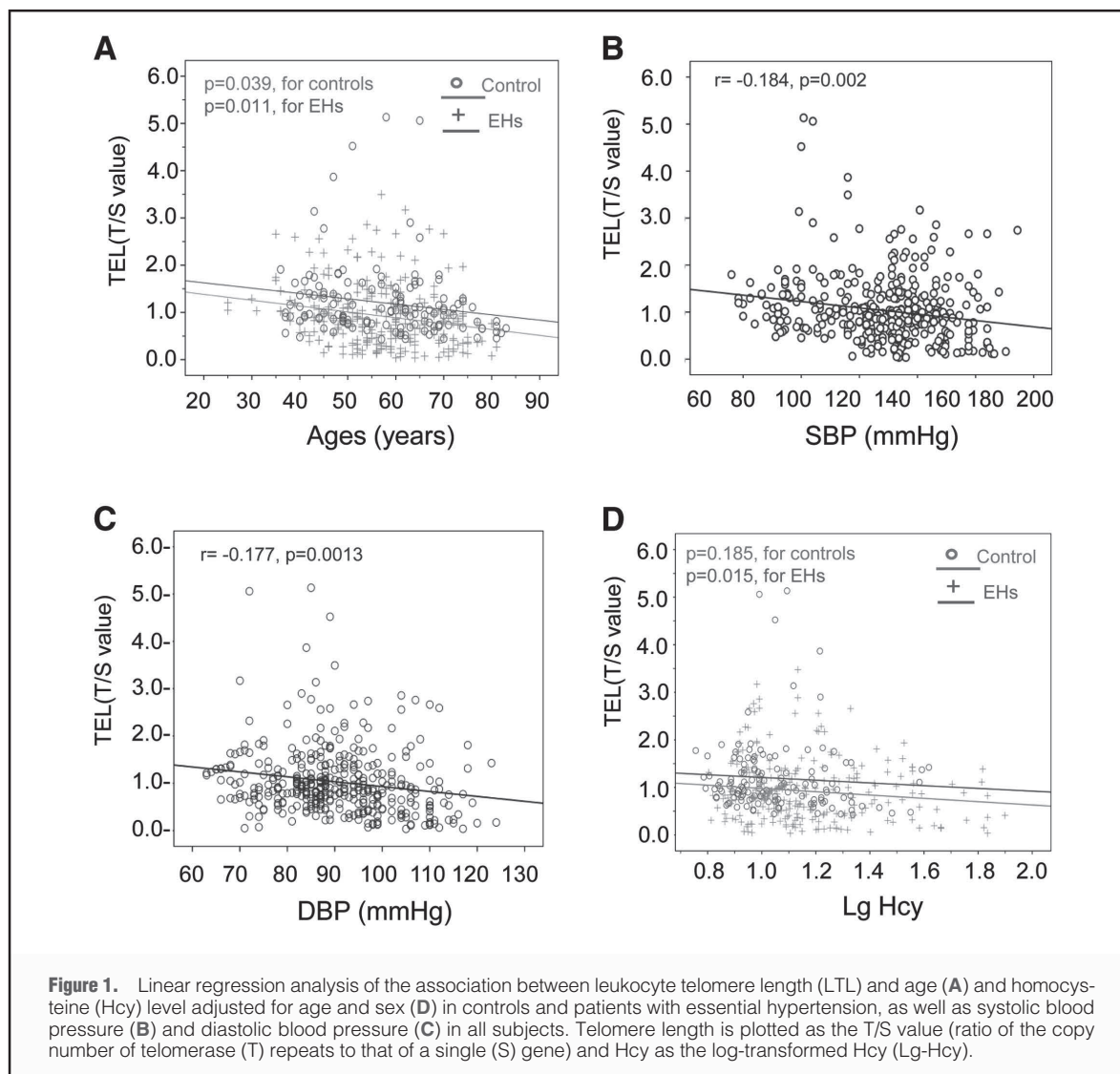
Conclusions: Disruption of the MT network by nocodazole might destroy the MT-mitochondria connection and alter mitochondrial function. MT disorganization by paclitaxel could regulate mPTP through the outer mitochondrial membrane complex and the Ca^{2+} -sensitive signaling pathway, which also interacts with the mitochondrial fusion protein, mitofusin-2.³ (*Circ J* 2014; **78**: 1206–1215)

< First Place in the Experimental Investigation Section >

DNA Methylation of Human Telomerase Reverse Transcriptase Associated With Leukocyte Telomere Length Shortening in Hyperhomocysteinemia-Type Hypertension in Humans and in a Rat Model

Dong-hong Zhang, Xue-mei Wen, Lin Zhang, Wei Cui

(Department of Clinical Laboratory, Peking Union Medical College Hospital and Peking Union Medical College, Beijing, China)



Background: Elevated homocysteine (Hcy) levels might play a role in the development of essential hypertension (EH). Telomere dynamics provide valuable insight into the pathogenesis of age-related diseases. The contribution of Hcy to leukocyte telomere length (LTL) shortening in EH and the underlying mechanism was examined.

Methods and Results: LTL (ratio of the copy number of telomere [T] repeats to that of a single [S] gene, T/S ratio) was inversely associated with age in patients with EH (n=258) and healthy controls (n=137), but significantly decreased

with the Hcy level only in patients with hypertension after adjustment for age and sex. Age, hypertension and levels of Hcy and low-density lipoprotein combined contributed to LTL shortening; an increased serum folate level could reverse the Hcy effect seen on multivariate regression analysis. In addition, qPCR and methylation-specific PCR assay revealed that LTL shortening and mRNA expression and the methylation ratio of human telomerase reverse transcriptase (hTERT) were lower in patients with EH than in controls, and gradually decreased with increasing Hcy level, but not with blood pressure, in EH patients ($P_{\text{trend}} < 0.0001$, 0.004 and 0.012, respectively). Furthermore, Hyperhomocysteinemia, but not hypertension, promoted telomerase reverse transcriptase DNA hypomethylation and reduced mRNA levels, which contributed to shortened LTL in the hypertension rat model.

Conclusions: Elevated Hcy but not hypertension was related to hTERT DNA hypomethylation and reduced mRNA level, thus contributing to the shortening of LTL hypertension.⁴ (*Circ J* 2014; **78**: 1915–1923)

Awards will be presented to the 4 research groups during the 79th Annual Scientific Meeting of the Japanese Circulation Society, and will also be announced on the Society website. We look forward to receiving manuscripts with high scientific impact for publication in *Circulation Journal* in 2015.

Hiroaki Shimokawa, MD, PhD

Editor-in-Chief

Circulation Journal

(Released online February 9, 2015)

References:

1. Yamaki S, Ando M, Fukumoto Y, Higuchi Y, Kaneko K, Maeda K, et al. Histopathological examination by lung biopsy for the evaluation of operability and postoperative prognosis in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension. *Circ J* 2014; **78**: 476–482.
2. Nihei T, Takahashi J, Tsuburaya R, Ito Y, Shioto T, Hao K, et al. Circadian variation of Rho-kinase activity in circulating leukocytes of patients with vasospastic angina. *Circ J* 2014; **78**: 1183–1190.
3. Kumazawa A, Katoh H, Nonaka D, Watanabe T, Saotome M, Urushida T, et al. Microtubule disorganization affects the mitochondrial permeability transition pore in cardiac myocytes. *Circ J* 2014; **78**: 1206–1215.
4. Zhang DH, Wen XM, Zhang L, Cui W. DNA methylation of human telomerase reverse transcriptase associated with leukocyte telomere length shortening in hyperhomocysteinemia-type hypertension in humans and in a rat model. *Circ J* 2014; **78**: 1915–1923.

循環器専門医制度

専門医制度委員会

第79回日本循環器学会学術集会の研修単位について

1. 単位加算年度について

2015年4月24～26日に開催される第79回日本循環器学会学術集会の研修単位(必修研修単位)は2014年度の研修単位としてのみ加算されます。

(2013年3月14日理事会承認)

●JCS2015 — 第79回日本循環器学会学術集会

会 期：2015年4月24日(金)～26日(日)

専門医単位：2014年度単位として加算

※2015年度単位にはなりません。

●JCS2016 — 第80回日本循環器学会学術集会

会 期：2016年3月18日(金)～20日(日)

専門医単位：2015年度単位として加算

〈2015年度専門医認定更新対象の先生へ〉

2015年度専門医認定更新のお手続きにあたり、第79回日本循環器学会学術集会で取得される単位も更新に必要な研修単位として認められます。

但し、その他のお手続きにつきましては、各受付期間中に必ずお済ませ下さい。

その他のお手続きの内容は、本誌内「専門医認定更新の手続きについて」のページでご確認ください。

2. 循環器専門医資格更新に必要な研修単位の登録

《受付日時・各単位数》

	学術集会	教育セッション	医療安全・医療倫理に関する講演会
単位数	10単位	5単位	3単位
専門医研修単位登録受付場所	コングレコンベンションセンター ホールB・C 大阪国際会議場 5階メインホール ホワイエ	堂島リバー フォーラム1階ロビー	堂島リバー フォーラム1階ロビー
第1日目 4月24日(金)	7:00～18:00	7:30～12:00	—
第2日目 4月25日(土)	7:00～18:50	7:30～10:00	—
第3日目 4月26日(日)	7:00～17:00	12:30～15:00	9:20～11:35

※研修単位の登録は学術集会会期中、指定の時間内に各研修単位登録受付において「循環器専門医カード」を提示する事により、単位を登録する方式です。

※会期中に登録を忘れた場合、会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付いた

しません。

※単位登録お手続きの際お渡しする「単位登録控」はご登録の証明となりますので、次回更新まで大切に保管してください。

※ご本人による登録のみが認められます。虚偽による登録が判明した場合には、専門医制度規則第10条により専門医資格の取消となりますのであらかじめご了承ください。

※65歳以上の単位取得免除制度は2008年3月31日をもって廃止されています。更新を希望される場合は年齢にかかわらず単位登録を行ってください。

学術集会

- 研修単位の登録は「専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。
- 研修単位は、参加日数に関わらず10単位です。（受付は2ヵ所ありますが、いずれかでご登録ください）

教育セッション

- 研修単位の登録は「教育セッション専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。
- 研修単位は、参加日数に関わらず5単位です。

医療安全・医療倫理に関する講演会

- 第79回学術集会では、必修研修対象の医療安全・医療倫理に関する講演会として「第14回医療安全・医療倫理に関する講演会(医療過誤の現状と対策)」に引き続き「医療倫理に関する講演会(研究倫理と研究指導のあり方)」が開催されます。
- 「第14回医療安全・医療倫理に関する講演会(医療過誤の現状と対策)」, 「医療倫理に関する講演会(研究倫理と研究指導のあり方)」の単位登録は、上記表内の受付時間内に登録いただくことで、3単位の医療安全・医療倫理に関する研修単位となります。
- 研修単位の登録は「医療安全・医療倫理に関する講演会専門医研修単位登録受付」（上記表内に記載）にて行ってください。

学術集会・地方会での専門医研修単位登録について

- 学術集会・地方会での更新に必要な研修単位の取得方法は「専門医カード」または「単位登録票」によるものです。
- 学術集会・地方会当日，会場の各専門医研修単位登録受付にて先生ご自身でのご登録のお手続きが必要です。
- なお，会期中に登録を忘れた場合，会期後にプログラム・参加証等の他書類で研修単位を申告されても受付致しません。

2015年度 日本循環器学会認定循環器専門医資格認定審査について

I. 審査方法

書類審査及び筆記試験(書類審査合格者のみ筆記試験の受験資格を有する)

II. 受験資格

1. 次の5項を充足していること.

- 1) 日本国の医師免許証を有し、医師としての人格及び見識を備えていること.
- 2) 受験年度の4月1日現在、認定内科医／総合内科専門医／外科学会認定登録医／外科専門医／小児科専門医、いずれかの資格を取得していること.
- 3) 本学会員で、通算して6年以上の会員歴を有すること(※1).
- 4) 医師免許取得後、専門医試験日前日をもって満6年以上の臨床研修歴を有すること(※2). 6年のうち3年以上は本学会指定の研修施設で研修していること.
2004年度(平成16年度)以降に医師免許を取得したものは、基本領域資格取得後、専門医試験日前日をもって満3年以上本学会指定の研修施設で研修していること(※3).
- 5) 「AHA ACLS プロバイダーコース」「AHA ACLS-EP コース」「AHA ACLS インストラクターコース」「AHA ACLS-EP インストラクターコース」のいずれかを受講し、受験年度の4月1日現在有効な認定を受けていること. また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダーコース」「AHA PALS インストラクターコース」も同等資格として認める.

2. 審査料および年会費を2015年6月末までに完納していること(※4).

3. 喫煙が心血管病の危険因子であることを認識し、自ら禁煙し且つ禁煙の啓発に努めること.

4. 試験の合格後、専門医名簿への公開に同意すること.

※1 2015年4月1日現在6年目で可. 2011年度以降の入会者は受験できません.

※2 2003年度以前に医師免許を取得した方は2年間のスーパーローテーションを含む.

※3 2012年9月以降の認定内科医資格取得者は満3年以上の研修歴が満たないため、今回受験できません.

※4 払込用紙は4月下旬に送付の予定です.

III. 申請方法

以下の書類を事務局まで郵送してください. ①～⑤はWEBを介して作成し、印刷して提出してください. ⑥はWEB上よりダウンロードして必要事項を記入して提出してください. ⑦～⑧はコピーを提出してください.

(①～⑧まで全ての書類を同封してお送りください)

- ① 循環器専門医資格認定審査申請書
- ② 診療実績表(A)受持入院患者一覧表
- ③ 診療実績表(B)研修記録
- ④ 診療実績表(C)手術所見, (D)外科手術記録, (E)剖検記録のいずれか
- ⑤ 研修(研修関連)施設在籍証明書
- ⑥ 循環器専門医研修カリキュラム達成度評価表
- ⑦ 基本領域の資格証書のコピー
- ⑧ 「AHA ACLS プロバイダー」「AHA ACLS-EP プロバイダー」「AHA ACLS インストラクター」「AHA ACLS-EP インストラクター」、また小児科系に限り「AHA PALS プロバイダー」「AHA PALS インストラクター」いずれかのカードのコピー

Ⅳ. 日 程

日 程	内 容
1 月末～ 3 月31日	受験申請・申請書類作成期間(※ 1) <u>この期間以後の新規受験申請は受付不可</u>
4 月 1 日～ 4 月10日 消印有効	申請書類提出期間(※ 2)
5 月上旬	審査料払込用紙送付(※ 3)
5 月～ 7 月中旬	申請書類審査期間
7 月下旬	書類審査結果通知(※ 4)
8 月23日	筆記試験施行(※ 5) 東京ファッションタウンビル, 梅田スカイビル
10月下旬	合否通知

- ※ 1 受験者が WEB を介して受験申請・申請書類を作成する期間.
- ※ 2 受験者が申請書類を事務局へ送付する期間.
この期間以後に到着した書類は一切受け付け致しません.
- ※ 3 事務局から審査料払込用紙を送付します.
- ※ 4 書類審査不合格の場合は, 責任者にも判定理由を通知します.
- ※ 5 試験練習問題は学会ホームページ(一般公開)でご確認頂けます.

Ⅴ. 認定について

- 試験の合格後, 専門医認定申請の手続きをご案内致します.
- 認定料は30,000円です.

循環器専門医資格認定試験およびその申請書等において不正が判明した場合は専門医制度規則により厳格な処分が科せられます.

専門医認定更新の手続きについて

認定 4 年目 8 月下旬 「単位取得状況通知書」のお届け

認定 5 年目 10 月下旬 「循環器専門医認定更新のご案内」のお届け

認定更新に必要な条件は以下の通りです。

- 1 「更新」の意思表示をしていること
- 2 基本領域の資格を取得していること
- 3 更新に必要な単位を取得していること
(更新に必要な単位数は所定単位表をご確認ください。)
- 4 更新年度までの年会費を納入していること
- 5 認定更新料を納入していること

これらの条件を全て満たしていない場合は、資格を更新する事ができません。

2 月上旬までに更新料をお振込み頂いた先生へは 3 月中旬に証書を発送予定です。

以降は順次発送となります。

◆認定更新の条件・手続きの詳細については次頁をご参照ください。

循環器専門医認定更新のご案内

2015年4月1日に循環器専門医資格認定更新となる循環器専門医へ、2014年10月下旬に「循環器専門医認定更新のご案内」を郵送しております。

お手数ですが、以下の手順に沿ってご対応をお願いします。

認定更新の条件および手続き

	更新条件	手 続 き	対応期日
1	「更新」の意思表示※	「認定更新 Web 申請」画面からご申請ください	
2	基本領域の資格を取得していること (2015年4月1日現在有効な資格であること) 〈基本領域資格〉 ・内科系 認定内科医, 総合内科専門医 ・小児科系 小児科専門医 ・外科系 外科専門医, 外科認定登録医	・「認定更新 Web 申請」画面の URL は本紙に記載しています。 また、認定更新 Web 申請用 ID・PW は郵送書類に記載しています。 ・「認定更新申請 Web」画面に『専門医更新 Web 申請の手引き』を掲載しています。確認しながら手続きを行ってください。	2014年11月20日(木)中 ※11/20までに、更新に必要な単位を取得されていない場合も先にこちらのお手続きをお済ませ下さい。
3	更新に必要な単位の取得 〈必要単位数〉 次頁の所定単位表をご参照ください。 なお、所定単位表の別表Ⅰ～Ⅵは学会ホームページ内(循環器専門医制度→規定、規則)に掲載しております。	・9月末までの単位取得状況を郵送書類でご確認頂けます。 10月以降は、学会ホームページ(循環器専門医制度→「専門医単位照会」)よりご確認ください。 ・更新に必要な単位の不足分を「自己申告」で取得される場合は「認定更新 Web 申請」画面からご申請頂けます。	2015年3月31日(火)中 第79回学術集会以外の申請期日 ※第79回学術集会(2015/4/24～26)は、2015年度更新の単位対象として特別に認められています。
4	更新年度(2014年度)までの年会費の納入	・納入状況は「認定更新 Web 申請」画面でご確認頂けます。 ・未納のため、振替用紙が必要な場合は下記【お問合せ先】E-mail までご請求ください。	2015年3月31日(火)中
5	認定更新料の納入	条件1～4を満たされた先生から更新料振替用紙を順次発送させて頂きます。 郵便局よりお振り込みください。	振替用紙送付時にご案内します。

※辞退する場合も「認定更新 Web 申請」画面から辞退申請の手続きをしてください。

認定更新 WEB 申請 URL : http://www.j-circ.or.jp/information/senmoni/web_shinsei.htm

その他

- ・認定期間終了時まで更新条件を充足していない場合、専門医資格は喪失となります。
- ・証書発送は、上記の更新条件を充足した方から、順次発送を致します。(3月中旬以降予定)
- ・更新後の認定期間は2015年4月1日～2020年3月31日となります。

【お問合せ先】

一般社団法人 日本循環器学会 事務局 専門医制度委員会担当

E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

TEL: 03-5501-0863 FAX: 03-5501-9855

※WEB 申請が難しい場合は、以下に必要な事項をご記入の上、FAX にて本用紙を事務局まで至急送付してください。必要書類・手続き方法を送付致します。

お名前： _____ (専門医 NO. _____)

ご住所：〒 _____ (TEL： _____)

循環器専門医認定更新
所 定 単 位 表

一般社団法人 日本循環器学会

以下の方法にて5年間に**必修研修単位を含む50単位**を取得することにより、循環器専門医の認定更新を行う。

登録方法	対 象 者	必修	単位加算対象	単 位 数
専 門 医 カ ー ド 単 位 登 録 票	参 加 者	★	日本循環器学会 学術集会	10
		★	〃 教育セッション	5
		☆	〃 医療安全・医療倫理に関する講演会※1	2
		★	日本循環器学会 地方会	5
		★	〃 地方会教育セッション	3
事 務 局 登 録	筆頭著者		「Circ J」掲載論文(CL・EX・RC・ICMのみ)	10
	参 画 者		本会が推奨する臨床研究プロジェクト※2	2～4
			本会が実施するプログラム	◎
	自己研修		本会が実施する教育プログラム CD-ROM/DVD/ビデオ※3	3
			本会が実施する教育研修 e-ラーニング※4	1
自 己 申 告	参 加 者		循環器関連学会 年次学術集会(別表Ⅰ)	3
			関連学会 年次学術集会(別表Ⅱ)	1
			本学指定国内学術集会・学術講演会(別表Ⅲ-1)	1
			本学指定国外学術集会・学術講演会(別表Ⅲ-2)	2
			日本医学会総会※5	5
			WCC・AHA・ACC・APCC※6・ESC	2
			その他の海外循環器関連学会集会(別表Ⅳ)	1
	筆 頭 著 者		本会指定の循環器関連学会学術誌 掲載論文(英文)(別表Ⅴ)	5
			〃 (和文)(〃)	3
			本会指定以外の循環器関連学術誌 掲載論文(英文)(別表Ⅵ)	3
			〃 (和文)(〃)	1
	留学者		留学	1×月数

《単位登録方法について》

専門医カード：学会当日会場において専門医カードを持参・提示することにより単位を取得する。

単 位 登 録 票：学会当日会場において、単位登録票に記入し提出することにより単位を取得する。

事 務 局 登 録：上記該当者は自動的に単位が加算される。

自 己 申 告：単位不足の場合、自己申告期間(認定5年目)に所定の自己申告書にて不足単位を申告する。但し、留学・研究プロジェクトについては『認定更新に関する規程』参照。

- ※1 印の医療安全・医療倫理に関する研修については、ホームページ上での視聴研修あるいは地方会でのDVDセッションでも可。ただし、同じ講演内容については、重複して単位は加算されない。
- ※2 詳細については「大規模臨床試験プロジェクト」単位付与規程に基づき専門医制度委員会で決定する。
- ※3 印については発売から約2年間のみが単位付与対象となる。各視聴教材に同封の単位申請ハガキに記載されている単位申請有効期限を確認すること。
- ※4 視聴と設問正解を以って単位付与とする。
ただし、認定期間5年間で最大15単位。同じ内容については、重複して単位は加算されない。
- ※5 東北地方太平洋沖地震を受けて中止となった第28回日本医学会総会についても研修単位の対象とする。自己申告の際は参加予定だったことが公的に証明できる書類の提出が必要。
- ※6 印のAPCCについては2009年開催(京都)に限り5単位とする。その他の開催については通常通り2単位。

◎印の単位数は委員会判断とする。

★印については必修研修とし、認定期間内に30単位を必ず取得のこと。★内での組み合わせは自由。

☆印については必修研修とし、認定期間内に最低1回(2単位)は受講すること。

専門医認定更新研修の必修化について

専門医制度委員会、理事会、2009年3月20日の評議員会の審議を経て循環器専門医認定更新の際に所定の研修が必修となりました。変更点は下記のとおりです。

専門医認定更新に必要な研修単位(50単位)のうち、必修研修の単位配分は下記のとおりとなります。認定更新には下記の必修研修単位を含む合計50単位が必要となります。

【必修研修と単位数】

① 最新医療の知識習得に関する研修……30単位

日本循環器学会主催の学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含んでもよい)への参加にて単位を取得してください。

② 医療安全・医療倫理に関する研修……2単位

学術集会および地方会(※1)開催時の「医療安全・医療倫理に関する講演会」への参加あるいはインターネット(※2)での視聴研修プログラムによる研修で単位を取得してください。

※1 各地方会での開催につきましてはDVDセッションとなり同じ講演を既に聴講されている場合には単位は重複して加算されません。

開催状況につきましては各地方会により異なります。事前に必ずご確認ください。

※2 インターネットでの視聴研修につきましては、下記からご覧いただけます。視聴にはID(会員番号)とパスワードが必要です。パスワードをお忘れの場合は下記ホームページから再発行可能です。

日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp>)



循環器専門医制度



〔専門医専用〕医療安全 Web 研修

【必修研修単位の取得期間】

現在の認定期間	必修研修単位の取得期間
2010/4/1～2015/3/31	2010/4/1～2015/3/31 (※)
2011/4/1～2016/3/31	2011/4/1～2016/3/31
2012/4/1～2017/3/31	2012/4/1～2017/3/31
2013/4/1～2018/3/31	2013/4/1～2018/3/31
2014/4/1～2019/3/31	2014/4/1～2019/3/31

※但し、第79回日本循環器学会学術集会(2015/4/24～26)は2015年度更新の必修研修単位の対象となります。

【留学による特別措置】

※1)2)については、留学期間が連続して10ヶ月以上の者を対象とする。

1) 留学期間中の海外学会参加研修単位について

留学により、日本循環器学会主催の学術集会・地方会に参加できなかった場合は、その留学期間中に開催された海外学会(WCC, AHA, ACC, APSC, ESC)への参加を、最新医療の知識習得に関する研修を行ったとして必修研修単位15単位を付与します。ただし、上記5学会の内1年間に複数参加しても、1年度につき1回分の研修単位のみしか認められません。

例) 2012年度(2012/4/1~2013/3/31)にAHAとACCに参加した場合は、どちらか一方の参加のみ「最新医療の知識習得に関する研修」15単位として認める。

申請方法は帰国後、2)に必要な留学単位申請書および在籍証明書に上記の海外学会参加証(ネームカード)コピーを同封してください。抄録集のコピーは不可。

2) 留学期間の研修単位について

留学単位は必修研修以外の区分として現状通り1ヶ月1単位を加算します。

※帰国後、単位申請書および在籍証明書のコピーを提出すること。

3) 認定更新日経過の場合について

更新日(各年度4月1日)を超えて留学中の場合は、現状通り取得単位に関わらず、所定の更新手続きを行えば更新することができます。

循環器専門医認定更新の必修研修および単位につきましてご質問などございましたら下記連絡先までお問合せください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

「循環器専門医カード」再発行のご案内

「循環器専門医研修単位登録」は、早くて便利な「循環器専門医カード」による登録をお願いします。「循環器専門医カード」は、本学会学術集会・地方会(いずれも教育セッションを含む)・医療安全・医療倫理に関する講演会の単位登録手続きにご利用いただけます。

再発行は下記スケジュールで受け付けております。学術集会・地方会に向けてご準備ください。

●再発行時期(年3回)

2月下旬発行……12月末迄に申請された方には、年次学術集会までに発行

5月上旬発行……3月末迄に申請された方には、春期の地方会までに発行

9月上旬発行……7月末迄に申請された方には、秋期の地方会までに発行

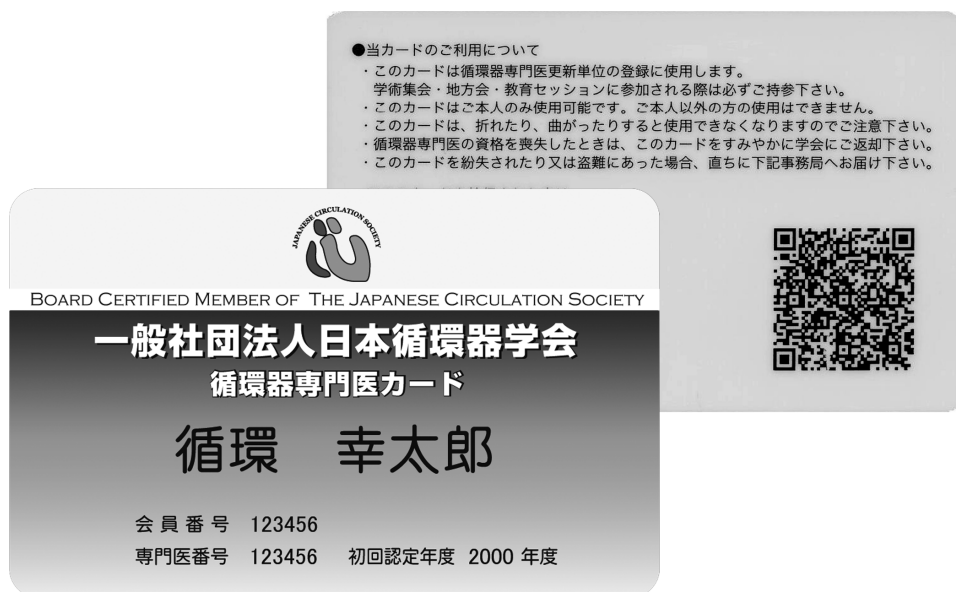
●再発行手数料

3,240円

●手順

1. 「循環器専門医カード再発行申請書」(次ページ)に記入のうえ、本会事務局までお送りください(FAX・郵便・E-mail)。
2. 学会から再発行手数料の請求書を送付します。
3. 郵便局から再発行手数料を納入してください。
4. 入金確認後、上記当該時期に郵送します。

以上



(一社)日本循環器学会専門医制度委員会
循環器専門医カード再発行申請書

(一社)日本循環器学会
代表理事 殿

標記のカードを紛失致しましたので、下記のとおり再発行を申請致します。
なお、紛失したカードが発見された時には、速やかに学会に届け出を致します。

太枠内はもれなく記入してください

年 月 日

申請者氏名：
会員番号：(6桁)
生年月日： (西暦) 19 年 月 日
事務局への連絡事項：

※事務手続きの都合上、発行(発送)時期は年3回となります。

①12月末申込締切 2月末発行 ②3月末申込締切 5月上旬発行

③7月末申込締切 9月上旬発行

※手続きには再発行料(¥3,240(税込))が必要です。申請書到着後、請求書を送付致します。

カード発行は、ご入金後となりますのでご了承くださいませようお願い申し上げます。

※万一、請求書送付から1ヶ月経過してもご入金確認ができない場合は、本件申込みは失効することと致します。

※再発行料請求書及び循環器専門医カードは送本先へ送付致します。

※事務局記入欄

申請受付日	請求書送付	入金確認	送付

(一社)日本循環器学会事務局 TEL (03)5501-0863 FAX (03)5501-9855

その他専門医制度に関する手続き・問い合わせ

下記申請に関しては、学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>) **循環器専門医制度** をご確認の上、必要書類をダウンロードしてください。

- 証明書交付申請(和文証明・英文証明書発行、循環器専門医証再発行)
- 施設証再交付申請
- 留学期間の研修単位申請
- 専門医カード再発行申請

上記の他、専門医制度に関する情報を学会ホームページ **循環器専門医制度** に掲載しておりますので、ご確認ください。

問い合わせ先：
一般社団法人 日本循環器学会(JCS 事務局)
専門医制度委員会 担当
E-mail: senmoni@j-circ.or.jp

地方会・関連学会・研究会情報

専門医研修単位認定学会情報

【お願い】

各学会情報は、申請された時点の情報を掲載していますので、開催までに情報に変更が生じることがございます。当日参加される場合は、必ず各学会・各地方会・各研究会にて情報をご確認ください。

1. 日本循環器学会地方会

(単位登録票方式／

地方会：5単位、教育セッション：3単位、医療安全：2単位※)

※医療安全については各地方会により開催が異なります。各支部へ直接お問い合わせください。

《地方会当日会場での単位登録のみ受付》

第113回北海道地方会

会 期：2015年6月27日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：三浦哲嗣(札幌医科大学医学部循環器・腎臓・代謝内分泌内科学)

第114回北海道地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：北海道大学学術交流会館(札幌市)

会 長：未定

第160回東北地方会

会 期：2015年6月6日(土)

会 場：盛岡地域交流センターマリオス(盛岡市)

会 長：伊藤 宏

(秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)

第236回関東甲信越地方会

会 期：2015年6月20日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：原田和昌(東京都健康長寿医療センター)

第237回関東甲信越地方会

会 期：2015年9月26日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：荻尾七臣(自治医科大学循環器内科)

第238回関東甲信越地方会

会 期：2015年12月5日(土)

会 場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)

会 長：高山守正(榊原記念病院循環器内科)

第145回東海地方会

会 期：2015年6月13日(土)

会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)

会 長：大手信之(名古屋市立大学大学院医学研究科心臓・腎高血圧内科学)

第130回北陸地方会

会 期：2015年7月12日(日)

会 場：福井商工会議所(福井市)

会 長：水野清雄

(福井心臓血管センター福井循環器病院)

第119回近畿地方会

会 期：2015年6月20日(土)

会 場：大阪国際会議場(大阪市)

会 長：北風政史(国立循環器病研究センター臨床研究部・心臓血管内科)

第120回近畿地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

会 長：石坂信和(大阪医科大学内科学Ⅲ教室(第三内科)・循環器内科)

第106回日本循環器学会中国・四国合同地方会

会 期：2015年6月19日(金)～20日(土)

会 場：松山市総合コミュニティセンター(松山市)

会 長：泉谷裕則

(愛媛大学大学院医学系研究科心臓血管・呼吸器外科学)

第107回中国地方会

会 期：2015年11月28日(土)

会 場：アステールプラザ(広島市)

会 長：東 幸仁(広島大学原爆放射線医科学研究所)

第118回九州地方会

会 期：2015年6月27日(土)

会 場：アクロス福岡(福岡市)

会 長：浦田秀則(福岡大学筑紫病院循環器内科)

2. 循環器関連学会

(自己申告方式／3単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第51回日本小児循環器学会

会 期：2015年7月16日(木)～18日(土)

会 場：ホテル日航東京(港区)

会 長：佐地 勉(東邦大学医療センター小児科)

第47回日本動脈硬化学会

会 期：2015年 7 月 9 日(木)～10日(金)
会 場：仙台国際センター(仙台市)
会 長：佐藤靖史(東北大学加齢医学研究所)

第21回日本心臓リハビリテーション学会

会 期：2015年 7 月18日(土)～19日(日)
会 場：福岡国際会議場(福岡市)
会 長：池田久雄
(久留米大学医学部附属医療センター循環器内科)

第51回日本循環器病予防学会

会 期：2015年 6 月26日(金)～27日(土)
会 場：大阪大学中之島センター(大阪市)
会 長：磯 博康
(大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学)

第30回日本不整脈学会

会 期：2015年 7 月28日(火)～31日(金)
会 場：グランドプリンスホテル京都(京都市)
会 長：松本万夫
(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

第24回日本心血管インターベンション治療学会

会 期：2015年 7 月30日(木)～8月 1 日(土)
会 場：福岡ヤフオク！ドーム，
ヒルトン福岡シーホーク(福岡市)
会 長：上野高史(久留米大学病院循環器病センター)

第63回日本心臓病学会

会 期：2015年 9 月18日(金)～20日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：山科 章(東京医科大学循環器内科)

第68回日本胸部外科学会

会 期：2015年10月17日(土)～20日(火)
会 場：神戸ポートピアホテル，
神戸国際展示場 1 号館(神戸市)
会 長：大北 裕
(神戸大学大学院医学研究科心臓血管外科学)

第19回日本心不全学会

会 期：2015年10月22日(木)～24日(土)
会 場：グランフロント大阪，
ナレッジキャピタル他(大阪市)
会 長：澤 芳樹(大阪大学大学院心臓血管外科)

第38回日本高血圧学会

会 期：2015年10月 9 日(金)～11日(日)
会 場：ひめぎんホール(松山市)
会 長：堀内正嗣(愛媛大学大学院医学系研究科)

第56回日本脈管学会

会 期：2015年10月29日(木)～31日(土)
会 場：虎ノ門ヒルズフォーラム(港区)
会 長：磯部光章(東京医科歯科大学循環器内科)

第29回日本冠疾患学会

会 期：2015年11月20日(金)～21日(土)
会 場：ロイトン札幌(札幌市)
会 長：(内科系)：土橋和文(札幌医科大学医学部病院経営・管理学)
(外科系)：樋上哲哉(札幌医科大学心臓血管外科学講座)

3. 関連学会

(自己申告方式／1 単位)

※今後、会期および会場などの変更が生じる場合があります。詳しくは直接各学会事務局へお問い合わせください。

第92回日本生理学会大会

会 期：2015年 3 月21日(土)～23日(月)
会 場：神戸コンベンションセンター(神戸市)
会 長：岡村康司(大阪大学大学院・医・統合生理学)

第112回日本内科学会

会 期：2015年 4 月10日(金)～12日(日)
会 場：みやこめっせ(京都市)
会 長：三嶋理晃(京都大学)

第115回日本外科学会

会 期：2015年 4 月16日(木)～18日(土)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：榑野正人(名古屋大学大学院腫瘍外科学)

第74回日本医学放射線学会

会 期：2015年 4 月16日(木)～19日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：大友 邦(東京大学大学院)

第118回日本小児科学会

会 期：2015年 4 月17日(金)～19日(日)
会 場：大阪国際会議場，リーガロイヤルホテル大阪
(大阪市)
会 長：大藺恵一
(大阪大学大学院医学系研究科小児科学)

第54回日本生体医工学会

会 期：2015年 5 月 7 日(木)～ 9 日(土)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：岩田 彰(名古屋工業大学・未来医療介護健康情報学研究所)

第88回日本超音波医学会

会 期：2015年 5 月22日(金)～24日(日)
会 場：グランドプリンスホテル新高輪(港区)
会 長：住野泰清
(東邦大学医療センター大森病院消化器内科)

第36回日本循環制御学会

会 期：2015年 6 月 5 日(金)～ 6 日(土)
会 場：ウインクあいち(名古屋市)
会 長：木下裕之(愛知医科大学医学部麻酔科学講座)

第58回日本腎臓学会

会 期：2015年 6 月 5 日(金)～7 日(日)
会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)
会 長：松尾清一
(名古屋大学大学院医学系研究科腎臓内科)

第57回日本老年医学会

会 期：2015年 6 月12日(金)～14日(日)
会 場：パシフィコ横浜(横浜市)
会 長：下門顕太郎(東京医科歯科大学大学院)

第25回日本心臓核医学会

会 期：2015年 6 月26日(金)～27日(土)
会 場：東京コンベンションホール(中央区)
会 長：一色高明(帝京大学医学部内科学講座)

第40回日本睡眠学会

会 期：2015年 7 月 2 日(木)～3 日(金)
会 場：栃木県総合文化センター，宇都宮東武ホテル
グランデ(宇都宮市)
会 長：平田幸一(獨協医科大学医学部内科学)

第55回日本核医学会

会 期：2015年11月 5 日(木)～7 日(土)
会 場：ハイアットリージェンシー東京(新宿区)
会 長：小泉 潔
(東京医科大学八王子医療センター放射線科)

4. 医学会総会

(専門医単位／5 単位)

第29回日本医学会総会

会 期：2015年 4 月11日(土)～13日(月)
会 場：国立京都国際会館，
グランドプリンスホテル京都，他
会 頭：井村裕夫(京都大学名誉教授)

5. 国際学会等

(自己申告方式／2 単位)

ACC Annual Meeting
AHA Scientific Sessions
APCC
ESC Congress
WCC Scientific Sessions

※詳細については海外学会情報をご覧ください。

6. 「本会指定の学術集会・学術講演会(国際会議)」
および「指定研修集会制度」は2012年 3 月をもって終
了しました。

自己申告区分として単位申請可能な会については学
会 HP にて確認ください。

海外学会情報

ACC Annual Scientific Session 2015

会 期：2015年 3 月14日(土)～16日(月)
開催地：San Diego(U.S.A)
U R L：http://accscientificsession.cardiosource.org/ACC.aspx

U R L：http://www.escardio.org/congresses/
esc-2015/Pages/welcome.aspx?hit=wca

ESC Congress 2015

会 期：2015年 8 月29日(土)～9 月 2 日(水)
開催地：London(U.K.)

AHA Scientific Sessions 2015

会 期：2015年11月 7 日(土)～11日(水)
開催地：Orlando(U.S.A)
U R L：http://www.heart.org/HEARTORG/

その他の学会開催情報

近畿心血管治療ジョイントライブ(KCJL)2015

会 期：2015年 4 月16日(木)～19日(日)
会 場：メルパルク京都
代表世話人：中村 茂(京都桂病院)
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5
2E KCJL 事務局
Tel. 0532-57-1278 Fax. 0532-52-2883
E-mail: kcjl@kcjl.gr.jp
URL: http://www.kcjl.gr.jp/

The 16th CTO Club

会 期：2015年 6 月19日(金)～20日(土)
会 場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)
代表世話人：大辻 悟(東宝塚さとう病院)
問合先：〒440-0851 愛知県豊橋市前田南町1-1-5 2E
Tel. 0532-57-1276 Fax. 0532-52-2883
E-mail: cto@heartorg.gr.jp
URL: http://www.cct.gr.jp/ctoclub/

研究助成

公益財団法人成人血管病研究振興財団平成26年度賞募集

1. 井村臨床研究賞(第12回)

趣 旨：人，特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究(patient-oriented research)で，以下分野などですぐれた成果をあげた国内の研究者または研究グループに贈呈

- 1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究(translational research)
- 2) 疾患の成因や病態生理の解明
- 3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発

贈呈数：1名または1研究グループ

内 容：賞状，賞牌(ゴールド・メダル)，副賞(研究助成金300万円)

応募締切：2015年4月20日(当日消印有効)

応募条件：

- 1) 他薦に限る
- 2) 研究分野：上記趣旨のとおり
- 3) 推薦書：財団規程の用紙により作成し財団事務局に送付。規程用紙は事務局に文書により請求

授与式：2015年12月12日(土)

なお，同日は神戸成人血管病シンポジウムを開催し，そのプログラム中に井村賞受賞記念特別講演を予定するとともに，医学誌「最新医学」に受賞記念論文も掲載いただく

2. 井村臨床研究奨励賞(第12回)

趣 旨：人，特に患者を対象とした成人血管病に関する臨床研究(patient-oriented research)で，以下の分野などで注目すべき優秀な研究業績をあげている国内の45歳未満の研究者に対し，その将来の発展を期待して贈呈

- 1) 基礎研究の成果の臨床への橋渡し研究(translational research)
- 2) 疾患の成因や病態生理の解明
- 3) 疾患の新しい診断・治療・予防法の開発

贈呈数：3名以内

内 容：賞状，賞牌(シルバーメダル)，副賞(研究助成金50万円)

受付期間：2015年4月20日(当日消印有効)

応募規程：

- 1) 自薦，他薦とも可。但し自薦の場合は所属責任者の氏名，印を要する
- 2) 当財団の規定用紙を請求し，同用紙の指定する内容を記入する
- 3) 候補者は，2015年3月31日現在で45歳未満であること

授与式：2015年12月12日(土)

医学誌「最新医学」に受賞記念論文も掲載いただく予定

3. 岡本研究奨励賞(第30回)

趣 旨：高血圧，動脈硬化，糖尿病など，成人血管病の成因，予防，治療に関する基礎的研究にあたる40歳未満の研究者で，注目すべき優秀な研究業績をあげている研究者に，その将来の発展を期待して贈呈

贈呈数：3名以内

内 容：賞状，賞牌(シルバーメダル)，副賞(研究助成金50万円)

受付期間：2015年4月20日(当日消印有効)

応募規程：

- 1) 自薦，他薦とも可。但し自薦の場合は所属責任者の氏名，印を要する
- 2) 当財団の規定用紙を請求し，同用紙の指定する内容を記入する
- 3) 候補者は，2015年3月31日現在で40歳未満であること
- 4) 過去の受賞者は除く

授与式：2015年10月30日，第51回高血圧関連疾患モデル学会学術総会内で行う

問合先：〒606-8413 京都市左京区浄土寺下馬場町86 国際健寿ビル1階

公益財団法人成人血管病研究振興財団
Tel. 075-761-2381 Fax. 075-761-2382

日本心臓血管内視鏡学会

褒賞内田賞応募要項

主 旨：日本における循環器病の発展に寄与する埋もれた若手研究者を育成する

賞 金：250万円

応募資格：

- 1) 日本国内で行った循環器分野の研究
- 2) 2014年4月～2015年3月に学会誌に掲載された論文
- 3) 対象研究者は論文のファーストオーサーで応募時45歳以下の研究者
- 4) 教授，准教授は除く
- 5) 他の学会賞などを受賞していない論文
- 6) 学術集会で受賞記念講演を行える研究者

応募方法：下記 URL から申込書をダウンロードのうえ送付

応募締切：2015年5月1日～6月30日

問合先：〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30

イタリア文化会館ビル8F

日本心臓血管内視鏡学会

Tel. 03-3239-7264 Fax. 03-3239-7225

URL：<http://jacscopy.org/ja/>

公益信託循環器学研究振興基金平成27年度募集要項

趣 旨：循環器学に関する研究に携わる埋もれた人材の発掘育成を念頭に置き、明治以来いまだ欧米に遅れをとっている循環器学域の進歩のために、この分野で研究に携わる若手医学研究者を対象とする研究助成を行うとともに優れた研究業績をあげた者に対して褒賞を贈呈することを目的とする。

1. 研究助成

研究課題：心臓血管疾患の機序・診断・治療・予防に関する基礎的・臨床的研究

- 1) 看護師のワークライフバランスに関する諸問題の解決法
- 2) 腸内細菌と心血管病
- 3) 侵襲性の低い不整脈治療の開発研究
- 4) 頸動脈硬化に関する研究
- 5) 心血管病の新しいバイオマーカー
- 6) 心臓リハビリテーションの効果の科学的解明
- 7) その他

応募資格：日本国内で研究を行う40歳以下の研究者で、国籍は不問(但し、教授は除く)

助成金額：200万円／1件、総額1,400万円以内

2. 褒賞(内田賞)

褒賞対象：日本国内で行った循環器分野の研究でかつ、2014年度(2014年4月～2015年3月)に学術誌に掲載された論文

対象研究者：論文のファーストオーサーで、応募時45歳以下の研究者(但し、教授・准教授は除く)

賞金額：500万円／1件、総額1,000万円以内

募集期間：2015年6月1日～7月31日(消印有効)

応募方法：申請書を下記 URL からダウンロード(電話での請求も可)

問合先：〒105-8574 東京都港区芝3-33-1

三井住友信託銀行リテール受託業務部公益信託グループ 循環器学研究振興基金 申請口

Tel. 03-5232-8910 Fax. 03-5232-8919

URL：<http://www.smtb.jp/personal/entrustment/management/public/example/list.html>

ACLS 講習会情報

循環器救急医療委員会

AHA ACLS プロバイダーコース受講のためには AHA BLS ヘルスケアプロバイダーコースの修了が必要です。未受講の方は、まずはこのコースを受講してください。詳しくはホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) の「BLS・ACLS 講習会情報」をご参照ください。

日本循環器学会は2007年3月に、AHAと契約して国際トレーニングセンター(ITC)となり、循環器救急医療委員会(旧称：心肺蘇生法委員会)の中の教育部門としてECC(緊急心血管治療)プログラムを独自に推進させていく事になり、JCS-ITCコースとして各支部において開催致します。

私たちは日本での心臓突然死の予防と心停止の救命率の改善およびそれによる後遺症を減らすことを目標に掲げます。それには地域での「救命の連鎖」の確立が重要となります。そのためには、会員すべてが心肺蘇生法トレーニングを受け、医師・コメディカル・一般市民への指導者になること、そして特に循環器専門医は標準的な二次救命処置(Advanced Cardiovascular Life Support, ACLS)を習得し、循環器救急医療におけるチームリーダーになることが必要です。また、循環器専門医の受験資格にAHA-ACLS修了が必須となっています。このトレーニングコースは、アメリカ心臓協会(AHA)がこれまで築き上げてきたトレーニングプログラムを用いて実施されます。下記のコースに積極的に参加いただき、地域での「救命の連鎖」確立を推進していただける方を募集します。各コースの受講者募集の詳細は日本循環器学会ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「ACLS 講習会情報」にてご確認ください。

【ACLS プロバイダーコース2日間を更新として受講される場合の受講料について】

AHAではスキルや知識を維持するために、2年ごとの更新をお勧めしています。

そのためACLSプロバイダーコースでは更新コースを設定していますが、開催コース数が少ない、受講者が集まらずコースが中止されることもあり、更新希望者から、「コース数を増やしてほしい」などの要望をいただいております。

そこで、通常のACLSプロバイダーコースで更新される場合には、今までは初回受講料(¥32,000)をお支払いいただいておりますが、2014/11/04より更新コース受講料と同額(¥18,000)に受講料を統一いたしました。

なお、通常のACLSプロバイダーコースで更新受講される場合は2日間のコースを受講いただくこととなります(更新コースは1日間コースとなります)。

受講料につきましては、下記のとおりです。

	初回受講	更新受講
ACLS プロバイダーコース	¥32,000	¥18,000
ACLS プロバイダー更新コース	¥18,000	

- *初回受講 今回初めてコースを受講すること
- *更新受講 プロバイダー更新を希望して受講すること

【ACLS EP プロバイダーコース開始について】

2015年1月より JCS-ITC で ACLS EP コースが開始されます。

成人の心停止に対する二次救命処置について ACLS プロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLS プロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

受講には ACLS プロバイダー資格が必要となります。本コースを受講していただくことで、同時に ACLS プロバイダー資格を更新することができます。

詳しくは、「BLS・ACLS 講習会情報」のコース案内「ACLS-EP コース」をご覧ください。

<http://itc.j-circ.or.jp/acls-ep.html>

●ACLS プロバイダーコース案内

受講料（初回受講） 32,000円

受講料（更新受講） 18,000円 ※受講要件は ACLS 更新コースと同様です。

受講対象者：原則として医療従事者(医師・看護師・救急救命士など日本国内での医療国家試験有資格者)。なお、臨床経験を有している方が望ましい内容が多く含まれていますので、医療従事者をめざしている学生(医学生、看護学生、薬学部学生など)の受講は原則として認めておりません。

受講申込方法：当会ホームページ「BLS・ACLS 講習会情報」のページからご希望のコースをお選びいただき、オンラインフォームにてお申し込みください。以下のコーススケジュールの募集締めきりは延長される場合がございますので、ホームページにてご確認ください。

JCS-ITC2015/02/28-03/01北陸支部富山大学附属病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年2月28日(土)～3月1日(日)の2日間

会場：富山大学附属病院

受講募集人数：6名

コースディレクター：宇野欣秀(芳珠記念病院循環器科)

2月21日(土)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

芳珠記念病院循環器内科 宇野欣秀

E-mail: yoshihide_uno@hotmail.com

JCS-ITC2015/03/07-08北海道支部国立病院機構函館病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月7日(土)～8日(日)の2日間

会場：国立病院機構函館病院

受講募集人数：15名

コースディレクター：高橋 弘(製鉄記念室蘭病院)

2月9日(月)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会北海道支部事務局 横式尚司

Phone: 011-706-6973

Fax: 011-706-7874

E-mail: hokucirc@med.hokudai.ac.jp

JCS-ITC2015/03/07-08近畿支部草津総合病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月7日(土)～8日(日)の2日間

会場：草津総合病院

受講募集人数：12名

コースディレクター：藤井応理(草津総合病院)

2月8日(日)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦

Phone: 075-212-2015

Fax: 075-212-0691

E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2015/03/07-08関東甲信越支部国立病院機構東京医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月7日(土)～8日(日)の2日間

会場：国立病院機構東京医療センター

受講募集人数：10名

コースディレクター：布施 淳(国立病院機構東京医療センター循環器科)

2月13日(金)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/03/14-15関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月14日(土)～15日(日)の2日間

会場：獨協医科大学創立30周年記念館

受講募集人数：12名

コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学心臓・血管内科)

2月23日(月)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2015/03/14-15九州支部佐賀大学病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月14日(土)～15日(日)の2日間

会場：佐賀大学病院

受講募集人数：18名

コースディレクター：肥後太基(九州大学病院循環器内科)

2月15日(日)まで募集(延長の場合もあり)

問い合わせ：

九州大学病院循環器内科 肥後太基

E-mail: higo@cardiol.med.kyushu-u.ac.jp

JCS-ITC2015/03/14-15東海・北陸支部合同市立島田市民病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月14日(土)～15日(日)の2日間
会 場：市立島田市民病院
受講募集人数：12名
コースディレクター：岩嶋大介(市立島田市民病院)
2月16日(月)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2015/03/14-15東海北陸支部合同名古屋医療センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月14日(土)～15日(日)の2日間
会 場：名古屋医療センター
受講募集人数：18名
コースディレクター：鈴木秀一(名古屋医療センター)
2月20日(金)まで募集(延長の場合もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会東海支部事務局 渡辺裕一
Phone: 052-950-3365
Fax: 052-950-3370
E-mail: jcs-tokai@congre.co.jp

JCS-ITC2015/03/14-15関東甲信越支部帝京大学板橋キャンパス AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月14日(土)～15日(日)の2日間
会 場：帝京大学板橋キャンパス
受講募集人数：10名
コースディレクター：金子一郎(帝京大学医学部救急医学講座)
2月18日(水)まで募集(募集の延長もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也
Phone: 019-652-5406
Fax: 019-604-8244
E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/03/21-22近畿支部国立循環器病研究センター AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月21日(土)～22日(日)の2日間
会 場：国立循環器病研究センター
受講募集人数：12名
コースディレクター：真野敏昭(兵庫医科大学)
2月22日(日)まで募集(募集の延長もあり)
問い合わせ：
日本循環器学会近畿支部事務局 山口良彦
Phone: 075-212-2015
Fax: 075-212-0691
E-mail: kyoto@congre.co.jp

JCS-ITC2015/03/21-22中国支部岡山赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月21日(土)～3月22日(日)の2日間

会 場：岡山赤十字病院

受講募集人数：12名

コースディレクター：吉川慶三(倉敷リバーサイド病院)

3月4日(水)まで募集

問い合わせ：

日本循環器学会中国支部事務局 岡部英美

Phone: 0836-22-2248

Fax: 0836-22-2246

E-mail: ninai@yamaguchi-u.ac.jp

JCS-ITC2015/03/21-22関東甲信越支部本郷マッシュアップスタジオ AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月21日(土)～22日(日)の2日間

会 場：本郷マッシュアップスタジオ

受講募集人数：18名

コースディレクター：中山英人(埼玉医科大学病院麻酔科)

3月11日(水)まで募集

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@morioh.co.jp

JCS-ITC2015/03/28-29四国支部徳島赤十字病院 AHA ACLS プロバイダーコース

開催日：2015年3月28日(土)～29日(日)の2日間

会 場：徳島赤十字病院

受講募集人数：12名

コースディレクター：吉川 圭(坂出市立病院)

3月9日(月)まで募集

問い合わせ：

坂出市立病院 吉川 圭

Phone: 070-5516-8708

Fax: 0877-46-2377

E-mail: kayy@me.com

●ACLS プロバイダー更新コース案内

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内の BLS ヘルスケアプロバイダーカードを有すること
2. 有効期限内の ACLS プロバイダーカードを有すること

追補 1) 有効期限を過ぎている ACLS プロバイダーカードを有している場合でも、更新コースの受講は可能です。ただし、実技試験、筆記試験ともに補習や再試験の機会はありませんので、万一、両試験に 1 回で合格しない場合には、ACLS 更新コースの再受講は不可となり、改めて 2 日間の通常の ACLS コースを受講いただくことになります(受講料も新たに必要となります)。

追補 2) AHA ACLS コースをこれまで一度も受講したことがない場合には、ACLS 更新コースの受講は原則として認められておりません。

JCS-ITC2015/03/14 関東甲信越支部獨協医科大学創立30周年記念館 AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2015年 3 月14日(土)

会 場：獨協医科大学創立30周年記念館

受講募集人数：6 名

コースディレクター：菊地 研(獨協医科大学心臓・血管内科)

2 月16日(月)まで募集(募集延長もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2015/03/14 関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2015年 3 月14日(土)

会 場：相澤病院ヤマサホール

受講募集人数：10名

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器内科)

2 月19日(木)まで募集(募集延長もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

JCS-ITC2015/03/15 関東甲信越支部相澤病院ヤマサホール AHA ACLS プロバイダー更新コース

開催日：2015年 3 月15日(日)

会 場：相澤病院ヤマサホール

受講募集人数：10名

コースディレクター：宮澤 泉(長野赤十字病院循環器内科)

2 月19日(木)まで募集(募集延長もあり)

問い合わせ：

日本循環器学会関東甲信越支部 BLS・ACLS 講習会事務局 佐々木和也

Phone: 019-652-5406

Fax: 019-604-8244

E-mail: aclsjcskanto@acls-jcs.org

●ACLS EP プロバイダー資格コース案内

コースの特徴：成人の心停止に対する二次救命処置をACLSプロバイダーコースを学習した方が、さらにレベルアップするためのコースです。ACLSプロバイダーコースの知識・スキルを習得していることを前提として、心血管系エマージェンシー、心拍再開後ケア、臨床薬理および中毒学、呼吸および代謝のエマージェンシーにどう対応するかをディスカッション形式で学習していきます。

本コースを受講していただくことで、同時にACLSプロバイダー資格を更新することができます。

受講料：18,000円

受講要件：

1. 有効期限内のBLSヘルスケアプロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること
2. 有効期限内のACLSプロバイダーカードまたはインストラクターカードを有すること

追補1) 上記カード提示ができない場合は、受講当日であってもコースの受講をお断りすることがございますのでご注意ください。またカードを紛失している場合などは事前に各コースの責任者(コースディレクター)にご連絡ください。なお、受講希望者多数の場合には施設の重複を避けるなど、地域性も考慮して選考させていただきます。

対象者：原則として医療従事者：医師、救急集中治療の経験のある看護師など

追補1) ACLSプロバイダーとして実際の臨床経験を積んだ方で、心電図や病態の把握ができることが必要になります。

※下記コースの受講申込については、当会ホームページのBLS/ACLS講習会情報の「新着情報」よりオンラインフォームにてお申し込みください。

映像教材販売のご案内

喫煙防止映像教材販売のご案内

禁煙推進委員会

ご承知のように、喫煙は喫煙者のみならず受動喫煙者にとっても、虚血性心疾患をはじめとする循環器疾患、呼吸器疾患、がん、その他の疾患の発症・進展にとって重要な危険因子です。禁煙推進委員会では、医療現場からのメッセージを込めた『今から始める喫煙防止教育 2 版』という喫煙防止映像教材(DVD)を制作し、その販売をしておりますのでご案内申し上げます。

会員・非会員を問わずご購入いただけます。日本循環器学会禁煙推進委員会の意図と願いをご理解いただき、是非ご活用いただければ幸いです。

なおご購入のお申し込み・お問い合わせは、下記の特約代理店までお願い致します。

〈内容〉

- Part 1：たばこ、やめてね
(小学校 1, 2 年生用 / 6 分)
- Part 2：タバコのけむりはあぶないよ!!
(小学校 3, 4 年生用 / 10 分)
- Part 3：タバコって本当はどんなもの?
(小学校 5, 6 年生用 / 12 分)
- Part 4：考えてみよう タバコと健康
(中学生・高校生用 / 14 分)
- Part 5：タバコか健康か あなたはどちらを選びますか
(一般・大学生用 / 17 分)

〈価格〉

2,052 円

(税込, 送料別)

〈購入お申し込み・お問い合わせ先〉

(特約代理店)

(株)少年写真新聞社 メディア開発部

TEL : 03-3261-4001

FAX : 03-5276-7785

URL : <http://www.schoolpress.co.jp/home.html>



一般社団法人 日本循環器学会 禁煙推進委員会からのお知らせ

禁煙啓発キャラクター すわん君のtwitterが、
2014年4月22日(禁煙の日)スタート！！
詳しくはtwitter ID【suwankun_kin_en】で検索

携帯 スマホの方は、
QRコードからCheck♡



…みんな
フォローしてほしい
でしゅわん♡



禁煙啓発キャラクター「すわん君」
(C)一般社団法人 日本循環器学会



LINEのスタンプが
出来ましたでしゅ♡
皆しゅわん♪♪
要チェックでしゅ！！

すわん君着ぐるみ貸出中！！
詳細は、下記メールアドレスまで
お問い合わせ下さい♪♪
アドレス:【nonsmoking@j-circ.or.jp】

日循 禁煙推進委員会HP: <http://www.j-circ.or.jp/kinen/>

教育研修映像販売のご案内

教育研修委員会

下記の教材1タイトルご購入につき、専門医研修単位が3単位加算されます。本体についている返信はがきに必要事項をご記入の上、切手を貼ってご郵送ください。ただし、単位の付加は、ご購入ご本人のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき1回限りの受付となりますのでご了承ください。

※なお、単位申請ハガキの受付には期限があります。詳細は下記の各DVD単位申請期間をご確認ください。

ご購入の申し込みは、日循ホームページ(<http://www.j-circ.or.jp/>)の「刊行物購入のご案内」からオンラインでお受けしています。もしくはファックス(03-5501-9855)で、ご希望のタイトル、VHSかDVD(一部CD-ROM)か、氏名、会員番号、お届け先住所、電話番号をお書き添えの上、お申込みください。

■循環器研修ビジュアルシリーズ(日循会員価格 ¥6,480 税込)

2012年度制作分(DVDのみ) 単位申請期日：2015年3月31日

Vol.6.「循環器 physical examination の実際(第2版)

監修：吉川 純一

Vol.17.「心臓ペーシング治療の現状」

監修：萩原 誠久(東京女子医科大学循環器内科)

原案：真中 哲之(東京女子医科大学循環器内科)

2011年度製作分(DVDのみ) 単位申請期日：2014年3月31日にて終了。単位付与不可

Vol.3.「慢性心不全の病態をふまえた診断・治療(第2版)」

監修：筒井 裕之(北海道大学循環病態学)

Vol.16.「冠循環の形態的、機能的評価」

監修：赤阪 隆史(和歌山県立医科大学循環器内科)

Vol.18.「補助循環・心臓移植の臨床」

監修：許 俊鋭(東京大学重症心不全治療開発講座)

■循環器教育セッション

※DVD-ROMは家庭用DVDレコーダーでは再生できませんのでご注意ください

※座長所属はセッション開催時のもの。

第42回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2014年3月21日(金)～23日(日)

単位申請期日：2016年3月31日

セッションⅠ

1. 心房細動アブレーションの進歩

座長：沖重 薫(横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター)

奥村 謙(弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座)

2. 大動脈ステントグラフト

座長：吉川 公彦(奈良県立医科大学放射線科)

荻野 均(東京医科大学心臓血管外科)

3. ASD

座長：赤城 禎治(岡山大学病院循環器疾患集中治療部)

河村 朗夫(慶應義塾大学循環器内科)

セッションⅡ Structural Heart Disease に対するカテーテル治療の進歩

座長：高山 守正(榊原記念病院循環器内科)

新浪 博(埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科)

セッションⅢ. 日常診療における他科との連携

円滑な循環器内科コンサルテーションを考える

座長：山科 章(東京医科大学第二内科)

前村 浩二(長崎大学循環病態制御内科学)

第41回循環器教育セッション DVD-ROM ¥5,200(税込) 2013年3月15日(金)～17日(日)

単位申請期日：2015年3月31日

セッション I

1. 心臓 CT/MRI の最新動向

座長：尾崎 行男（藤田保健衛生大学循環器内科）

吉岡 邦浩（岩手医科大学放射線医学）

2. 閉塞性肥大型心筋症に対する PTSMA

座長：一色 高明（帝京大学循環器内科）

3. 心房細動アブレーションにおける三次元マッピングの活用

座長：熊谷浩一郎（福岡山王病院ハートリズムセンター）

沖重 薫（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科）

セッション II 冠動脈血行再建術—診療ガイドラインを実臨床にいかにかすか？—

座長：落 雅美（日本医科大学心臓血管外科）

住吉 徹哉（榊原記念病院循環器内科）

セッション III 新しい抗凝固薬の臨床

座長：後藤 信哉（東海大学循環器内科）

山下 武志（心臓血管研究所付属病院）



購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります、単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

DVD 購入者は

WEBでも

ご視聴いただけます!

これ一枚で**48セッション 241延べ座長・演者、
56時間40分収録!**

価格 5,200円

発行予定
6月20日

(送料 税別)

<収録内容>

美甘レクチャー

1セッション

Molecular Control of Heart Development, Disease and Regeneration

真下記念講演

1セッション

Signaling and Gene Expression for Cytokine Activity in Inflammation and Immunity: Contributions to Medical Science

会長講演

1セッション

Cardiology in the Information Era: From Bench to Community

特別講演

10セッション

SL01. New Insights Regarding the Pathogenesis and Modification of Marfan Syndrome and Related Disorders

SL02. Adipokine Involvement in Cardiovascular Disease

SL03. Update on the Pathophysiology of Acute Myocardial Infarction

SL04. Genetic Causes of Human Heart Disease

SL05. microRNAs in Cardiovascular Diseases and Aging: From Mechanisms to Therapeutic Targets

SL06. Hypoxia and Vascular Physiology

SL07. Differential Effects of Preload and Afterload on Myocardial Gene Expression and Function

SL10. Clinical Research and the Development of Medical Therapeutics

SL11. Mechanisms for Diabetic Cardiomyopathy - Focus on Hyperinsulinemia

SL14. Heart Failure with pEF

会長特別企画

5セッション

SS1. 我が国の地域医療の新展開にむけて

SS3. 循環器病ナショナルデータベース

SS4. 公正な臨床研究の進め方

SS6. ゲノム科学の新展開

SS7. 利益相反を考える

プレナリーセッション

5セッション

PL01. Coronary Revascularization Based on Evidence Based Medicine - Comparing PCI and CABG - Reality and Ideal

PL02. Progress in Heart Failure Treatment

PL03. Regenerative Therapy in Cardiovascular Field

PL04. 循環器診療ガイドラインと日本のEBM ~信頼を取り戻すために~

PL08. 循環器病学のトランスレーショナルリサーチ

シンポジウム

10セッション

SY01. 冠循環を見直す：心筋虚血の発生機序から評価まで

SY02. Molecular Mechanisms Linking the Coronary Risk Factors and the Development of Atherosclerosis

SY04. Challenges of Non-pharmacological Treatment of Life-threatening Malignant Ventricular Tachyarrhythmias

SY05. 心不全治療の進歩—内科・外科の集学的アプローチ—

SY06. Molecular Mechanism for Myocardial Hypertrophy and Heart Failure

SY11. 循環器疾患ネットワークとレジストリ

SY14. カテーテル治療における女性医師の勤務環境：現状と課題

SY17. 肺高血圧症に期待される新しい治療法

SY21. IT と循環器診療

SY22. How Has the Comprehensive Genomic Analysis Altered the Clinical Status of Cardiovascular Medicine? - Linkage between the Genetic, Clinical and Epidemiological Sciences, and Its Future Perspective -

ジョイントシンポジウム 1～5 全て

5セッション

1. AHA-JCS Joint Symposium
Future Prospect of iPS Cells and Direct Induction

2. ACC-JCS Joint Symposium
Imaging Modalities to Detect Vulnerable Plaque

3. Meet the ESC
ESC-JCS Guideline Session of Heart Failure

4. Meet the ESC
TAVI update

5. Meet the ESC: ESC-JCS Joint Symposium
Impact of Coronary Imaging on the Mechanism and Prediction of Acute Coronary Syndrome (ACS)

ラウンドテーブルディスカッション

1セッション

RT01. 心房細動のアブレーション治療

トピック

4セッション

TP03. 内科と外科のハイブリッド治療

TP04. 心臓シミュレーター

TP09. 医師のキャリアパスを広げる

TP11. 腎デナーベーション：循環器疾患治療への展開

コントロバシー

2セッション

CO 02. 発作性心房細動に対する薬物療法 vs カテーテルアブレーション

CO 03. CABG vs PCI (SYNTAX5年の成績を受けて)

ミート・ザ・エキスパート

3セッション

ME05. 心エコーの進歩

ME07. 心臓移植の現場—脳死判定から移植後免疫抑制療法まで—

ME08. マルファン症候群に代表される遺伝性大動脈疾患の診断と治療

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

DVDに収録されている座長・演者名(ご所属)及び演題名もご覧いただけます。

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

TEL 0120-046-844

FAX: 03-6368-9509

Mail: jcsdvd@medicalvista.jp

第78回日本循環器学会学術集会 DVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

＜お申込者個人名の場合＞

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

＜団体又は法人名の場合＞

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第78回 学術集会DVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2014年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所（ご送付先）〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS78

＜ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います＞

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp



JCS2014

第42回 循環器教育セッション

会場：東京国際フォーラム 日時：2014年3月21～23日

発行予定
6月20日

DVD-ROM発売!!

DVD購入者はWEBでも視聴いただけます。

価格 **5,200円** (送料、税込)

購入し研修されると専門医研修単位が **3単位** 取得できます。

※単位の付加は、ご購入ご本人様のみに限ります。単位受付は同じタイトルにつき一回限りとなりますのでご了承ください。

お申込みはインターネットまたはFAXでもお申込み頂けます。

日本循環器学会ホームページから、又は、https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd にアクセスしてください。

<収録内容>

教育セッション I

ビデオセッション I-1 心房細動アブレーションの進歩

学会1日目 3月21日(金) 8:30～12:40

座長：

沖重 薫 (横浜市立みなと赤十字病院心臓病センター)
奥村 謙 (弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座)

演者：

Marc Dubuc (Montreal Heart Institutes, Canada)

教育セッション II

Structural Heart Disease に対する カテーテル治療の進歩

学会2日目 3月22日(土) 8:30～10:30

座長：

高山 守正 (榊原記念病院循環器内科)
新浪 博 (埼玉医科大学国際医療センター心臓血管外科)

演者：

赤木 禎治 (岡山大学病院循環器疾患集中治療部)
鳥飼 慶 (大阪大学心臓血管外科)
小宮山 伸之 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)
原 英彦 (東邦大学医療センター大橋病院循環器内科)
松本 崇 (Heart Institute, Cedars-Sinai Medical Center, USA)
高見澤 格 (榊原記念病院循環器内科)

教育セッション I

ビデオセッション I-2 大動脈ステントグラフト

学会1日目 3月21日(金) 8:30～12:40

座長：

吉川 公彦 (奈良県立医科大学放射線科)
荻野 均 (東京医科大学心臓血管外科)

演者：

松田 均 (国立循環器病研究センター心臓血管外科)
加藤 雅明 (森之宮病院心臓血管外科)
坂口 昇二 (松原徳洲会病院放射線科)

教育セッション III

日常診療における他科との連携 円滑な循環器内科コンサルテーションを考える

学会3日目 3月23日(日) 14:00～16:00

座長：

山科 章 (東京医科大学第二内科)
前村 浩二 (長崎大学循環病態制御内科学)

演者：

吉野 秀朗 (杏林大学第二内科)
長尾 建 (駿河台日本大学病院循環器科)
神谷 千津子 (国立循環器病研究センター周産期・婦人科)
是恒 之宏 (大阪医療センター臨床研究センター)
安齊 俊久 (国立循環器病研究センター心臓血管内科)
西村 真人 (桃仁会病院循環器科)

教育セッション I

ビデオセッション I-3 ASD

学会1日目 3月21日(金) 8:30～12:40

座長：

赤木 禎治 (岡山大学病院循環器疾患集中治療部)
河村 朗夫 (慶應義塾大学循環器内科)

演者：

矢崎 諭 (国立循環器病研究センター小児循環器科)
河村 朗夫 (慶應義塾大学循環器内科)
中川 晃志 (岡山大学病院循環器内科)

●動作環境

※本DVD-ROMはDVD-Videoプレイヤーでは再生できません。

Windows

Intel Pentium 4 2.33GHz 同等以上のプロセッサ
256MB RAM (512MB 以上推奨)

プラットフォーム：

Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、Windows 7

ブラウザ：

Microsoft Internet Explorer 6以降、Firefox 2.x以降、AOL 9、Opera 9.5以上、Safari 3.x

1024×768 / 16ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

Macintosh

PowerPC G4 1.25GHz 以上のプロセッサ

Intel Core Duo 1.33GHz 以上のプロセッサ

256MB RAM (512MB 以上推奨)

プラットフォーム：Mac OS X v10.4.x、10.5

ブラウザ：

Firefox 2.x以降、AOL for Mac OS X、Opera 9.5、Safari 3.x

1024×768 / 16ビットのカラービデオディスプレイアダプタ

■お問い合わせ先

株式会社 メディカルビスタ

☎ 0120-046-844

FAX : 03-6368-9509

Mail : jcsdvd@medicalvista.jp

第42回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込

価格 1部 ¥5,200 (送料、税込)

お申込方法

① インターネットの場合

日本循環器学会ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp>) 「刊行物購入のご案内」から、

又は、次のURLにアクセスしお申込ください。

https://www.medicalvista.jp/jcs_dvd

② FAXの場合

下記お申込書にご記入頂き、**03-6368-9509** まで FAX にてお申込ください。

お支払方法

<お申込者個人名の場合>

■銀行振込、■郵便振替、又は■クレジットカード払いの何れかでお支払いください。

お申込受付後、ご指定いただいたお支払い方法についてのご案内をお送り致します。

ご送付先は、E-Mail アドレスのご記入がある場合 E-mail アドレス宛に、E-mail アドレスのご記入がない場合、FAX 番号宛にお送りいたします。上記の何れかの方法でお支払いください。

DVDの発送はお支払い確認後、随時対応します。

<団体又は法人名の場合>

請求書、納品書、領収書等の発行を必要とされる場合、その他通信欄にご記入下さい。

DVD納品後のお支払いにつきましてもお申し出いただければ可能でございます。

第42回 循環器教育セッションDVD-ROMのお申込書

(FAX 番号、又は E-mail アドレスのどちらか必ずご記入ください。)

2014年 月 日

フリガナ お名前	申込部数	会員番号
ご所属	お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ 郵便振替 ☐ クレジットカード払い	
ご住所(ご送付先) 〒		☐ ご所属先 ☐ ご自宅
ご連絡先	TEL :	FAX :
E-mail アドレス	@	
その他通信欄		

JCS_ES42

<ご提供いただきます個人情報は、個人情報保護法に準拠して取扱います>

企画著作 一般社団法人日本循環器学会

制作販売受託

株式会社メディカルビスタ 日循 DVD-ROM 事務局

☎ 0120-046-844 (9:30-18:30) FAX: 03-6368-9509

E-mail: jcsdvd@medicalvista.jp

和文論文投稿誌 **心臓** のご案内

論文投稿および購読のお願い

☆投稿掲載論文筆頭著者は循環器専門医認定更新に必要な研修単位を3単位取得できます。

2012年4月(第44巻 第4号)より、「心臓」は
日本心臓財団と日本循環器学会の共同発行となりました。
循環器領域の若手研究者を育てる和文投稿を中心に、
最新のトピックスや研究会など、充実した内容をお届けしています。
和文論文をぜひ投稿してください。また、本誌をご購読ください。
なお、日本心臓財団では本誌をご支援いただく教室(医局)・病院(医院)賛助会員も
募集しております。詳細は日本心臓財団事務局にお問合せください。

「心臓」

発行：公益財団法人日本心臓財団、一般社団法人日本循環器学会

制作：株式会社日本医学出版 心臓編集室

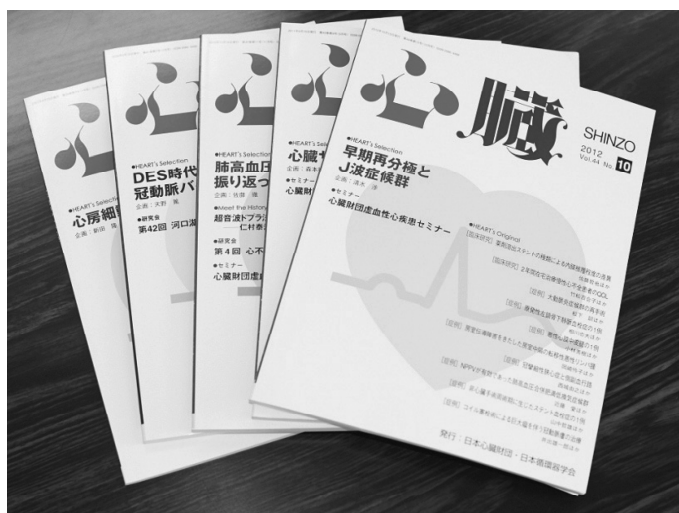
発売：株式会社西村書店

定価：2,160円(本体2,000円+税)

年間予約購読料(12冊分) 25,920円(本体24,000円、送料は負担いたします)

編集委員会

山口 徹(編集委員長)、代田浩之(副編集委員長)、磯部光章、小野 稔、加藤貴雄、
木村一雄、倉林正彦、佐地 勉、竹石恭知、新田 隆、百村伸一、山科 章



投稿に関するお問い合わせ

(株)日本医学出版「心臓」編集室

電話：03-5800-2350

FAX：03-5800-2351

購読の申し込み・お問い合わせ

(株)西村書店 担当：岩永

電話：03-3293-9311

FAX：03-3293-9314

事務局からのお知らせ

〈住所／勤務先変更の届出について〉

毎月の「CJ」や各地方会の開催案内、プログラム等を確実にお手許にお届けできるよう、適時、住所／勤務先変更の届出をお願いしております。

ホームページ (<http://www.j-circ.or.jp/>) より、会員限定ページにて変更登録をお願い致します。 または、当会告末尾の「登録事項変更届」をご利用ください。

なお、学会活動や医療情報などに関する重要なお知らせをEメールで発信する機会が増えておりますので、可能な限りEメールアドレスをお届け下さいますようお願い致します。

〈会員限定 HP へのアクセス等について〉

- UMIN(大学病院医療情報ネットワーク)のID を利用しての会員のみのアクセス制限をしております。
- 新規ご入会の先生につきましては、当学会にてUMINID の取得申請を代行しております。ご入会手続き後にUMINID が取得次第、順次ID と仮パスワードを郵送致します。
- UMIN メールアドレスにつきましては、各先生方のID@umin.ac.jpにてご利用いただけます。電子メールソフトの設定の詳細はUMIN ホームページ (<http://www.umin.ac.jp/>) をご確認ください。

● 学会に関する問い合わせは下記事務局までご連絡下さい。

(一社)日本循環器学会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー18F

※京都事務局は2013年7月15日(月)をもって東京事務局に統合されました。

各業務担当メールアドレス・電話番号のご案内		
	メールアドレス	電話番号
代 表	admin@j-circ.or.jp	03-5501-0861
総務(登録事項変更・入会・退会等)	soumu@j-circ.or.jp	
編集(Circulation Journal 関連)	cj@j-circ.or.jp	
情報広報(購読・HP・地方会)	webmaster@j-circ.or.jp	
BLS/ACLS 関連事業	itc@j-circ.or.jp	
国内交流	kokunai@j-circ.or.jp	03-5501-0862
学術集会	meeting@j-circ.or.jp	
国際交流	international@j-circ.or.jp	
ガイドライン関連	jcsGL@j-circ.or.jp	
IT/DATABASE	ITDatabase@j-circ.or.jp	
男女共同関連	jcs-danjyo@j-circ.or.jp	03-5501-0863
経理(各請求書・年会費等)	keiri@j-circ.or.jp	
専 門 医	senmoni@j-circ.or.jp	
禁 煙	nonsmoking@j-circ.or.jp	

FAX(業務共通)

03-5501-9855

ホームページ URL

<http://www.j-circ.or.jp/>

一般社団法人 日本循環器学会

登録事項変更届

[ホームページからもお届けが可能です]

TEL (03) 5501-0861

FAX (03) 5501-9855

E-mail: soumu@j-circ.or.jp

ホームページ : <http://www.j-circ.or.jp/>

会員番号 :	【6桁】	生年月日 : 19 年 月 日 (歳)
フリガナ :		
会員氏名 :		
(旧姓名 :)		
勤務先 :		
名 称		
部・科 役 職		
所在地 〒 -		
代 表 TEL () - FAX () -		
内線		
直 通 TEL () - FAX () -		
旧勤務先名称 :		
自 宅 : 〒 -		
TEL () - FAX () -		
旧自宅住所 :		
E-mail :		
変更希望日 : 年 月 日 変更	送本先(連絡先) : ☐ 勤務先 ☐ 自宅	
英文誌 Circulation Journal の送付を : ☐ 希望する ☐ 希望しない		
退 会 届【退会希望者のみ記入】		
年 月 日をもって退会します。 / 退会事由 :		
事務局への通信欄 :		

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。

* 重要なお知らせを E-mail でお届けする機会が増えております。ぜひメールアドレスをご登録ください。

学会誌 Circulation Journal の送本について

Circulation Journal は、希望者のみへの送本を実施しております。送本ご不要のお手続きは、以下にて受付けています。

- Fax: 03-5501-9855
- E-mail: soumu@j-circ.or.jp
- 日本循環器学会 HP(会員事務手続)

*対象は CJ 英文誌のみで、会告、ガイドライン誌、循環器専門医誌は、今まで通り全員に送本されます。

*CJ 送本不要を申し出られた方のみ、送本を停止します。

*CJ 送本不要でも、年会費に変更はありません。

※なお、CJ では、全掲載論文を Online Journal(J-STAGE)にて無料公開しております。

<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/circj>

以上

英文誌 Circulation Journal の送本は、不要です。

氏 名：_____

会員番号：_____
(封筒の宛名ラベル右下に記載の 6 桁の数字)

年 月 日

(注) 氏名・会員番号は必ずご記入下さい。

「準会員」制度のご案内

日本循環器学会では、2014年4月1日から「準会員」制度を開始いたしました。

「準会員」は、主に医師が在籍する「正会員」とは別に、医師以外の医療業務従事者(例：看護師、臨床工学技士など)を対象とする会員制度です。

現在「正会員」で在籍いただいている医師以外の方は「準会員」に会員区分を変更することができますので、ご検討いただければ幸いです。

(なお、準会員には変更せず従来どおり正会員として在籍し続けることも可能です。その際、手続きは特にございません。)

《「準会員」は、以下のような方にお勧めの制度となっております》

- 「Circulation Journal」など医師向けの雑誌の送付は必要ない
- 学会の社員選挙に関する権利は必要ない
- 医師ではないので循環器専門医資格は必要ない
- 学術集会で演題を発表したい
- 学会の会員専用ページを閲覧したい
- 医師向けの権利は必要ないで年会費を安くしてほしい など

Q. 「準会員」の年会費は？

準会員の年会費は正会員よりも低額です

準会員：8,000円／正会員：15,000円

Q. 「準会員」になることができるのは？

看護師や臨床工学技士などの
医師を除く医療業務従事者全般が対象となります
(医師は準会員になることはできません)

- ① この法人の目的に賛同すること
- ② 医師を除く医療業務従事者であること

Q. 「準会員」に与えられる権利は？

準会員の権利は以下のものになります(正会員の権利の中から「医師が対象」となるものが制限されます)

- ① 社員総会に出席し意見を述べること(※議決権はございません)
- ② 本会の社員総会議事の要領及び議決した事項について、会告にて通知を受けること
- ③ 本会の学術集会において研究成果を発表し、報告を行うこと
- ④ 別途理事会が定めるところにより、本会の発行する学会学術誌及びその他の学術刊行物の配布を受けること(※「会告」、「学術集会プログラム集」などに限定されます)
- ⑤ 本会ホームページの会員限定ページを閲覧すること

「正会員」との違い

- 社員(旧：評議員)選挙の選挙権及び被選挙権がない
- 本会の役員になることができない(理事、監事、支部評議員など)
- 「Circulation Journal」「専門医誌」「ガイドライン」など、医師向けとなる学会学術誌を受けることができない
- 本会の循環器専門医資格を有することができない(また、準会員である期間は試験受験要件の「学会の会員歴」に含まれない)

Q. 現在「正会員」として在籍しているが、会員区分を「準会員」に変更するには？

2015年4月1日からの変更をご希望の場合は以下のようにご対応ください

- ① 2015年3月31日までに事務局に会員区分変更の申請を行う
- ② 2015年3月31日までに今年度までの年会費をすべて完納する(未納の場合、申請は無効となります)

※注意

事業年度は4/1～3/31

年度途中の日付での変更は認められず、申請があった年度の翌年度4月1日付で変更となります。

例1. 2015年2月15日に変更申請→「2015年4月1日」から準会員となる

例2. 2015年4月5日に変更申請→「2016年4月1日」から準会員となる(2015年度中は「正会員」のまま)

会員区分変更をご希望の場合、次ページ「会員区分変更届」をご提出下さい。

【お問合せ先：事務局 総務まで(TEL: 03-5501-0861 / E-mail: soumu@j-circ.or.jp)】

会 員 区 分 変 更 届

住所：〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-1-1 帝国ホテルタワー 18F

E-mail: soumu@j-circ.or.jp / FAX (03) 5501-9855

現在の会員番号：		生年月日：19 年 月 日（ 歳）	
フリガナ：		性 別： ☐ 男性 ☐ 女性	
会員氏名： (旧姓名：)		資格名（医師、看護師等）：	
勤務先： 名 称 部・科 役 職 所在地 〒 — 代 表 TEL() — FAX() — 内線 直 通 TEL() — FAX() —			
自 宅： 〒 — TEL() — FAX() —			
E-mail（※変更が完了した際に案内を送信するため必須）：			
変更を希望する会員区分： ☐ 正会員から準会員への変更 ☐ 準会員から正会員への変更			
変更希望年度： 年度（4月1日付け）変更		送本先(連絡先)： ☐ 勤務先 ☐ 自宅	
【準会員→正会員への変更のみ】英文誌 Circulation Journal の送付を： ☐ 希望する ☐ 希望しない			
事務局への通信欄：			

* ご提供いただきました個人情報は、学会サービスの提供その他本会の事業目的に沿って行う活動およびこれに付随する業務を行う目的の範囲内においてのみ利用させていただきます。